

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	SAT115-9 r.3.0
提出年月日	令和3年10月1日

泊発電所3号炉

「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び
拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」
に係る適合状況説明資料

比較表

令和3年10月

北海道電力株式会社

 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

目 次

1. 重大事故等対策

- 1.0 重大事故等対策における共通事項
- 1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等
- 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
- 1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等
- 1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
- 1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等
- 1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等
- 1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等
- 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
- 1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等
- 1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等
- 1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等
- 1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等
- 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等
- 1.14 電源の確保に関する手順等
- 1.15 事故時の計装に関する手順等
- 1.16 原子炉制御室の居住性等に関する手順等
- 1.17 監視測定等に関する手順等
- 1.18 緊急時対策所の居住性等に関する手順等
- 1.19 通信連絡に関する手順等

2. 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムへの対応

- 2.1 可搬型設備等による対応

女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	大飯発電所3/4号炉	差異理由
<p>比較結果等を取りまとめた資料</p> <p>(第58条 計装設備/1.15 事故時の計装に関する手順等)</p> <p>1. 最新審査実績等を踏まえた泊3号炉まとめ資料の変更状況(2017年3月以降)</p> <p>1-1) 設計方針・運用・体制などを変更し、まとめ資料を修正した事項</p> <p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし</p> <p>b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : 1件 ・手順着手に使用する補助パラメータのSA化について</p> <p>c. 他社審査会合の指摘事項を確認した結果、変更したもの : なし</p> <p>d. 当社が自主的に変更したもの : なし</p> <p>1-2) 設計方針・運用・体制を変更するものではないが、まとめ資料の記載を充実を行った事項</p> <p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし</p> <p>b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし</p> <p>c. 他社審査会合の指摘事項を確認した結果、変更したもの : なし</p> <p>d. 当社が自主的に変更したもの : なし</p> <p>1-3) バックフィット関連事項</p> <p>なし</p> <p>1-4) その他</p> <p>女川2号炉まとめ資料に合わせて記載ぶりを修正し、結果として差異がなくなった箇所があるが、本比較表には、その該当箇所の識別はしていない。</p> <p>2. 女川2号炉まとめ資料との比較結果の概要</p> <p>2-1) 資料構成の相違</p> <p>・比較表では、資料構成に合わせて泊3号炉と女川2号炉の並び替えを行い、記載内容の比較を行った結果、同様の内容が記載されていることを確認した。</p> <p>2-2) 設備の相違</p> <p>・設備構成の相違はあるが、重大事故等対処設備の選定の考え方や対応手段等において、泊3号炉と女川2号炉の基準適合性の考え方に相違はない。</p> <p>2-3)以降にパラメータに関する主な比較結果を示す。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	大飯発電所3/4号炉	差異理由
<p>2-3) 発電用原子炉施設の状態を監視するパラメータの選定フロー</p>			
<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>		<p>差異理由</p>
<p>※1：重大事故等に対するために各技術的能力に用いられる以下に示すパラメータ ・目的的能力に依存する監視基準（1～10）は（設置許可基準規則 第44～47条）の手続基準の判断基準 及び操作手順に用いられるパラメータ。 ・目的的能力の監視項目に依存するパラメータ。 ・目的的能力の方等で使用する設備（重大事故等対応設備を含む）の運転・動作状態を指示する設備 （ランプ表示灯）については、パラメータとして抽出しない。</p> <p>※2：重要監視パラメータは、重要代替監視パラメータ（当該パラメータ以外の重要監視パラメータ等） 又は有効監視パラメータによる検定手段を整備する。</p> <p>※3：重大事故等対応設備の運転・動作状態を表示する設備（ランプ表示灯）については、設置許可基準 規則 第44条～47条の監視許可基準規則第44条～47条に対する適合状況のうち、② 操作性（設置許可基 準規則第44条第3項（第2号））にて、適合性を要する。</p> <p>※4：重大事故等対応設備が利用する手順書の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大 事故等対応設備とする。</p>	<p>※1：当該重大事故等に対するために各技術的能力に用いられる、以下に示すパラメータ。（多様性監視設備 ・技術的能力（L1～L3、L13、L14）の手続基準の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ。（多様性監視設備 による対応を除く） ・有効代替の監視基準に依存するパラメータ等 ※2：主要パラメータを監視する対象のチャンネル毎に、設置設備を有するを判断する。 例）加工機本体 1. 2. サンプル；設置設備あり 3. 4. サンプル；設置設備なし ※3：重大事故等対応設備が利用する手順書の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対応設備 となる。</p>		<p>・泊では、基本的に女川と同様の考えでパラメータを選定している。 ・相違点については2-4)参照。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	大飯発電所3/4号炉	差異理由
2-4) 発電用原子炉施設の状態を監視するパラメータ			
パラメータ	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
抽出パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> 「技術的能力に係る審査基準」1.1~1.14 の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータ 「審査基準」1.16~1.19 の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータについては、炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を成功させるための手順ではないため、各々の手順において整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 審査基準1.1~1.10, 1.13, 1.14 の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ（多様性拡張設備による対応を除く。）並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータ等 審査基準1.11, 1.12, 1.16~1.19 の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータについては、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるための手順とは別に整理した各々の手順において整理する。 	記載方針の相違 ・泊では、審査基準1.11（使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等）、1.12（工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等）のパラメータについては、各々の手順にて整理することとしている。
主要パラメータ （原子炉施設の状態を直接監視するパラメータ）	重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。	重要な監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 有効な監視パラメータ 主要パラメータのうち、多様性拡張設備の計器でのみ計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。	パラメータ分類名称の相違 各パラメータの位置付けに相違なし
	<ul style="list-style-type: none"> 重要計器 重要監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備として位置付ける計器をいう。 常用計器 主要パラメータを計測する計器のうち、重要計器以外の自主対策設備の計器をいう。 	<ul style="list-style-type: none"> 重要計器 重要な監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器をいう。 常用計器 主要パラメータを計測する計器のうち、重要計器以外の多様性拡張設備の計器をいう。 	各計器の位置付けに相違なし （泊では重要計器、常用計器についても2-1）フロー図に記載している）
➤ 代替パラメータ： （主要パラメータが監視不可の場合に監視するパラメータ）	重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。	重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 常用代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが多様性拡張設備の計器のみにより計測されるパラメータをいう。	パラメータ分類名称の相違 ・女川では自主対策設備のみで計測されるパラメータは、主要パラメータ/代替パラメータともに有効監視パラメータとしている。 各パラメータの位置付けに相違なし
	<ul style="list-style-type: none"> 重要代替計器 重要代替監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備として位置付ける計器をいう。 常用代替計器 代替パラメータを計測する計器のうち、重要代替計器以外の自主対策設備の計器をいう。 	<ul style="list-style-type: none"> 重要代替計器 重要代替監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器をいう。 常用代替計器 代替パラメータを計測する計器のうち、重要代替計器以外の多様性拡張設備の計器をいう。 	各計器の位置付けに相違なし （泊では重要代替計器、常用代替計器についても2-1）フロー図に記載している）
補助パラメータ （原子炉施設の状態を直接ではなく補助的に監視するパラメータ）	補助パラメータ ➤ 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。	補助的な監視パラメータ ➤ 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。	パラメータ分類名称の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	大飯発電所3/4号炉	差異理由																														
2-5) 重大事故等対処設備の補助パラメータ																																	
内容	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																														
重大事故等対処設備の補助パラメータ	重大事故等対処設備の補助パラメータ：第6.4-4表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">電源</td><td>6-2F-1 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2F-2 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2C 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2B 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2H 母線電圧</td></tr> <tr><td>4-2C 母線電圧</td></tr> <tr><td>4-2D 母線電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2A 電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2B 電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td></tr> <tr><td>250V 直流主母線電圧</td></tr> <tr><td>HPCS125V 直流主母線電圧</td></tr> <tr><td rowspan="2">その他</td><td>高圧窒素ガス供給系 AFS 入口圧力</td></tr> <tr><td>代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力</td></tr> </tbody> </table>	分類	補助パラメータ	電源	6-2F-1 母線電圧	6-2F-2 母線電圧	6-2C 母線電圧	6-2B 母線電圧	6-2H 母線電圧	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	250V 直流主母線電圧	HPCS125V 直流主母線電圧	その他	高圧窒素ガス供給系 AFS 入口圧力	代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力	重大事故等対処設備の補助的な監視パラメータ：第6.4.5表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助的な監視パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">電源関係</td><td>6-A, B母線電圧</td></tr> <tr><td>A, B-直流コントロールセンタ母線電圧</td></tr> <tr><td rowspan="2">補機関係</td><td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td></tr> <tr><td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td></tr> <tr><td rowspan="2">その他</td><td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td></tr> <tr><td>A, B-原子炉補機冷却水供給母管流量</td></tr> </tbody> </table>	分類	補助的な監視パラメータ	電源関係	6-A, B母線電圧	A, B-直流コントロールセンタ母線電圧	補機関係	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	その他	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	A, B-原子炉補機冷却水供給母管流量	設備構成の相違 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助的な監視パラメータについては、重大事故等対処設備に位置付けている。 （選定の考え方は女川と同様）
分類	補助パラメータ																																
電源	6-2F-1 母線電圧																																
	6-2F-2 母線電圧																																
	6-2C 母線電圧																																
	6-2B 母線電圧																																
	6-2H 母線電圧																																
	4-2C 母線電圧																																
	4-2D 母線電圧																																
	125V 直流主母線 2A 電圧																																
	125V 直流主母線 2B 電圧																																
	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																
	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																
	250V 直流主母線電圧																																
	HPCS125V 直流主母線電圧																																
	その他	高圧窒素ガス供給系 AFS 入口圧力																															
代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力																																	
分類	補助的な監視パラメータ																																
電源関係	6-A, B母線電圧																																
	A, B-直流コントロールセンタ母線電圧																																
補機関係	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量																																
	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																
その他	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																
	A, B-原子炉補機冷却水供給母管流量																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1.15.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>a. パラメータを計測する計器の故障時に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備</p> <p>e. 手順等</p> <p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>a. 代替パラメータによる推定</p> <p>b. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視</p> <p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失</p> <p>(1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失</p> <p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備からの給電</p> <p>b. 常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は号炉間電力融通設備からの給電</p> <p>c. 代替所内電気設備による給電</p> <p>d. 常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備又は125V代替充電器用電源車接続設備か</p>	<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1.15.1 設備の選定と対応手順</p> <p>(1) 設備の選定と対応手段の考え方</p> <p>(2) 設備の選定と対応手段の選定の結果</p> <p>a. パラメータを計測する計器の故障時に原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備</p> <p>e. 手順等</p> <p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失</p> <p>(1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失</p> <p>a. 全交流動力電源喪失時の代替電源の供給</p> <p>b. 直流電源喪失時の代替電源の供給</p> <p>c. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視</p>	<p>1.15事故時の計装に関する手順等</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1.15.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>a. パラメータを計測する計器の故障時に原子炉施設の状態を把握するための対応手段及び設備</p> <p>b. 原子炉容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に原子炉施設の状態を把握するための対応手段及び設備</p> <p>c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の対応手段及び設備</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する対応手段及び設備</p> <p>e. 手順等</p> <p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失</p> <p>(1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失</p> <p>a. 全交流動力電源喪失時の代替電源の供給</p> <p>b. 直流電源喪失時の代替電源の供給</p> <p>c. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視</p>	<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1.15.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失時の手順等</p> <p>(1) 計器故障時の手順等</p> <p>a. 他チャンネル又は他ループによる計測</p> <p>(a) 主要パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器による計測</p> <p>(b) 主要パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器による計測</p> <p>b. 代替パラメータによる推定</p> <p>(a) 重要代替計器による推定</p> <p>(b) 常用代替計器による推定</p> <p>c. 優先順位</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合の手順等</p> <p>a. 代替パラメータによる推定</p> <p>b. 可搬型計測器による計測</p> <p>c. 優先順位</p> <p>1.15.2.2 計器電源喪失時の手順等</p> <p>(1) 代替電源（交流）からの給電</p> <p>a. 空冷式非常用発電装置からの給電</p> <p>(2) 代替電源（直流）からの給電</p> <p>a. 蓄電池（重大事故等対処用）又は可搬型直流電源装置からの給電</p>	<p>泊の記載は、パラメータ選定フロー等、伊方を参考としている部分があることから、伊方も比較表に含めている。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>資料構成の相違</p> <p>資料構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
らの給電 e. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視 f. 重大事故等時の対応手段の選択	d. 可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源の供給	d. 可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）による電源の供給	(3) 蓄電池からの給電 a. 計装設備専用蓄電池（炉外核計装設備用、放射線監視設備用）からの給電 b. 炉内温度計測装置用可搬型蓄電池からの給電 (4) 可搬型計測器による計測又は監視 (5) 優先順位 1.15.2.3 パラメータ記録の手順等 1.15.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順	資料構成の相違
1.15.2.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順 1.15.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順	1.15.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順 1.15.4 その他の手順項目にて考慮する手順	1.15.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順 1.15.4 その他の手順項目にて考慮する手順		
添付資料 1.15.1 審査基準、基準規則と対処設備との対応表	添付資料 1.15.1 重大事故等対処設備及び多様性拡張設備整理表	添付資料 1.15.1 重大事故等対処設備及び多様性拡張設備整理表	添付資料 1.15.1 重大事故等対処設備と基準規則の対応表	記載表現の相違
添付資料 1.15.2 重大事故等の対処に必要なパラメータの選定	添付資料 1.15.2 多様性拡張設備仕様 添付資料 1.15.3 重大事故等の対処に必要なパラメータの選定	添付資料 1.15.2 多様性拡張設備仕様 添付資料 1.15.3 重大事故等の対処に必要なパラメータの選定	添付資料 1.15.2 多様性拡張設備仕様	資料構成の相違
添付資料 1.15.3 重大事故等対処に係る監視事項 添付資料 1.15.4 重大事故等対策の成立性	添付資料 1.15.4 重大事故等対処に係る監視事項 添付資料 1.15.5 可搬型計測器による監視パラメータ計測手順 添付資料 1.15.6 可搬型バッテリーによる炉外核計装盤への電源供給	添付資料 1.15.4 重大事故等対処に係る監視事項 添付資料 1.15.5 可搬型計測器によるパラメータの計測手順 添付資料 1.15.6 可搬型バッテリーによる原子炉安全保護盤（炉外核計装信号処理部）への電源供給	添付資料 1.15.3 重大事故等対処に係る監視事項 添付資料 1.15.9 可搬型計測器による監視パラメータ計測手順 添付資料 1.15.10 計装設備専用蓄電池による炉外核計装設備への給電手順	資料構成の相違
添付資料 1.15.5 可搬型計測器の必要個数整理	添付資料 1.15.7 可搬型バッテリーによる放射線監視盤への電源供給 添付資料 1.15.8 可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理	添付資料 1.15.7 可搬型バッテリーによる原子炉安全保護盤（放射線監視設備信号処理部）への電源供給 添付資料 1.15.8 可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理	添付資料 1.15.11 計装設備専用蓄電池による放射線監視設備への給電手順 添付資料 1.15.12 可搬型計測器の台数整理	記載表現の相違
	添付資料 1.15.9 原子炉压力容器の水位の推定手段について 添付資料 1.15.10 炉心出口温度の監視について 添付資料 1.15.11 原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について	添付資料 1.15.9 原子炉压力容器の水位の推定手段について 添付資料 1.15.10 炉心出口温度の監視について 添付資料 1.15.11 原子炉格納容器内冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について	添付資料 1.15.4 重要計器及び重要代替計器（重大事故等対処設備）の概略系統図 添付資料 1.15.5 計装設備の全体像について 添付資料 1.15.7 原子炉容器の水位の推定手段について 添付資料 1.15.8 炉心出口温度の監視について 添付資料 1.15.13 原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について	資料構成の相違
添付資料 1.15.6 代替パラメータにて重大事故等対処時の判断基準を判断した場合の影響について	添付資料 1.15.12 重大事故等時の監視パラメータの記録について 添付資料 1.15.13 代替パラメータにて重大事故等対処時の判断基準を判断した場合の影響について 添付資料 1.15.14 手順のリンク先について	添付資料 1.15.12 重大事故等時の監視パラメータの記録について 添付資料 1.15.13 代替パラメータにて重大事故等対処時の判断基準を判断した場合の影響について	添付資料 1.15.6 代替パラメータにて重大事故等対処時の判断基準を判断した場合の影響について 添付資料 1.15.14 手順のリンク先について	
添付資料 1.15.7 原子炉水温と原子炉压力容器温度の相関について 添付資料 1.15.8 圧力抑制室水位による LOCA 事象の検知について				資料構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
添付資料 1.15.9 圧力容器ベデスタル内ドライウ ェル温度検出器による原子炉圧 力容 器破損判断について				資料構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【要求事項】 発電用原子炉設置者において、重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p> <p>【解釈】 ① 「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合においても当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。なお、「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ」とは、事業者が検討すべき炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を意味する。</p> <p>a) 設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態の把握能力を明確化すること。（最高計測可能温度等） b) 発電用原子炉施設の状態の把握能力（最高計測可能温度等）を超えた場合の発電用原子炉施設の状態を推定すること。 i) 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位を推定すること。 ii) 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を推定すること。 ② 推定するために必要なパラメータについて、複数のパラメータの中から確からしさを考慮し、優先順位を定めておくこと。 c) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータが計測又は監視及び記録ができること。 d) 直流電源喪失時に、特に重要なパラメータを計測又は監視を行う手順等（マスター又は換算表等）を整備すること。</p> </div> <p>重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータの推定に有効な情報を把握するため、計器の故障（検出器の測定値不良、ケーブルの断線等）時の対応、計器の計測範囲を超えた場合への対応、計器電源の喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p>	<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器の故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合への対応、計器電源の喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p>	<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器の故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合への対応、計器電源の喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p>	<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するために必要な対処設備を整備しており、ここではこの対処設備を活用した手順等について説明する。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>1.15.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>重大事故等時において、炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を実施するため、発電用原子炉施設の状態を把握することが重要である。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを、「技術的能力に係る審査基準」（以下「審査基準」という。）1.1～1.14 の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータを抽出する（以下「抽出パラメータ」という。）。</p> <p>なお、「審査基準」1.16～1.19 の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータについては、炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を成功させるための手順ではないため、各々の手順において整理する。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.15.3)</p> <p>抽出パラメータのうち、当該重大事故等の炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータ※1（以下「主要パラメータ」という。）及び主要パラメータを計測するための重大事故等対処設備を選定する。</p> <p>※1 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率、未臨界の維持又は監視、最終ヒートシンクの確保、格</p>	<p>1.15.1 設備の選定と対応手順</p> <p>(1) 設備の選定と対応手段の考え方</p> <p>重大事故等発生時において、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を実施するため、発電用原子炉施設（以下「原子炉施設」という。）の状態を把握することが重要である。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを整理し、検討した炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために監視することが必要なパラメータを明確にする（第1.15.1図）。</p>	<p>1.15.1対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>重大事故等発生時において、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を実施するため、発電用原子炉施設（以下「原子炉施設」という。）の状態を把握することが必要である。</p> <p>当該重大事故等に対処するために、各技術的能力に係る手順着手の判断基準及び操作手順並びに有効性評価の判断及び確認の項目等からパラメータを抽出する。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜内容比較のため再掲(2)＞</p> <p>抽出パラメータは、審査基準1.1～1.10、1.13、1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ（多様性拡張設備による対応を除く。）並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータ等より抽出する。</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜内容比較のため再掲(3)＞</p> <p>審査基準1.11、1.12、1.16～1.19の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータについては、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるための手順とは別に整理した各々の手順において整理する。</p> </div> <p>抽出されたパラメータ（以下「抽出パラメータ」という。）のうち、当該重大事故等の炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な原子炉施設の状態を直接監視するパラメータ※1（以下「主要パラメータ」という。）及び主要パラメータを計測するための重大事故等対処設備を選定する。</p> <p>※1：原子炉圧力容器（以下「原子炉容器」という。）内の温度、圧力及び水位、原子炉容器及び原子炉格納容器への注水量、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率、未臨界の維持又は監視、最終ヒートシンクの確保、</p>	<p>1.15.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>重大事故等発生時において、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策を実施するために、発電用原子炉施設（以下「原子炉施設」という。）の状態を把握することが必要である。</p> <p>当該重大事故等に対処するために、各技術的能力に係る手順着手の判断基準及び操作手順並びに有効性評価の判断及び確認の項目からパラメータを抽出する。</p> <p>抽出されたパラメータ（以下「抽出パラメータ」という。）のうち、当該重大事故等の炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な原子炉施設の状態を直接監視するパラメータ※1（以下「主要パラメータ」という。）及び主要パラメータを計測するための重大事故等対処設備を選定する。</p> <p>※1：原子炉圧力容器（以下「原子炉容器」という。）内の温度、圧力及び水位、原子炉容器及び原子炉格納容器への注水量、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率、未臨界の維持又は監視、最終ヒートシンクの確保、</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載箇所の相違 (①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では本項の後段に記載している。 <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術的能力1.11、1.12 の手順着手及び操作手順に用いるパラメータは各々の手順において整理している。 <p>記載表現の相違</p> <p>記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では本項の後段に記載している。 <p>記載方針の相違 (①)</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>納容器バイパスの監視、水源の確保、原子炉建屋内の水素濃度、原子炉格納容器内の酸素濃度、使用済燃料プールの監視。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータ（以下「代替パラメータ」という。）を用いて対応する手段を整備し、重大事故等対処設備を選定する（第1.15-1図、第1.15-2図）（以下「機能喪失原因対策分析」という。）。</p> <p>さらに、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等、想定される重大事故等の対応に必要なパラメータの記録手順及びそのために必要となる重大事故等対処設備を選定する。</p> <p>抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することができないパラメータについては、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータ（以下「補助パラメータ」という。）に分類し、第1.15-4表に整理する。</p> <p>なお、重大事故等対処設備の運転・動作状態を表示する設備（ランプ表示灯）については、各条文の「設置許可基準規則」第四十三条への適合方針のうち、(2) 操作性（「設置許可基準規則」第四十三条第1項二）にて、適合性を整理する。</p>	<p>また、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータ（以下「主要パラメータ」という。）を推定するために必要なパラメータ（以下「代替パラメータ」という。）を用いて推定する対応手段を整備する（第1.15.2図）。（以下「機能喪失原因対策分析」という。）</p>	<p>格納容器バイパスの監視、水源の確保及びアニュラス部の水素濃度</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><内容比較のため再掲(1)> 抽出パラメータのうち、原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態、その他の設備の運転状態等により原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを「補助的な監視パラメータ」に分類し、分類理由を第1.15.1表に示す。</p> </div> <p>また、計器故障、計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合及び計器電源喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、想定する故障等に対応する手順及び主要パラメータの推定に必要なパラメータ（以下「代替パラメータ」という。）を用いて推定する手順を整備し、重大事故等対処設備を選定する（第1.15.1図、第1.15.2図）（以下「機能喪失原因対策分析」という。）。</p> <p>さらに、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータの記録手順及びそのために必要となる重大事故等対処設備を選定する。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><内容比較のため再掲(1)> 抽出パラメータのうち、原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態、その他の設備の運転状態等により原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを「補助的な監視パラメータ」に分類し、分類理由を第1.15.1表に示す。</p> </div>	<p>格納容器バイパスの監視、水源の確保及びアニュラス部の水素濃度</p> <p>抽出パラメータのうち、原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態等により原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータ（以下「補助パラメータ」という。）に分類し、補助パラメータの分類理由を整理し、第1.15.1表に示す。</p> <p>また、計器故障、計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合及び計器電源喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、想定する故障等に対応する手順及び主要パラメータの推定に必要なパラメータ（以下「代替パラメータ」という。）を用いて推定する手順を整備し、重大事故等対処設備を選定する（第1.15.1図、第1.15.2図）。</p> <p>さらに、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータの記録手順及びそのために必要となる重大事故等対処設備を選定する。</p>	<p>設備構成の相違 ・炉型の相違 記載方針の相違 (①)</p> <p>記載箇所の相違 ・泊では本項の後段に記載している。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載箇所の相違 ・泊では本項の前段に記載している。 記載表現の相違</p> <p>パラメータ名称の相違</p> <p>記載方針の相違 ・泊では、運転・動作状態を表示する設備（ランプ表示灯）については本条文中にて適合性を整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>重大事故等対処設備のほかに、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び自主対策設備^{※2}を選定する。</p> <p>※2 自主対策設備：技術基準上の全ての要求事項を満たすことや全てのプラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、「審査基準」だけでなく、「設置許可基準規則」第五十八条及び「技術基準規則」第七十三条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、自主対策設備との関係を明確にする。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.15.1)</p> <p>主要パラメータは以下のとおり分類する。</p>	<p>重大事故等対処設備の他に、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び多様性拡張設備^{※1}を選定する（第1.15.1表）。</p> <p>※1 多様性拡張設備：技術基準上のすべての要求事項を満たすことやすべてのプラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、技術的能力審査基準（以下「審査基準」という。）だけでなく、設置許可基準規則第五十八条及び技術基準規則第七十三条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、多様性拡張設備との関係を明確にする。</p> <p>炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な原子炉施設の状態を監視する主要パラメータは、事象の判別を行う運転手順書の判断基準、炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書の適用条件、炉心の著しい損傷が発生した場合に対処する運転手順書の適用条件及び技術的能力に係る審査基準1.1～1.10、1.13、1.14のパラメータより選定する。</p> <p>技術的能力に係る審査基準1.11、1.12、1.16～1.19については、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策を成功させるための手順とは別に整理した使用済燃料ピット、監視測定、緊急時対策所及び通信連絡等の対応手順として整備する。</p> <p>選定した主要パラメータ（パラメータの分類：原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率、未臨界の維持又は監視、最終ヒートシンクの確保、格納容器バイパスの監視、水源の確保及びアニュラス内の水素濃度）は、以下のとおり分類する（第1.15.1図）。</p>	<p>重大事故等対処設備の他に、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び多様性拡張設備^{※2}を選定する。</p> <p>※2 多様性拡張設備：技術基準上のすべての要求事項を満たすことやすべてのプラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、技術的能力審査基準（以下「審査基準」という。）だけでなく、設置許可基準規則第五十八条及び技術基準規則第七十三条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、多様性拡張設備との関係を明確にする。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料1.15.1, 添付資料1.15.2)</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜内容比較のため再掲(2)＞</p> <p>抽出パラメータは、審査基準1.1～1.10、1.13、1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ（多様性拡張設備による対応を除く。）並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータ等より抽出する。</p> </div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜内容比較のため再掲(3)＞</p> <p>審査基準1.11、1.12、1.16～1.19の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータについては、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるための手順とは別に整理した各々の手順において整理する。</p> </div> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p>	<p>重大事故等対処設備の他に、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び多様性拡張設備^{※2}を選定する。</p> <p>※2 多様性拡張設備：技術基準上のすべての要求事項を満たすことやすべてのプラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、審査基準だけでなく、設置許可基準規則第五十八条及び技術基準規則第七十三条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、多様性拡張設備との関係を明確にする。</p> <p>抽出パラメータは、技術的能力1.1～1.10、1.13、1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータ（多様性拡張設備による対応を除く）並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータより抽出する。</p> <p>技術的能力1.11、1.12、1.16～1.19の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータについては、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策を成功させるための手順とは別に整理した各々の手順において整理する。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>資料構成の相違</p> <p>記載箇所の相違 ・女川では本項の前段に記載している。</p> <p>記載箇所の相違 ・女川では本項の前段に記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。</p> <p>代替パラメータは以下のとおり分類する。</p> <p>・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。</p> <p>また、主要パラメータ及び代替パラメータを計測する設備を以下のとおり分類する。 主要パラメータを計測する計器は以下のとおり。</p> <p>・重要計器 重要監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備として位置付ける計器をいう。</p> <p>・常用計器 主要パラメータを計測する計器のうち、重要計器以外の自主対策設備の計器をいう。</p>	<p>① 重要な監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測するパラメータをいう。</p> <p>② 有効な監視パラメータ 主要パラメータのうち、多様性拡張設備の計器で計測されるが、計測することが困難となった場合でも重大事故等対処設備の計器で計測される代替パラメータを有するものをいう。</p> <p>③ 補助的な監視パラメータ 原子炉施設の状況や重大事故等対処設備の運転状態等を補助的に監視するパラメータをいう。</p> <p>さらに、次のとおり重要代替パラメータを選定する。</p> <p>④ 重要代替パラメータ 重要な監視パラメータの代替パラメータのうち重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器（当該重要な監視パラメータの他チャンネル及び他ループの重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器含む。）並びに有効な監視パラメータの代替パラメータを計測する重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器により計測されるパラメータをいう。</p>	<p>・重要な監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・有効な監視パラメータ 主要パラメータのうち、多様性拡張設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。</p> <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <p>・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・常用代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが多様性拡張設備の計器のみにより計測されるパラメータをいう。</p> <p>また、主要パラメータ及び代替パラメータを計測する設備を以下のとおり分類する。 主要パラメータを計測する計器は以下のとおり。</p> <p>・重要計器 重要な監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器をいう。</p> <p>・常用計器 主要パラメータを計測する計器のうち、重要計器以外の多様性拡張設備の計器をいう。</p>	<p>・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、多様性拡張設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。</p> <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <p>・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・常用代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが多様性拡張設備の計器のみにより計測されるパラメータをいう。</p> <p>また、主要パラメータ及び代替パラメータを計測する設備を以下のとおり分類する。 主要パラメータを計測する計器は以下のとおり。</p> <p>・重要計器 重要監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器をいう。</p> <p>・常用計器 主要パラメータを計測する計器のうち、重要計器以外の多様性拡張設備の計器をいう。</p>	<p>パラメータ名称の相違</p> <p>パラメータ名称の相違 記載表現の相違</p> <p>パラメータ名称の相違 記載表現の相違</p> <p>パラメータ名称の相違 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>代替パラメータを計測する計器は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要代替計器 重要代替監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備として位置付ける計器をいう。 常用代替計器 代替パラメータを計測する計器のうち、重要代替計器以外の自主対策設備の計器をいう。 <p>なお、主要パラメータが重大事故等対処設備で計測できず、かつその代替パラメータについても重大事故等対処設備で計測できない場合は、重大事故等時に発電用原子炉施設の状況を把握するため、主要パラメータを計測する計器の1つを重大事故等対処設備としての要求を満たした計器へ変更する。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.15.2)</p>	<p>なお、選定フローにおいて、有効な監視パラメータ又は補助的な監視パラメータの分類に該当しないものは、耐震性、耐環境性を有さない重要な監視パラメータに該当すると判断し、耐震性、耐環境性を有した計器へ仕様又は設備変更を行う。</p>	<p>代替パラメータを計測する計器は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要代替計器 重要代替監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器をいう。 常用代替計器 代替パラメータを計測する計器のうち、重要代替計器以外の多様性拡張設備の計器をいう。 重要計器及び重要代替計器の概略系統図を第1.15.3図に示す。 <p style="text-align: center;"><内容比較のため再掲(4)></p> <p>設計基準を超える状態における原子炉施設の状態を把握する能力を明確化するために、重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器の計測範囲、個数、耐震性及び非常用電源からの給電の有無を第1.15.2表に示す。</p> <p>重要な監視パラメータを計測する常用計器及び重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器の計測範囲、個数及び電源を第1.15.3表に示す。 有効な監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替監視パラメータを計測する常用代替計器の計測範囲、個数及び電源並びに代替パラメータを計測する重要代替計器を第1.15.4表に示す。</p> <p>主要パラメータが重大事故等対処設備の計器で計測できずかつその代替パラメータも重大事故等対処設備の計器で計測できない場合は、重大事故等時に原子炉施設の状態を把握するため、主要パラメータを計測する計器の1つを重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器へ変更する。</p>	<p>代替パラメータを計測する計器は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要代替計器 重要代替監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器をいう。 常用代替計器 代替パラメータを計測する計器のうち、重要代替計器以外の多様性拡張設備の計器をいう。 重要計器及び重要代替計器の概略系統図を第1.15.3図に示す。 <p>設計基準を超える状態における原子炉施設の状態を把握する能力を明確化するために、重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器の計測範囲、個数、耐震性及び非常用電源からの給電の有無を第1.15.2表に示す。</p> <p>重要監視パラメータを計測する常用計器及び重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器の計測範囲、個数及び電源を第1.15.3表に示す。 有効監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替監視パラメータを計測する常用代替計器の計測範囲、個数及び電源並びに代替パラメータを計測する重要代替計器を第1.15.4表に示す。</p> <p>主要パラメータが重大事故等対処設備の計器で計測できず、かつその代替パラメータも重大事故等対処設備の計器で計測できない場合は、重大事故等時に原子炉施設の状態を把握するため、主要パラメータを計測する計器の1つを重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器へ変更する。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違 記載方針の相違</p> <p>記載箇所の相違 ・泊では同項の後段に記載している。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違 ・女川の添付資料 1.15.2は、泊では添付資料 1.15.3に相当</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>以上の分類により抽出した重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを第1.15-2表に示す。あわせて、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握する能力を明確化するために、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測範囲、個数、耐震性及び非常用電源からの給電の有無についても整理する。</p> <p>整理した結果を踏まえ、原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計測範囲を超えた場合、発電用原子炉施設の状態を推定するための手段を整備する。</p> <p>重大事故等の対処に必要なパラメータを計測又は監視し、記録する手順を整備する。</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果 機能喪失原因対策分析の結果、監視機能の喪失として計器の故障及び計器の計測範囲（把握能力）を超過した場合を想定する。また、全交流動力電源喪失及び直流電源喪失による計器電源の喪失を想定する。</p>	<p>選定フローにより分類し、抽出した重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータを、第1.15.2表に示す。</p> <p>分類した重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータにより、重大事故等対処に必要な原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータを計測又は監視する。</p> <p>設計基準を超える状態における原子炉施設の状態を把握する能力として、重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータを計測する計器の計測範囲、計器の個数、耐震性、非常用電源からの給電の有無を明確にした運転手順書を整備する（第1.15.2表）。</p> <p>重要な監視パラメータ（原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量等）又は有効な監視パラメータを計測する計器が故障により、計測することが困難となった場合、当該パラメータを推定する手段を整備する（第1.15.3表、第1.15.4表）。</p> <p>原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計測範囲を超えた場合、原子炉施設の状態を推定するための手段を整備する。</p> <p>計測に必要な計器電源の喪失についても想定する。</p> <p>重大事故等の対処に必要なパラメータを計測又は監視し、記録する手順を整備する。</p> <p>(2) 設備の選定と対応手段の選定の結果</p>	<p><内容比較のため再掲(4)></p> <p>設計基準を超える状態における原子炉施設の状態を把握する能力を明確化するために、重要な監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器の計測範囲、個数、耐震性及び非常用電源からの給電の有無を第1.15.2表に示す。</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果 機能喪失原因対策分析の結果、監視機能の喪失として計器故障及び計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合を想定する。また、全交流動力電源喪失及び直流電源喪失による計器電源の喪失を想定する。</p> <p>監視機能及び計器電源の喪失原因と対応手段の検討及び審査基準、基準規則要求により選定した対応手段とその対応に使用する重大事故等対処設</p>	<p>(2) 対応手段と設備の選定の結果 機能喪失原因対策分析の結果、監視機能の喪失として計器故障及び計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合を想定する。また、全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等による計器電源の喪失を想定する。</p> <p>監視機能及び計器電源の喪失原因と対応手段の検討及び審査基準、基準規則要求により選定した対応手段とその対応に使用する重大事故等対処設</p>	<p>記載箇所の相違 ・泊では同項の前段に記載している。 記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>a. パラメータを計測する計器の故障時に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>重大事故等の対処時に主要パラメータを計測する計器が故障した場合、発電用原子炉施設の状態を把握するため、多重化された計器の他チャンネル^{※3}の計器により計測する手段及び代替パラメータを計測する計器により当該パラメータを推定する手段がある（第1.15-3表）。</p> <p>※3 チャンネル：単一故障を想定しても、パラメータの監視機能が喪失しないように、1つのパラメータを測定原理が同じである複数の計器で監視しており、多重化された監視機能のうち、検出器から指示部までの最小単位をチャンネルと呼ぶ。</p> <p>他チャンネルによる計測に使用する計器は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要パラメータの他チャンネルの重要計器 ・ 主要パラメータの他チャンネルの常用計器 <p>代替パラメータの計測に使用する計器は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要代替計器 ・ 常用代替計器 	<p>a. パラメータを計測する計器の故障時に原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>重大事故等の対処時に重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを計測する計器が故障した場合は、原子炉施設の状態を把握するため、多重化された計器の他チャンネル^{※2}又は他ループの計器による監視及び代替パラメータを計測する計器により当該パラメータを推定する手段を整備する。</p> <p>※2 チャンネル：重要な監視計器については、単一故障を想定しても、パラメータを監視できなくならないように、1つのパラメータを複数の計器で監視する。複数の計器の1つを指す時にチャンネルと呼ぶ。</p> <p>他チャンネル又は他ループによる監視及び代替パラメータを計測する計器によるパラメータの推定に使用する設備は、以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器 重大事故等対処設備として選定する計器 ② 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器 重大事故等対処設備としての要求事項を満たさない多様性拡張設備の計器 ③ 重要代替計器 代替パラメータを計測する計器で、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした設備 ④ 常用代替計器 代替パラメータを計測する計器で、重大事故等 	<p>備と多様性拡張設備を以下に示す。 なお、機能喪失の想定、重大事故等対処設備、多様性拡張設備及び整備する手順についての関係を第1.15.5表に示す。</p> <p>a. パラメータを計測する計器の故障時に原子炉施設の状態を把握するための対応手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>重大事故等の対処時に重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを計測する計器が故障した場合は、原子炉施設の状態を把握するため、多重化された計器の他のチャンネル^{※3}又は他ループの計器による監視及び代替パラメータを計測する計器により当該パラメータを推定する手段を整備する。</p> <p>※3 チャンネル：重要な監視計器については単一故障を想定しても、パラメータを監視できなくならないように、1つのパラメータを複数の計器で監視する。複数の計器の1つを指すときにチャンネルと呼ぶ。</p> <p>他チャンネル又は他ループによる監視及び代替パラメータを計測する計器によるパラメータの推定に使用する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器 ・ 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器 ・ 重要代替計器 ・ 常用代替計器 	<p>備と多様性拡張設備を以下に示す。 なお、機能喪失の想定、重大事故等対処設備、多様性拡張設備及び整備する手順についての関係を第1.15.5表に示す。</p> <p>a. 監視機能喪失時の対応手段及び設備 (a) 計器故障時の対応手段及び設備</p> <p>i. 対応手段</p> <p>重大事故等の対処時に主要パラメータを計測する計器が故障した場合、原子炉施設の状態を把握するため、多重化された計器の他チャンネル^{※3}又は他ループの計器により計測する手段及び代替パラメータにより当該パラメータを推定する手順を整備する。</p> <p>※3 チャンネル：単一故障を想定しても、パラメータの監視機能が喪失しないように、1つのパラメータを測定原理が同じである複数の計器で監視しており、多重化された監視機能のうち、検出器から指示部までの最小単位をチャンネルと呼ぶ。</p> <p>他チャンネル又は他ループによる計測に使用する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器 ・ 主要パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器 代替パラメータによる推定に使用する設備は、以下のとおり。 ・ 重要代替計器 ・ 常用代替計器 	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>対処設備としての要求事項を満たさない多様性拡張設備</p> <p>主要パラメータのうち、重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを計測する計器が故障した場合に使用する代替パラメータを第1.15.3表に示す。</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、主要パラメータを計測する計器の故障時に発電用原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、当該パラメータの他チャンネルの重要計器は重大事故等対処設備として位置付ける。代替パラメータによる推定に使用する設備のうち、重要代替計器は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。 (添付資料 1.15.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、主要パラメータを把握することができる。また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要パラメータの他チャンネルの常用計器及び常用代替計器 耐震性又は耐環境性がない、若しくは電源が非常用電源から供給されていないものの、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。 <p>b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段 重大事故等の対処時に当該パラメータが計測範囲を超えた場合は、発電用原子炉施設の状態を把握するため、代替パラメータを計測する計器により必要とするパラメータの値を推定する手段及び</p>	<p>対処設備としての要求事項を満たさない多様性拡張設備</p> <p>主要パラメータのうち、重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを計測する計器が故障した場合に使用する代替パラメータを第1.15.3表に示す。</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定したパラメータを計測する計器の故障時に原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器及び重要代替計器を重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これらの重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを把握することができるため、以下の設備は、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該パラメータの他の常用計器及び常用代替計器 耐震性等がないものの、監視可能であれば原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。 <p>b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段 重大事故等の対処時に当該パラメータが計測範囲を超えた場合は、原子炉施設の状態を把握するため、代替パラメータを計測する計器又は可搬型計測器により必要とするパラメータの値を推定す</p>	<p>主要パラメータである重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを計測する計器が故障した場合に使用する代替パラメータを第1.15.6表に示す。</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定したパラメータを計測する計器の故障時に原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器及び重要代替計器を重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これらの重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを把握することができるため、以下の設備は、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該パラメータの他の常用計器及び常用代替計器 耐震性等がないものの、監視可能であれば原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。 <p>b. 原子炉容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に原子炉施設の状態を把握するための対応手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段 重大事故等の対処時に当該パラメータが計測範囲を超えた場合は、原子炉施設の状態を把握するため、代替パラメータを計測する計器又は可搬型計測器により必要とするパラメータの値を推定す</p>	<p>ii. 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、計器の故障時に、他チャンネル又は他ループによる計測に使用する設備のうち、主要パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器は重大事故等対処設備として位置づける。 代替パラメータによる推定に使用する設備のうち、重要代替計器は重大事故等対処設備として位置づける。</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、主要パラメータを把握することができる。また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器及び常用代替 計器耐震性又は耐環境性が低いものの、監視可能であれば原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。 <p>(b) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合の対応手段及び設備</p> <p>i. 対応手段 重大事故等の対処時に、主要パラメータである原子炉容器内の温度、圧力及び水位並びに原子炉容器及び原子炉格納容器への注水量を監視する計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合、原子炉</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違 記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違 ・泊でも添付1.15.1にて要求される設備が網羅されていることを示している。 記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>可搬型の計測器により計測する手段がある。</p> <p>代替パラメータによる推定に使用する設備は以下のとおり。 ・重要代替計器 ・常用代替計器</p> <p>可搬型の計器による計測に使用する設備は以下のとおり。 ・可搬型計測器</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、主要パラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に、発電用原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、重要代替計器及び可搬型計測器は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。 (添付資料 1.15.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、当該パラメータを把握することができる。また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用代替計器 耐震性又は耐環境性がない、若しくは電源が非常用電源から供給されていないものの、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。 <p>c.計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備 (a) 対応手段 監視する計器に供給する電源（以下「計器電源」という。）が喪失し、監視機能が喪失した場合に、代替電源（交流、直流）及び代替所内電気設備から給電し、当該パラメータの計器により計測又は監視する手段がある。</p>	<p>る手段を整備する。</p> <p>代替パラメータを計測する計器は以下のとおり。 ・重要代替計器 ・常用代替計器</p> <p>可搬型計測器により必要となるパラメータの値を推定する手段は以下のとおり。 ・可搬型計測器</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、パラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、重要代替計器及び可搬型計測器は重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これらの重大事故等対処設備により、当該パラメータを把握することができるため、以下の設備は多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用代替計器 耐震性等がないものの、監視可能であれば原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。 <p>c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備 (a) 対応手段 監視パラメータの計器に供給する電源が喪失し、監視機能が喪失した場合に、代替電源（交流、直流）より給電し、当該パラメータの計器により計測し監視する手段を整備する。</p>	<p>る手段を整備する。</p> <p>代替パラメータを計測する計器は以下のとおり。 ・重要代替計器 ・常用代替計器</p> <p>可搬型計測器による必要とするパラメータの値を推定する手段は以下のとおり。 ・可搬型計測器</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、パラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、重要代替計器及び可搬型計測器は重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これらの重大事故等対処設備により、当該パラメータを把握することができるため、以下の設備は多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用代替計器 耐震性等がないものの、監視可能であれば原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。 <p>c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の対応手段及び設備 (a) 対応手段 監視パラメータの計器に供給する電源が喪失し、監視機能が喪失した場合に、代替電源（交流、直流）より給電し、当該パラメータの計器により計測し監視する手段を整備する。</p>	<p>施設の状態を把握するため、代替パラメータにより推定する手順及び可搬型計測器により計測する手段を整備する。</p> <p>代替パラメータによる推定に使用する設備は、以下のとおり。 ・重要代替計器 ・常用代替計器</p> <p>可搬型の計器による計測に使用する設備は、以下のとおり。 ・可搬型計測器</p> <p>ii. 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合に、代替パラメータによる推定に使用する設備のうち、重要代替計器は重大事故等対処設備として位置づける。また、可搬型の計器による計測に使用する可搬型計測器は重大事故等対処設備として位置づける。</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、当該パラメータを把握することができる。また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用代替計器 耐震性又は耐環境性が低いものの、監視可能であれば原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。 <p>b. 計器電源喪失時の対応手段及び設備 (a) 対応手段 監視計器に供給する電源が喪失し、監視機能が喪失した場合に、代替電源（交流）、代替電源（直流）及び蓄電池から給電し、当該パラメータの計器により計測又は監視する手順を整備する。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違 ・泊でも添付1.15.1にて要求される設備が網羅されていることを示している。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>また、計器電源が喪失した場合に、電源（乾電池）を内蔵した可搬型の計測器を用いて計測又は監視する手段がある。計器の電源構成図を第1.15-4図に示す。</p> <p>代替電源（交流）からの給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設代替交流電源設備 ・可搬型代替交流電源設備 ・号炉間電力融通設備 <p>代替電源（直流）からの給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内常設蓄電式直流電源設備 ・常設代替直流電源設備 ・可搬型代替直流電源設備 ・125V 代替充電器用電源車接続設備 <p>代替所内電気設備による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替所内電気設備 <p>可搬型の計測器による計測又は監視する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄電式直流電源設備、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備、代替所内電気設備及び可搬型計測器は、重大事故等対処設備とし</p>	<p>また、直流電源が喪失した場合に、電源を内蔵した可搬型計測器を用いて計測し、監視する手段がある。</p> <p>代替電源（交流）からの給電に使用する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空冷式非常用発電装置 <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）※3 ・電源車 <p>代替電源（直流）からの給電に使用する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池（安全防護系用） <ul style="list-style-type: none"> ・可搬式整流器 <p>※3 可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）：インバータを内蔵した可搬型バッテリーを使用することにより電気（交流）を給電できるため、代替電源（交流）として有効である。</p> <p>直流電源が喪失した場合に計器に内蔵した電源により個別に計測する設備（汎用品）は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、空冷式非常用発電装置、蓄電池（安全防護系用）、電源車、可搬式整流器及び可搬型計測器は、重大事故等対処設備と位置づける。</p>	<p>また、直流電源が喪失した場合に、電源を内蔵した可搬型計測器を用いて計測し監視する手段を整備する。計器の電源構成図を第1.15.4図に示す。</p> <p>代替電源（交流）からの給電に使用する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替非常用発電機 ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・可搬型タンクローリー ・ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ・可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）※4 <p>代替電源（直流）からの給電に使用する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後備蓄電池 ・可搬型直流電源用発電機 ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・可搬型タンクローリー ・ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ・可搬型直流変換器 <p>※4 可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）：インバータを内蔵した可搬型バッテリーを使用することにより電気（交流）を給電できるため、代替電源（交流）として有効である。</p> <p>直流電源が喪失した場合に計器に内蔵した電源により個別に計測する設備（汎用品）は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した代替非常用発電機、ディーゼル発電機燃料油貯油槽、可搬型タンクローリー、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ、後備蓄電池、可搬型直流電源用発電機、可搬型直流変換器及び可搬型計測器は、重大</p>	<p>また、計器電源が喪失した場合に、電源（乾電池）を内蔵した可搬型計測器を用いて計測又は監視する手段を整備する。計器の電源構成図を第1.15.4図に示す。</p> <p>代替電源（交流）からの給電に使用する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空冷式非常用発電装置 <p>代替電源（直流）からの給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池（重大事故等対処用） ・可搬型直流電源装置 <p>蓄電池からの給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計装設備専用蓄電池（炉外核計装設備用、放射線監視設備用） ・炉内温度計測装置用可搬型蓄電池 <p>可搬型の計器による計測又は監視に使用する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した代替電源（交流）からの給電に使用する設備のうち、空冷式非常用発電装置は重大事故等対処設備として位置づける。代替電源（直流）からの給電に使用する設備のうち、蓄電池（重大事故等対処用）</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>代替電源設備構成の相違</p> <p>代替電源設備構成の相違</p> <p>代替電源設備構成の相違</p> <p>代替電源設備構成の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>代替電源設備構成の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>代替電源設備構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>て位置付ける。</p> <p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。 (添付資料 1.15.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、主要パラメータを把握することができる。また、以下の設備は、プラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・125V 代替充電器用電源車接続設備 <p>給電開始までに時間を要するが、給電可能であれば可搬型代替直流電源設備である電源車から代替所内電気設備を経由し 125V 系統への給電に対する代替手段として有効である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・号炉間電力融通設備 <p>号炉間電力融通設備で使用する設備の耐震性は確保されていないが、3号炉の非常用ディーゼル発電機及び電路が健全で、給電可能であれば重大事故等の対処に必要なパラメータの監視が可能となるため、電源を確保するための手段として有効である。</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>重大事故等時において、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等、想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを記録する手段がある。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを記録する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全パラメータ表示システム (SPDS) <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) は、デ</p>	<p>これらの重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを把握することができるため、以下の設備は、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型バッテリー (炉外核計装盤、放射線監視盤) <p>電源を供給できる容量に限りがあり、重大事故等の対処時において連続監視することができないものの、代替電源による給電ができない場合において、炉外核計装盤及び放射線監視盤のパラメータを把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>重大事故等時において、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要な監視パラメータを記録する手段を整備する。</p> <p>監視パラメータを記録する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全パラメータ表示システム (SPDS) (以下「SPDS」という。) 	<p>事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これらの重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを把握することができるため、以下の設備は、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型バッテリー (炉外核計装装置用、放射線監視装置用) <p>電源を供給できる容量に限りがあり、重大事故等の対処時において連続監視することができないものの、代替電源による給電ができない場合において、炉外核計装装置及び放射線監視装置のパラメータを把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する対応手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>重大事故等時において、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要な監視パラメータを記録する手段を整備する。</p> <p>監視パラメータを記録する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ収集計算機 	<p>及び可搬型直流電源装置は重大事故等対処設備として位置づける。可搬型の計器による計測に使用する、可搬型計測器は重大事故等対処設備として位置づける。</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、主要パラメータを把握することができる。また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計装設備専用蓄電池 (炉外核計装設備用、放射線監視設備用)、炉内温度計測装置用可搬型蓄電池 <p>給電できる容量に限りがあり、重大事故等の対処時において連続監視することができないものの、代替電源からの給電ができない場合において、炉外核計装設備、放射線監視設備及び炉内計装設備のパラメータを把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>c. パラメータ記録時の対応手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>重大事故等時において、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータを記録する手順を整備する。</p> <p>パラメータ記録時に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全パラメータ表示システム 	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊でも添付 1.15.1 にて要求される設備が網羅されていることを示している <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違 (②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の安全パラメータ

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>ータ収集装置、SPDS 伝送装置及び SPDS 表示装置により構成される。</p> <p>また、重大事故等時の有効監視パラメータが使用できる場合は、パラメータを記録する手段がある。</p> <p>有効監視パラメータを記録する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全パラメータ表示システム (SPDS) ・プロセス計算機 ・中央制御室記録計 	<ul style="list-style-type: none"> ・SPDS表示装置 ・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用) <p>また、重大事故等時の有効な監視パラメータについても使用できる場合は、可能な限りパラメータを記録する手段を整備する。</p> <p>なお、その他の記録として、監視パラメータの警報状態及びプラントトリップ状態を可能な限り記録する手段を整備する。</p> <p>有効な監視パラメータを記録する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント計算機 (計算機運転日誌、警報記録、事故時データ収集記録) 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ表示端末 ・可搬型温度計測装置 <p>また、重大事故等時の有効な監視パラメータについても使用できる場合は、可能な限りパラメータを記録する手段を整備する。</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><内容比較のため再掲(5)></p> <p>なお、その他の記録として、監視パラメータの警報状態及びプラントトリップ状態を可能な限り記録する手段を整備する。</p> <p>有効な監視パラメータを記録する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント計算機 (運転記録、警報記録、事故時データ収集記録) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口/出口用) ・プラント計算機 (発電日誌、警報出力、事故時データ収集) 	<p>表示システム (SPDS) のうち、データ収集装置、SPDS 表示装置は、それぞれ泊のデータ収集計算機、データ表示端末に相当する。</p> <p>・女川の安全パラメータ表示システム (SPDS) のうち、SPDS 伝送装置は、泊の ERSS 伝送サーバに相当するが、発電所における監視及び記録に関与しない設備のため記載していない。ERSS 伝送サーバは設置許可基準規則第62条にて記載している。</p> <p>設備構成の相違 (①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では可搬型温度計測装置を現場に設置し、格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度を記録する設計としている <p>記載表現の相違</p> <p>記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川では本項の後段に記載 <p>設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、プラント計算機にて有効な監視パラメータを記録している。 <p>設備名称の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、プラント計算機により定められたプロセスの計測結果を記録している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>なお、その他の記録として、警報発生及びプラントトリップ状態を記録する手段がある。</p> <p>その他のパラメータを記録する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計算機 <p>重要監視パラメータは、原則、安全パラメータ表示システム（SPDS）へ記録するが、可搬型計測器により測定したパラメータの値、複数の計測結果を使用し計算により推定する監視パラメータ（計測結果を含む。）の値は、記録用紙に記録する手順を整備する。</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを記録する設備である安全パラメータ表示システム（SPDS）は、重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。（添付資料 1.15.1）</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータを記録することができる。また、以下の設備は、プラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p>	<p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 重要な監視パラメータを記録する設備であるSPDS、SPDS表示装置及び可搬型温度計測装置は、重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>重要な監視パラメータは、原則、SPDSへ記録するが、監視が必要な時に現場に設置する計器の値、複数の計測結果を使用し計算により推定する監視パラメータ（計測結果を含む。）の値は、専用の記録装置又は記録用紙により記録する。なお、その他は可能な限り多様性拡張設備により記録する。</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータを記録することができるため、以下の設備は、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p>	<p><内容比較のため再掲(5)></p> <p>なお、その他の記録として、監視パラメータの警報状態及びプラントトリップ状態を可能な限り記録する手段を整備する。</p> <p>有効な監視パラメータを記録する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント計算機 （運転記録、警報記録、事故時データ収集記録） <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 重要な監視パラメータを記録する設備であるデータ収集計算機、データ表示端末及び可搬型温度計測装置は、重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>重要な監視パラメータは、原則、データ収集計算機へ記録するが、監視が必要な時に現場に設置する計器の値は、専用の記録装置又は記録用紙に記録する。なお、その他は可能な限り多様性拡張設備により記録する。</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータを記録することができるため、以下の設備は、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p>	<p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 審査基準及び基準規則要求により選定した原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータを記録する設備のうち、安全パラメータ表示システム及び可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口/出口用）は重大事故等対処設備として位置づける。</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータを記録することができる。また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p>	<p>記載箇所の相違 ・泊では本項の前段に記載</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備名称の相違 記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違 記載方針の相違 (②) 設備構成の相違 (①)</p> <p>記載方針の相違</p> <p>記載方針の相違 ・泊でも添付 1.15.1 にて要求される設備が網羅されていることを示している</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>・プロセス計算機</p> <p>・中央制御室記録計</p> <p>耐震性を有していないが、設備が健全である場合には、重大事故等の対処に必要な監視パラメータの記録が可能なことから、代替手段として有効である。</p> <p>e.手順等 上記の「a.パラメータを計測する計器の故障時に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備」、「b.原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備」、「c.計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備」及び「d.重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備」により選定した対応手段に係る手順を整備する。</p> <p>これらの手順は、運転員、重大事故等対応要員及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）の対応として、「非常時操作手順書（徴候ベース）」、「非常時操作手順書（設備別）」及び「重大事故等対応要領書」に定める（第1.15-1表）。</p>	<p>・プラント計算機 （計算機運転日誌、警報記録、事故時データ収集記録）</p> <p>耐震性を有していないが、設備が健全である場合は重大事故等の対処に必要な監視パラメータの記録が可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>e. 手順等 上記の a.、b.、c. 及び d. により選定した対応手段に係る手順を整備する。</p> <p>これらの手順は、発電所対策本部長^{※4}、当直課長、運転員等^{※5}及び緊急安全対策要員^{※6}の対応として、炉心の著しい損傷が発生した場合に対処する運転手順等の対応手順等に定める（第1.15.1表）。</p> <p>※4 発電所対策本部長：重大事故等発生時における発電所原子力防災管理者及び代行者をいう。</p> <p>※5 運転員等：運転員及び重大事故等対策要員のうち当直課長の指示に基づき運転対応を実施する要員をいう。</p> <p>※6 緊急安全対策要員：重大事故等対策要員のうち、発電所対策本部長の指示に基づき対応する運転員等以外の要員をいう。</p>	<p>・プラント計算機 （運転記録、警報記録、事故時データ収集記録）</p> <p>耐震性を有していないが、設備が健全である場合は重大事故等の対処に必要な監視パラメータの記録が可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>e. 手順等 上記の a.、b.、c. 及び d. により選定した対応手段に係る手順を整備する。</p> <p>これらの手順は、災害対策本部長、発電課長（当直）、運転員、災害対策要員、事務局員、電気工作班員及び運転班員の対応として、全交流動力電源喪失時における対応手順等に定める（第1.15.5表）。</p>	<p>・プラント計算機 （発電日誌、警報出力、事故時データ収集）</p> <p>耐震性が低く、全交流動力電源喪失及び直流電源喪失時に蓄電池から給電できる時間に限りがあるが、設備が健全である場合は重大事故等の対処に必要な主要パラメータのうち計測可能なパラメータの記録、プラントの警報状態及びプラントトリップ状態の記録が可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>d. 手順等 上記の a.、b. 及び c. により選定した対応手段に係る手順を整備する。</p> <p>これらの手順は、炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順に定める（第1.15.5表）。</p>	<p>設備名称の相違 記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違 ・泊では、プラント計算機により定められたプロセスの計測結果を記録している。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>体制の相違 手順名称、記載表現の相違 表番号の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>主要パラメータを計測する計器が、故障により計測することが困難となった場合、当該パラメータを推定する手段を整備する（第1.15-3表）。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>重大事故等に対処するために発電用原子炉施設の状態を把握するために必要な重要監視パラメータを計測する重要計器が故障した場合※4。</p> <p>※4 重要計器の指示値に、以下のような変化があった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常時や事故時に想定される値から、大きな変動がある場合 ・複数ある計器については、それぞれの指示値の差が大きい場合 ・計器信号の喪失に伴い、指示値が計測範囲外にある場合 ・計器電源の喪失に伴い、指示値の表示が消滅した場合 <p>b. 操作手順</p> <p>計器の故障の判断及び対応手順は、以下のとおり。</p> <p>①運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉施設の状態を把握するために必要な重要監視パラメータについて、他チャンネルの重要計器がある場合には、当該計器により当該パラメータを計測する。また、当該パラメータの常用計器で監視可能であれば確認に使用する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、読み取った指示値が正常であることを、計測範囲内にあること及びプラント状況によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がないことより確認する。</p>	<p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>重要な監視パラメータ（原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量等）又は有効な監視パラメータを計測する計器が故障により、計測することが困難となった場合、当該パラメータを推定する手段を整備する（第1.15.1表、第1.15.3表）。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>b. ④の手順着手の判断は、b. ①～③までの手順により主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを計測する計器の故障が疑われた場合。</p> <p>b. パラメータ監視の手順</p> <p>計器の故障の判断及び対応手順は、以下のとおり。</p> <p>① 監視が必要な重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータの指示値を読み取る。</p> <p>② 読み取った指示値が正常であることを、運転手順書に明確に示された計測レンジ範囲内にあること及びプラント状況等により推定される値との間に大きな差異が無いこと等により確認する。</p> <p>③ 原子炉施設の状態を把握するために必要とする重要な監視パラメータについて、他チャンネル又は他ループの計器がある場合は、当該計器</p>	<p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>重要な監視パラメータ（原子炉容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉容器及び原子炉格納容器への注水量等）又は有効な監視パラメータを計測する計器が故障により、計測することが困難となった場合、当該パラメータを推定する手段を整備する（第1.15.6表）。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>b. ④～⑤の手順着手の判断は、b. ①～③までの手順により主要パラメータである重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを計測する計器の故障が疑われた場合。</p> <p>b. パラメータ監視の手順</p> <p>計器の故障の判断及び対応手順は、以下のとおり。</p> <p>① 監視が必要な重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータの指示値を読み取る。</p> <p>② 読み取った指示値が正常であることを、運転手順書に明確に示された計測レンジ範囲内にあること及びプラント状況等によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がないこと等により確認する。</p> <p>③ 原子炉施設の状態を把握するために必要とする重要な監視パラメータについて、他チャンネル又は他ループの計器がある場合は、当該計器</p>	<p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失時の手順等</p> <p>(1) 計器故障時の手順等</p> <p>a. 他チャンネル又は他ループによる計測</p> <p>(a) 主要パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器による計測</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、チャンネル故障により計測することが困難となった場合に、主要パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器による計測を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器のチャンネル故障が発生した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>主要パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器による計測手順の概要は以下のとおり。</p> <p>① 当直長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に主要パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器による計測を指示する。</p> <p>② 運転員は、主要パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器の指示値を読み取る。</p> <p>③ 運転員は、読み取った指示値が計測レンジ範囲内にあること及びプラント状況等によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がないことを確認する。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>表番号の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>③当該パラメータが計測範囲外又はプラント状況によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がある場合には、発電課長はあらかじめ選定した重要代替監視パラメータの計測を運転員（中央制御室）Aに指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、読み取った指示値を発電課長に報告する。なお、常用代替計器が使用可能であれば、併せて確認する。</p> <p>⑤発電課長は、発電所対策本部へ重要代替監視パラメータの指示値から主要パラメータの推定を依頼する。</p> <p>⑥発電所対策本部は、重大事故等対策要員（運転員を除く。）に重要代替監視パラメータの値から主要パラメータの推定を指示する。</p> <p>⑦重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、主要パラメータの推定結果を発電所対策本部へ報告する。</p> <p>⑧発電所対策本部は、発電課長に主要パラメータの推定結果を報告する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の計測及び推定は、運転員（中央制御室）1名、重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名で対応が可能である。速やかに作業ができるように、推定手順を整備する。</p>	<p>により当該パラメータを計測する。</p> <p>なお、当該パラメータの他の常用計器で監視可能であれば確認に使用する。</p> <p>④ パラメータ選定にて選定した重要代替パラメータ（他チャンネル及び他ループの重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器除く。）の値を用いて以下の方法で推定する。 なお、常用代替計器が使用可能であれば、推定に使用する。</p>	<p>による計測値との間に大きな差異がないこと等により確認する。 なお、当該パラメータの他の常用計器で監視可能であれば確認に使用する。</p> <p>④ 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器がある場合、他チャンネルの計器による計測を優先し、次に他ループの計器により計測する。</p> <p>⑤ パラメータ選定にて選定した重要代替監視パラメータの値を用いて以下の方法で推定する。 なお常用代替計器が使用可能であれば、推定に使用する。</p>	<p>(b) 主要パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器による計測 主要パラメータを計測する多重化された重要計器の多重故障又は常用計器のチャンネル故障により計測することが困難となった場合に、主要パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器による計測を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 主要パラメータを計測する多重化された重要計器の多重故障又は常用計器のチャンネル故障が発生した場合。</p> <p>ii. 操作手順 主要パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器による計測手順の概要は以下のとおり。</p> <p>① 当直長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に主要パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器による計測を指示する。</p> <p>② 運転員は、主要パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器の指示値を読み取る。</p> <p>③ 運転員は、読み取った指示値が計測レンジ範囲内にあること及びプラント状況等によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がないことを確認する。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>d. 代替パラメータによる推定方法 主要パラメータを計測する計器の故障により、主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータによる推定を行う。</p> <p>計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状態及び事象進展状況を踏まえ、関連するパラメータを複数確認し、得られた情報の中から有効な情報を評価することで、発電用原子炉施設の状態を把握する。</p> <p>推定にあたっては、使用する計器が複数ある場合、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件等、以下に示す事項及び計測される値の不確かさを考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基準配管に水を満たした構造の計器で計測するパラメータについては、急激な原子炉減圧等により基準配管の水が蒸発し、不確かな指示を示すことがある。そのような状態が想定される場合は、関連するパラメータを複数確認しパラメータを推定する。なお、原子炉水位、原子炉圧力及び圧力抑制室水位を除き、基準配管の水位変動に起因する不確かさを考慮する必要はない。 	<p>c. 代替パラメータでの推定方法 計器故障時、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器がある場合、他チャンネルの計器による計測を優先し、次に他ループの計器により計測する。</p> <p>重要代替パラメータ（他チャンネル及び他ループの重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器除く。）の値により推定を行う際に、推定に使用する計器が複数ある場合、より直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を考慮するとともに、計測される値の確からしさを判断の上で使用するパラメータの優先順位を定める。</p> <p>パラメータを基準配管に水を満たした構造で計測するものについては、急激な減圧等により基準配管の水が蒸発し不確かな指示をする可能性がある。そのような状態が想定される場合は、関連するパラメータを複数確認しパラメータを推定する。なお、蒸気発生器水位（狭域）及び蒸気発生器水位（広域）を除き、基準配管の水位に起因する不確かさを考慮する必要はない。</p>	<p>c. 代替パラメータでの推定方法</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><内容比較のため再掲(6)> 事故発生から事象の進展状況(徴候)による炉心の冷却状態(漏えいの規模、安全注入状況)や当該パラメータの計器が故障するまでの状態等、関連するパラメータを複数確認し、得られた情報の中から有効な情報を評価することで、適切な原子炉施設の状態の把握に努める。</p> </div> <p>重要代替監視パラメータの値により推定を行う際に、推定に使用する計器が複数ある場合、より直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を考慮するとともに、計測される値の確からしさを判断の上で使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。</p> <p>パラメータを基準配管に水を満たした構造で計測するものについては、急激な減圧等により基準配管の水が蒸発し不確かな指示をする可能性がある。そのような状態が想定される場合は、関連するパラメータを複数確認しパラメータを推定する。なお、蒸気発生器水位(狭域)及び蒸気発生器水位(広域)を除き、基準配管の水位に起因する不確かさを考慮する必要はない。</p>	<p>b. 代替パラメータによる推定 主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、計器の故障が疑われる場合は、代替パラメータによる推定を行う手順を整備する。</p> <p>計器が故障するまでの原子炉施設の状態及び事象進展状況を踏まえ、関連するパラメータを複数確認し、得られた情報の中から有効な情報を評価することで、適切な原子炉施設の状態を把握する。</p> <p>推定にあたっては、使用する計器が複数ある場合、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類及び使用環境条件など、以下に示す事項及び計測される値の不確かさを考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基準配管に水を満たした構造の計器で計測するパラメータについては、急激な減圧等により基準配管の水が蒸発し不確かな指示を示すことがある。そのような状態が想定される場合は、関連するパラメータを複数確認し、パラメータを推定する。なお、蒸気発生器狭域水位及び蒸気発生器広域水位を除き、基準配管の水位変動に起因する不確かさを考慮する必要はない。 	<p>記載表現の相違</p> <p>記載箇所の相違 ・泊では本項の前段に記載している。 記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>・常用代替計器が監視機能を維持している場合、重大事故等の対処に有効な情報を得ることができる。ただし、環境条件や不確かさを考慮し、重要計器又は重要代替計器で測定されるパラメータの値との差異を評価し、パラメータの値、信頼性を考慮した上で使用する。</p> <p>・重大事故等時に最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、炉心損傷及び原子炉圧力容器が破損した状況であるため、原子炉格納容器内の圧力、温度、放射線量率等が厳しい環境下においても、その監視機能を維持できる重要代替計器を優先して使用する。また、重大事故等時と校正時の状態変化による影響を考慮する。</p> <p>・圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状況及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p>	<p>また、重大事故等の環境下で最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、原子炉格納容器内に蒸気が充満し、加圧された状況であり、環境として圧力、温度、放射線量が厳しい状況下においても、その監視機能を維持できる計器（第1.15.2表の重大事故等対処設備）を優先して使用する。</p> <p>重大事故等の状況によっては、耐震性、耐環境性がない計器（多様性拡張設備）についても、監視機能を維持している場合、重大事故等の対処に有効な情報を得ることができる。</p> <p>ただし、多様性拡張設備については環境条件や不確かさを考慮し、耐震性、耐環境性のある計器のパラメータの値との差異を評価し、パラメータの値、信頼性を考慮した上で使用する。</p> <p>事故発生からの事象の進展状況（徴候）による炉心の冷却状態（漏えいの規模、安全注入状況）や当該パラメータの計器が故障するまでの状態等、関連するパラメータを複数確認し、得られた情報の中から有効な情報を評価することで、適切な原子炉施設の状態の把握に努める。</p> <p>なお、圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの原子炉施設の状況及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p>	<p>また、重大事故等の環境下で最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、原子炉格納容器内に蒸気が充満し加圧された状況であり、環境として圧力、温度、放射線量が厳しい状況下においても、その監視機能を維持できる計器（第1.15.2表の重大事故等対処設備）を優先して使用する。</p> <p>重大事故等の状況によっては、耐震性、耐環境性がない計器（多様性拡張設備）についても、監視機能を維持している場合、重大事故等の対処に有効な情報を得ることができる。</p> <p>ただし、多様性拡張設備については環境条件や不確かさを考慮し、耐震性、耐環境性のある計器のパラメータの値との差異を評価し、パラメータの値、信頼性を考慮した上で使用する。</p> <p style="text-align: center;">＜内容比較のため再掲(6)＞</p> <p>事故発生からの事象の進展状況（徴候）による炉心の冷却状態（漏えいの規模、安全注入状況）や当該パラメータの計器が故障するまでの状態等、関連するパラメータを複数確認し、得られた情報の中から有効な情報を評価することで、適切な原子炉施設の状態の把握に努める。</p> <p>なお、圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの原子炉施設の状況及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度を装置の作動状況及びあらかじめ評価した原子炉格納容器内水素濃度と圧力の相関関係を用いて推定する場合は、間接的な情報により推定するため不確かさが生じることを考慮する。</p>	<p>・重大事故等時に最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、原子炉格納容器内に蒸気が充満し加圧された状況であるため、原子炉格納容器内の圧力、温度、放射線量率等が厳しい環境下においても、その監視機能を維持できる重要代替計器を優先して使用する。</p> <p>・多様性拡張設備である常用代替計器が監視機能を維持している場合、重大事故等の対処に有効な情報を得ることができる。</p> <p>ただし、多様性拡張設備については環境条件や不確かさを考慮し、重要監視計器又は重要代替計器で測定されるパラメータの値との差異を評価し、パラメータの値、信頼性を考慮した上で使用する。</p> <p>・圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの原子炉施設の状況及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>・原子炉格納容器内の水素濃度を装置の作動状況及びあらかじめ評価した原子炉格納容器内水素濃度と圧力の相関関係を用いて評価する場合は、間接的な情報により推定するため不確かさが生じることを考慮する。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載箇所の相違 ・女川では本項の前段に記載している。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>・推定に当たっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。 (添付資料 1.15.6)</p>	<p>また、代替パラメータによる推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p> <p>(a) 原子炉圧力容器内の温度の推定 1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）の計測が困難となった場合、代替パラメータの1次冷却材低温側温度（広域）又は1次冷却材高温側温度（広域）により原子炉圧力容器内の温度を推定する。この推定方法では、重大事故等時において約10℃程度の温度差が生じる可能性があることを考慮し、推定する。また、使用可能であれば炉心出口温度（多様性拡張設備）により原子炉圧力容器内の温度を推定する。</p> <p>炉心出口温度（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、代替パラメータの1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）により原子炉圧力容器内の温度を推定する。この推定方法では、炉心出口のより直接的な値を示す1次冷却材高温側温度（広域）を優先して使用する。</p> <p>1次冷却材高温側温度（広域）と炉心出口温度（多様性拡張設備）の関係は、炉心冠水状態から炉心損傷を判断する時点（350℃）において1次冷却材高温側温度（広域）の方がやや低い値を示すものの、大きな温度差は見られないことから、1次冷却材高温側温度（広域）により炉心損傷を判断することが可能である。</p> <p>なお炉心出口温度（多様性拡張設備）については、盤及び電源の耐震化を実施している。また、全交流動力電源喪失時においても、可搬型計測器を用いて必要点数の監視及び記録も可能である。炉心出口温度（多様性拡張設備）の計測上限値は650℃であるが、可搬型計測器を使用することで検出器の温度素子の機能上限（約1,300℃）まで温度測定が可能である。</p> <p>(b) 原子炉圧力容器内の圧力の推定 1次冷却材圧力の計測が困難となった場合は、代替パラメータの1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）により、原子炉圧力容器内の圧力と水の飽和温度の関係から原子炉圧力容器内の圧力を推定する。この推定方法</p>	<p>また、代替パラメータによる推定に当たっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p>	<p>・推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違 ・泊では、添付資料1.15.13にて代替パラメータの誤差による影響を整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>では、原子炉圧力容器内が飽和状態である場合に適用できるが、飽和状態でないことを確認した場合は、不確かさを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。また、測定範囲内であれば加圧器圧力（CRT）（多様性拡張設備）により推定する。</p> <p>加圧器圧力（CRT）（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、代替パラメータの1次冷却材圧力により推定する。この推定方法では、測定精度は加圧器圧力（CRT）（多様性拡張設備）比べ劣るが、重大事故等時には測定範囲が広い1次冷却材圧力を使用する。</p> <p>(c) 原子炉圧力容器内の水位の推定 加圧器水位の計測が困難となった場合は、代替パラメータの原子炉水位により原子炉圧力容器内の水位を推定する。また、サブクール度（CRT）（多様性拡張設備）、1次冷却材圧力及び1次冷却材高温側温度（広域）により、原子炉圧力容器内がサブクール状態又は飽和状態であることを監視することで、原子炉圧力容器内の水位が、炉心上端以上で、冠水状態であることを確認する。重大事故等時には、加圧器水位の計測範囲外となった場合、原子炉圧力容器内の水位は直接計測している原子炉水位を優先して使用し確認する。なお、原子炉圧力容器内が過熱状態の場合、炉心注入水により原子炉水位の指示に影響を及ぼす可能性があることを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>原子炉水位の計測が困難となった場合、加圧器水位により、原子炉圧力容器内の水位を推定する。また、サブクール度（CRT）（多様性拡張設備）、1次冷却材圧力及び炉心出口温度（多様性拡張設備）、1次冷却材高温側温度（広域）、1次冷却材低温側温度（広域）により原子炉圧力容器内がサブクール状態又は飽和状態であることを監視することで、原子炉圧力容器内の水位が、炉心上端以上で冠水状態であることを確認する。</p> <p>プラント停止中におけるRCSミッドループ運転時には、1次冷却系統水位（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、代替パラメータの1次冷却材高温側温度（広域）及び1次冷却材</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>低温側温度（広域）の傾向監視、又は余熱除去ポンプ吐出圧力（多様性拡張設備）の傾向監視により水位を推定する。この推定方法では、温度の急上昇により原子炉圧力容器内の水位が、炉心上端以下で冠水していないことを推定する。また、余熱除去ポンプの吐出圧力の低下により原子炉圧力容器内の水位が低下していることを推定する。</p> <p>(d) 原子炉圧力容器への注水量の推定 高圧注入流量、余熱除去流量及び充てん水流量（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、代替パラメータの燃料取替用水ピット水位、加圧器水位、原子炉水位及び格納容器再循環サンプル水位（広域）の水位変化により原子炉圧力容器内への注水量を推定する。この推定方法では、環境悪化の影響を受けることが小さい水源である燃料取替用水ピット水位を優先して使用し推定する。また、加圧器水位及び1次冷却材喪失重大事故等時の監視に使用する原子炉水位又は格納容器再循環サンプル水位（広域）は、水位変化により原子炉圧力容器への注水量を推定する。</p> <p>恒設代替低圧注水積算流量の計測が困難となった場合、代替パラメータの燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位、加圧器水位、原子炉水位及び格納容器再循環サンプル水位（広域）の傾向監視により原子炉圧力容器への注水量を推定する。この推定方法では、環境悪化の影響を受けることが小さい水源である燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位を優先して使用し推定するが、仮設組立式水槽を水源とする場合及び復水ピットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。また、加圧器水位及び1次冷却材喪失事故時の監視に使用する原子炉水位又は格納容器再循環サンプル水位（広域）は、水位変化により原子炉圧力容器への注水量を推定する。</p> <p>蓄圧タンク圧力（多様性拡張設備）及び蓄圧タンク水位（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、代替パラメータの1次冷却材圧力及び1次冷却材低温側温度（広域）の傾向監視により蓄圧タンクからの注入開始を推定する。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>AM用消火水積算流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、余熱除去流量及び注水先である加圧器水位及び原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。</p> <p>(e) 原子炉格納容器への注水量の推定 格納容器スプレイ積算流量及び恒設代替低圧注水積算流量の計測が困難となった場合、代替パラメータの燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位、及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により原子炉格納容器への注水量を推定する。この推定方法では、環境悪化の影響を受けることが小さい水源である燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位を優先して使用し推定するが、仮設組立式水槽を水源とする場合及び復水ピットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。また、格納容器再循環サンプ水位（広域）は、水位変化により原子炉格納容器への注水量を推定する。</p> <p>高圧注入流量及び余熱除去流量の計測が困難になった場合は、代替パラメータの燃料取替用水ピット水位及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により、原子炉格納容器への注水量を推定する。この推定方法では、環境悪化の影響を受けることが小さい水源である燃料取替用水ピット水位を優先して使用し推定する。また、格納容器再循環サンプ水位（広域）は、水位変化により原子炉格納容器への注水量を推定する。</p> <p>格納容器スプレイ流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により注水量を推定する。</p> <p>AM用消火水積算流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、注水量である格納容器スプレイ積算流量、格納容器スプレイ流量（多様性拡張設備）又は水源である復水ピット水位及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により注水量を推定する。</p> <p>(f) 原子炉格納容器内の温度の推定</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>格納容器内温度の計測が困難となった場合、代替パラメータの格納容器圧力（広域）及びAM用格納容器圧力により、原子炉格納容器内の圧力と水の飽和温度の関係から原子炉格納容器内の温度を推定する。この推定方法では、測定範囲内であればより詳細な圧力が計測できる格納容器圧力（広域）を優先して使用し推定する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でないことが確認された場合は、不確かさを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>(g) 原子炉格納容器内の圧力の推定 格納容器圧力（広域）の計測が困難となった場合、代替パラメータのAM用格納容器圧力、格納容器圧力（狭域）（多様性拡張設備）による推定、又は格納容器内温度から原子炉格納容器内の圧力と水の飽和温度の関係を用いて原子炉格納容器内の圧力を推定する。この推定方法では、同じ圧力を計測しているAM用格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）（多様性拡張設備）を優先して使用し推定する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でないことが確認された場合は、不確かさを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>AM用格納容器圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器圧力（広域）、格納容器圧力（狭域）（多様性拡張設備）、又は格納容器内温度から原子炉格納容器内の圧力と水の飽和温度の関係を用いて原子炉格納容器内の圧力を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、より詳細な圧力が計測できる格納容器圧力（広域）又は格納容器圧力（狭域）（多様性拡張設備）を優先して使用し推定する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でないことが確認された場合は、不確かさを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>(h) 原子炉格納容器内の水位の推定 格納容器再循環サンプル水位（広域）の計測が困難となった場合、測定範囲内であれば、格納容器再循環サンプル水位（狭域）、又は原子炉下部キャビティ水位、原子炉格納容器水位及び注水源である燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位、格納容器スプレイ積算流量及び恒設代替低圧注水積算</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、相関関係があり連続的な監視ができる格納容器再循環サンプル水位（狭域）を優先して使用し推定する。なお、溶融炉心の冷却に必要な水位を確認する場合は、原子炉格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位により確認する。また、注水量による原子炉格納容器内水位の推定は、炉心注入及び格納容器スプレイでの注水量の合計値と水位の相関関係により推定する。</p> <p>格納容器再循環サンプル水位（狭域）の計測が困難になった場合、代替パラメータである格納容器再循環サンプル水位（広域）により、広域水位と狭域水位の相関関係を用いて推定する。</p> <p>原子炉下部キャビティ水位の計測が困難になった場合、代替パラメータである格納容器再循環サンプル水位（広域）、又は燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位、格納容器スプレイ積算流量及び恒設代替低圧注水積算流量の合計値（注水量）と原子炉格納容器内水位の相関関係を用いて推定する。</p> <p>原子炉格納容器水位の計測が困難になった場合、代替パラメータである燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位、格納容器スプレイ積算流量及び恒設代替低圧注水積算流量の合計値（注水量）と原子炉格納容器内水位の相関関係を用いて推定する。</p> <p>(i) 原子炉格納容器内の水素濃度の推定 格納容器水素濃度の計測が困難になった場合、短時間で取替えが可能な予備の可搬型格納容器水素ガス濃度計に取替えて水素濃度を計測する。また、代替パラメータによる推定方法は、原子炉格納容器内の水素発生量と静的触媒式水素再結合装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置の動作特性（水素処理特性）の関係から、静的触媒式水素再結合装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置の動作状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるか否かを確認する。なお使用可能であれば、ガスクロマトグラフ（多様性拡張設備）により水素濃度を推定する。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>原子炉格納容器内の水素濃度を装置の動作特性を用いて推定する場合は、間接的な情報により推定するため、不確かさが生じることを考慮する。</p> <p>(j) アニュラス内の水素濃度の推定 アニュラス水素濃度の計測が困難となった場合、予備のアニュラス水素濃度計によりアニュラス内の水素濃度を計測する。また、代替パラメータによる推定方法は、格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）及び排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）（多様性拡張設備）の放射線量率の比により、アニュラスへの漏えい率を求め、可搬型格納容器水素ガス濃度計により測定した格納容器水素濃度を基に、評価した格納容器水素濃度とアニュラスへの漏えい率の関係をもとにアニュラス水素濃度を推定する。</p> <p>(k) 原子炉格納容器内の放射線量率の推定 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）及びモニタリングポスト（多様性拡張設備）の指示により炉心損傷のおそれが生じているか推定する。この推定方法では、格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の上限値を超えることとなるが、炉心損傷のおそれが生じている場合には、原子炉格納容器内の放射線量率は急上昇すると考えられ、同じくモニタリングポスト（多様性拡張設備）の値も数倍から1桁程度急上昇することで推定できる。</p> <p>格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の計測が困難になった場合、格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）、格納容器エアロック区域エリアモニタ（多様性拡張設備）及び炉内計装区域エリアモニタ（多様性拡張設備）により、炉心損傷のおそれが生じていない放射線量率であることを推定する。なお、格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の測定範囲より低く、格納容器エアロック区域エリアモニタ（多様性拡張設備）及び炉内計装区域エリアモニタ（多様性拡張設備）の測定範囲より高い場合は、その間の放射線量率と推定する。格納容器エアロック区域エリアモニタ（多様性拡張設備）、炉内計装区域エリアモニタ（多様性拡張設備）、格納容器じんあいモニタ（多様性拡張設備）及び格納容器ガスモニタ（多</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>多様性拡張設備)の計測が困難になった場合、測定範囲内であれば格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の上昇により、原子炉格納容器内の放射線量率の上昇を推定する。</p> <p>(1) 未臨界の維持又は監視の推定 出力領域中性子束の計測が困難となった場合は、代替パラメータの中間領域中性子束、1次冷却材高温側温度（広域）と1次冷却材低温側温度（広域）の差により推定する。この推定方法では、出力領域中性子束の測定範囲をカバーしている中間領域中性子束を優先する。また、1次冷却材ポンプが運転中である場合、出力領域中性子束の計測範囲であれば、原子炉出力及び1次冷却材高温側温度（広域）と1次冷却材低温側温度（広域）の温度差の相関関係から推定する。なお、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量の注入を把握することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>中間領域中性子束の計測が困難となった場合は、代替パラメータの出力領域中性子束の測定範囲内であれば、出力領域中性子束での推定を行い、中性子源領域中性子束の測定範囲内であれば、中性子源領域中性子束により推定する。また、出力領域中性子束の測定範囲下限と中性子源領域中性子束の上限の間である場合は、互いの測定範囲外の範囲であると推定する。なお、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量の注入を把握することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>中性子源領域中性子束の計測が困難になった場合、中間領域中性子束の測定範囲内であれば中間領域中性子束により推定する。また、中間領域中性子束の測定範囲下限以下の場合は、測定範囲下限より低い範囲であることを推定する。なお、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量の注入を把握することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>中間領域起動率（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、代替パラメータである中間領域中性子束、中性子源領域中性子束、中性子源領域起動率（多様性拡張設備）により推定する。この推定方法では、中間領域中性子束を優先し推定する。また、中性子源領域中性子束及び中性子源領域起動率（多</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>様性拡張設備)は、中性子源領域中性子束の計測範囲内にある場合のみ使用する。</p> <p>中性子源領域起動率(多様性拡張設備)の計測が困難になった場合、代替パラメータである中性子源領域中性子束、中間領域中性子束、中間領域起動率(多様性拡張設備)により推定する。この推定方法では、中性子源領域中性子束を優先し推定する。また、中間領域中性子束及び中間領域起動率(多様性拡張設備)は、中間領域中性子束の計測範囲内にある場合のみ使用する。</p> <p>(m) 最終ヒートシンクの確保の推定 格納容器圧力(広域)の計測が困難になった場合、代替パラメータのAM用格納容器圧力及び格納容器内温度により、原子炉格納容器内の圧力、温度が低下していることで最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。この推定方法では、原子炉格納容器内が飽和状態である場合に適用できるが、飽和状態でないことが確認された場合は、不確かさを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク水位の計測が困難となった場合、代替パラメータの格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)の傾向監視により格納容器内の除熱のための原子炉補機冷却水系統が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力(多様性拡張設備)の計測が困難となった場合、代替パラメータである原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力により推定する。この推定方法は、原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の計測装置を接続し推定する。</p> <p>格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)の計測が困難になった場合、短時間で取替えが可能な予備の格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)に取替えて格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度を計測する。また、代替パラメータによる推定方法は、代替パラメータの格納容器内温度及び格納容器圧力(広域)の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>格納容器再循環ユニット冷却水流量（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内温度及び格納容器圧力（広域）の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>主蒸気圧力の計測が困難となった場合、蒸気発生器2次側は温度計測ができないため、代替パラメータである1次冷却材低温側温度（広域）又は1次冷却材高温側温度（広域）の傾向監視により、蒸気発生器2次側における水の飽和圧力と飽和温度の関係から蒸気ラインの圧力を推定する。この推定方法では、1次冷却系統が満水状態で蒸気発生器2次側が飽和状態にある場合は、1次冷却材低温側温度（広域）と蒸気発生器2次側の器内温度はほぼ等しくなることから推定が可能である。なお、1次冷却材高温側温度（広域）では、蒸気発生器2次側の温度よりも高めの指示となるため1次冷却材低温側温度（広域）を優先し推定する。また、蒸気発生器2次側が飽和状態になるまでの間（未飽和状態）は不確かさが生じることを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>蒸気発生器水位（狭域）の計測が困難になった場合、代替パラメータである蒸気発生器水位（広域）との相関関係により保有水量を推定する。また、1次冷却材低温側温度（広域）及び1次冷却材高温側温度（広域）の変化を傾向監視することにより蒸気発生器2次側の保有水の有無を推定する。この推定方法では、蒸気発生器水位（広域）を優先する。なお、蒸気発生器2次側の急激な減圧やドライアウト時にパラメータの計測に必要な基準配管の水が蒸発し、高めで不確かな水位を示す可能性があるため、そのような場合には1次冷却材低温側温度（広域）、1次冷却材高温側温度（広域）の変化により推定する。</p> <p>蒸気発生器水位（広域）の計測が困難になった場合、代替パラメータである蒸気発生器水位（狭域）、1次冷却材低温側温度（広域）及び1次冷却材高温側温度（広域）の変化を傾向監視することにより蒸気発生器2次側の保有水の有無を推定する。この推定方法では、計測範囲であれば蒸気発生器水位（狭域）との相関関係を優先し推定する。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>また、蒸気発生器2次側がドライアウトした場合の判断は、蒸気発生器2次側の保有水の減少に伴う除熱能力の低下により、1次冷却材低温側温度（広域）及び1次冷却材高温側温度（広域）が上昇傾向となることで推定することができ、有効性評価の評価条件である蒸気発生器ドライアウトの判断に、代替パラメータを用いたとしても操作遅れなどの影響はない。なお、蒸気発生器2次側の急激な減圧やドライアウト時にパラメータの計測に必要な基準配管の水が蒸発し、高めで不確かな水位を示す可能性があるため、そのような場合には1次冷却材低温側温度（広域）、1次冷却材高温側温度（広域）の変化により蒸気発生器保有水の有無を推定する。</p> <p>蒸気発生器補助給水流量の計測が困難になった場合、代替パラメータである復水ピット水位、蒸気発生器水位（広域）及び蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視により、蒸気発生器補助給水流量を推定する。この推定方法では、水源である復水ピット水位を優先し推定する。</p> <p>蒸気発生器主蒸気流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、代替パラメータの主蒸気圧力の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器2次側による除熱状況を監視する。また、蒸気発生器水位（狭域）及び蒸気発生器水位（広域）の変化傾向と蒸気発生器補助給水流量を監視することにより蒸気発生器主蒸気流量（多様性拡張設備）を推定する。</p> <p>(n) 格納容器バイパス監視の推定 蒸気発生器水位（狭域）の計測が困難になった場合、代替パラメータである蒸気発生器水位（広域）により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。また、主蒸気圧力の上昇及び蒸気発生器補助給水流量の減少を傾向監視することでも推定することができる。</p> <p>主蒸気圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータである蒸気発生器水位（広域）の上昇及び蒸気発生器補助給水流量の減少を傾向監視することで蒸気発生器伝熱管破損を推定することができる。</p> <p>1次冷却材圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータである蒸気発生器水位（狭域）の上</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>昇及び主蒸気圧力の上昇にて蒸気発生器伝熱管破損を、蒸気発生器伝熱管破損がないこと及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の上昇がないことで、インターフェイスシステムLOCAを推定する。また、原子炉圧力容器内が飽和状態であれば、1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）により、原子炉圧力容器内の圧力と水の飽和温度の関係から原子炉圧力容器内の圧力を推定する。この推定方法では、原子炉圧力容器内が飽和状態である場合に適用できるが、飽和状態にない場合は、不確かさが生じることを考慮する必要がある。なお、測定範囲内であれば測定精度が詳細な加圧器圧力（CRT）（多様性拡張設備）により推定する。</p> <p>復水器空気抽出器ガスモニタ（多様性拡張設備）、蒸気発生器ブローダウン水モニタ（多様性拡張設備）及び高感度型主蒸気管モニタ（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、代替パラメータの蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。</p> <p>排気筒ガスモニタ（多様性拡張設備）、原子炉周辺建屋サンプタンク水位（多様性拡張設備）及び余熱除去ポンプ吐出圧力（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、代替パラメータの1次冷却材圧力、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位（広域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気圧力により、インターフェイスシステムLOCAを推定する。</p> <p>加圧器逃がしタンク圧力（広域）（多様性拡張設備）、加圧器逃がしタンク水位（多様性拡張設備）及び加圧器逃がしタンク温度（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、代替パラメータの1次冷却材圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンプ水位（CRT）（多様性拡張設備）の上昇がないことにより、インターフェイスシステムLOCAを推定する。</p> <p>(o) 水源の確保の推定 燃料取替用水ピット水位の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器再循環サンプ水位（広域）又は格納容器スプレイ積算流量、格納容器スプレイ流量（多様性拡張設備）、高圧注入流量、余熱除去流量、充てん水流量（多様性拡張設備）により推定する。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>代替パラメータによる主要パラメータの推定ケースは以下のとおりであり、具体的な推定方法については、第 1.15-3 表に整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一物理量（温度、圧力、水位、放射線量率、水素濃度及び中性子束）より推定するケース ・水位を注水源若しくは注水先の水位変化、注水量又は出口圧力により推定するケース ・流量を注水先又は注水源の水位変化を監視することにより推定するケース ・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定するケース ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定するケース ・注水量を注水先の圧力及び温度の傾向監視により推定するケース ・未臨界状態の維持を制御棒の挿入状態により推定するケース ・あらかじめ評価したパラメータの相関関係により酸素濃度を推定するケース ・装置の作動状況により水素濃度を推定するケース ・エリア放射線モニタの傾向監視により、格納容器くイパス事象が発生したことを推定す 	<p>備) 及び恒設代替低圧注水積算流量の合計量により、燃料取替用水ピット水位を推定する。この推定方法では、格納容器再循環サンプ水位（広域）を優先し推定するが、燃料取替用水ピット以外からの注水がないことを前提とする。</p> <p>復水ピット水位の計測が困難になった場合、代替パラメータの蒸気発生器補助給水流量、格納容器スプレイ積算流量及び恒設代替低圧注水積算流量により、復水ピットを水源とするポンプの注水量の合計から水源の有無や使用量を推定する。この推定方法では、仮設組立式水槽を水源とした補給をした場合、復水ピットへの補給量を考慮する。</p> <p>ほう酸タンク水位の計測が困難となった場合は、緊急ほう酸水補給流量（多様性拡張設備）によりほう酸タンク水位を推定する。また、炉心へのほう酸水注入に伴う負の反応度が添加されていることを出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により確認し、ほう酸水の使用量を推定する。</p> <p>上記代替パラメータの推定について第 1.15.3 表に示す。</p>	<p>代替パラメータによる主要パラメータの具体的な推定方法については、第1.15.6表に整理する。 (添付資料1.15.4)</p>	<p>代替パラメータによる主要パラメータの推定ケースは以下のとおりであり、具体的な推定方法については、第1.15.6表に整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一物理量（温度、圧力、水位、流量及び放射線量率）から推定するケース・水位を注水源若しくは注水先の水位変化又は注水量から推定するケース ・流量を注水先又は注水源の水位変化を監視することにより推定するケース ・除熱状態を温度、圧力等の傾向監視により推定するケース ・1次冷却系統からの漏えいを水位、圧力等の傾向監視により推定するケース ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係から推定するケース ・原子炉へのほう酸水注入量により未臨界状態であるか否かを推定するケース ・装置の作動状況により水素濃度を推定するケース ・あらかじめ評価したパラメータの相関関係により水素濃度を推定するケース <p>(a) 重要代替計器による推定</p>	<p>記載表現の相違 記載方針の相違 ・泊では第 1.15.6 表にて代替パラメータによる主要パラメータの推定方法を整理しており、本文には記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>るケース</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器への空気（酸素）の流入の有無を原子炉格納容器内圧力により推定するケース 使用済燃料プールの状態を同一物理量（水位及び温度）、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラの監視により、使用済燃料プールの水位又は必要な水遮蔽が確保されていることを推定するケース 原子炉压力容器内の圧力と原子炉格納容器内の圧力（圧力抑制室圧力）の差圧により原子炉压力容器の満水状態を推定するケース (添付資料 1.15.6) <p>e.重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>主要パラメータを計測する計器が故障した場合の、対応手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合に、他チャンネルの重要計器により計測できる場合は、他チャンネルの重要計器により主</p>			<p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合に、重要代替計器による推定を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>重要代替計器による推定手順の概要は以下のとおり。</p> <p>①当直長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に主要パラメータの重要代替計器による推定を指示する。</p> <p>②運転員は、主要パラメータの重要代替計器の指示値を読み取る。</p> <p>③運転員は、読み取った指示値により、主要パラメータを推定する。</p> <p>(b) 常用代替計器による推定</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合に、常用代替計器による推定を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>常用代替計器による推定手順の概要は以下のとおり。</p> <p>①当直長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に主要パラメータの常用代替計器による推定を指示する。</p> <p>②運転員は、主要パラメータの常用代替計器の指示値を読み取る。</p> <p>③運転員は、読み取った指示値により、主要パラメータを推定する。</p> <p>c. 優先順位</p> <p>主要パラメータを計測する計器が故障した場合の対応手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、チャンネル故障により計測することが困難となった場合に、他チャンネル又は他ループの重要計器により計測できる場合は、他チャンネル又</p>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では第1.15.6表にて代替パラメータによる主要パラメータの推定方法を整理しており、本文には記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>要パラメータを計測する。</p> <p>他チャンネルの重要計器の故障により、計測することが困難となった場合は、他チャンネルの常用計器により主要パラメータを計測する。</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により、主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、第1.15-3表にて定める優先順位にて代替計器により代替パラメータを計測し、主要パラメータを推定する。</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉圧力容器内の温度と水位である。</p> <p>なお、これらのパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合には、可搬型計測器により計測することも可能である。可搬型計測器により計測可能な計器について第1.15-2表に示す。 (添付資料 1.15.5)</p> <p>・原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の温度を計測する計器の計測範囲は0～500℃である。原子炉の冷却機能が喪失し、原子炉圧力容器内の水位が有効燃料棒頂部以下になった場合、原子炉圧力容器温度の計測範囲を超える場合があるが、重大事故等時における損傷炉心の冷却状態を把握し、適切に対応するための判断基準の温度は300℃であり、計器の計測範囲内で判断可能である。</p> <p>なお、原子炉圧力容器温度が計測範囲を超える（500℃以上）場合は、可搬型計測器により原子炉圧力容器温度を計測する。</p>	<p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉圧力容器内の温度と水位である。</p> <p>原子炉圧力容器内の温度及び水位の値が計器の計測範囲を超えた場合、原子炉施設の状態を推定するための手段は、以下のとおり。</p> <p>a. 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の温度のパラメータである1次冷却材温度が計測範囲（0～400℃）を超えた場合、可搬型計測器を接続し、検出器の抵抗を測定し、換算表を用いて温度へ変換する。これにより、検出器の耐熱温度である500℃程度までは温度測定できる。多様性拡張設備である炉心出口温度が健全である場合は、炉心出口温度による測定を優先する。</p> <p>なお炉心出口温度（多様性拡張設備）については、盤及び電源の耐震化を実施している。また、全交流動力電源喪失時においても、可搬型計測器を用いて必要点数の監視及び記録も可能である。炉心出口温度（多様性拡張設備）の計測上限値は</p>	<p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>原子炉容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉容器内の温度と水位である。</p> <p>原子炉容器内の温度及び水位の値が計器の計測範囲を超えた場合、原子炉施設の状態を推定するための手段は、以下のとおり。</p> <p>a. 原子炉容器内の温度 原子炉容器内の温度のパラメータである1次冷却材温度が計測範囲（0～400℃）を超えた場合、可搬型計測器を接続し、検出器の抵抗を計測し、換算表を用いて温度へ変換する。これにより、検出器の耐熱温度である500℃程度までは温度計測できる。多様性拡張設備である炉心出口温度が健全である場合は、炉心出口温度による計測を優先する。なお、炉心出口温度については、全交流動力電源喪失時においても、可搬型計測器を用いて必要点数の監視及び記録も可能であり、炉心出口温度の計測上限値である1,300℃程度まで計測が可能である。</p>	<p>は他ループの重要計器により主要パラメータを計測する。</p> <p>他チャンネル又は他ループの重要計器の故障により計測することが困難となった場合は、他チャンネル又は他ループの常用計器により主要パラメータを計測する。</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、第1.15.6表にて定める優先順位にて重要代替計器又は常用代替計器により代替パラメータを計測し、主要パラメータを推定する。</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合の手順等</p> <p>計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合に原子炉容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉容器及び原子炉格納容器への注水量を代替パラメータにより推定する。また、推定するために必要な代替パラメータについては、複数のパラメータの中から不確かさを考慮し、第1.15.6表に優先順位を定める。</p> <p>これらのパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉容器内の温度及び水位であり、その他のパラメータは計測範囲を超えない。なお、原子炉容器内の温度については、重要代替計器又は常用代替計器の故障等により代替パラメータによる推定が困難になった場合は、主要パラメータを可搬型計測器により計測する。</p> <p>・原子炉容器内の温度 重大事故等時において原子炉の冷却機能が喪失した場合、原子炉容器内の温度を監視するパラメータである1次冷却材高温側温度（広域）及び1次冷却材低温側温度（広域）が計器の計測範囲（0～400℃）を超える場合がある。その場合、代替パラメータである多様性拡張設備の炉心出口温度による推定が可能であり、計測上限である650℃まで計測が可能である。</p> <p>1次冷却材高温側温度（広域）及び1次冷却材低温側温度（広域）が計測範囲を超えた場合で、かつ計器故障により、炉心出口温度の監視機能が喪失した場合は、可搬型計測器により1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>・原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の圧力を計測する計器の計測範囲は、0～11MPa[gage]である。原子炉圧力容器の最高使用圧力(8.62MPa[gage])の1.2倍(10.34 MPa[gage])を監視可能であり、重大事故等時において原子炉圧力容器内の圧力は、計器の計測範囲内で計測が可能である。</p> <p>・原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器内の水位を計測する計器の計測範囲は、ドライヤスカート底部付近を基準として、3,800mm～1,500mm及び有効燃料棒頂部付近を基準とした3,800mm～1,300mmであり、原子炉水位制御範囲(レベル3～レベル8)及び有効燃料棒底部まで計測できるため、重大事故等時において原子炉圧力容器内の水位は、計器の計測範囲内で計測が可能である。</p> <p>原子炉圧力容器内の水位のパラメータである、原子炉水位の計測範囲を超えた場合、高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量(残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量(残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量、代替循環冷却ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量のうち、機器動作状態にある流量計から崩壊熱除去に必要な水量の差を算出し、直前まで判明していた水</p>	<p>650℃であるが、可搬型計測器を使用することで検出器の温度素子の機能上限(約1,300℃)まで温度測定が可能である。</p> <p>b. 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータである1次冷却材圧力を計測する計器の計測範囲は、0～20.6MPa[gage]である。重大事故等時の判断基準は20.59MPa[gage](1次系最高使用圧力(17.16MPa[gage])の1.2倍)であり、重大事故等時において原子炉圧力容器内の圧力は、計器の計測範囲で計測可能である。</p> <p>c. 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器内の水位のパラメータである加圧器水位は、原子炉圧力容器より上に位置し、水位が低下し計測範囲以下となった場合は、原子炉水位で計測する。原子炉水位を計測する計器の計測範囲は、原子炉容器の底部から頂部までを0～100%としているため、重大事故等時において原子炉圧力容器内の水位を計器の計測範囲内で測定が可能である。</p>	<p>b. 原子炉容器内の圧力 原子炉容器内の圧力を監視するパラメータである1次冷却材圧力(広域)を計測する計器の計測範囲は、0～21.0MPa[gage]である。重大事故等時の判断基準は20.592MPa[gage](1次系最高使用圧力(17.16MPa[gage])の1.2倍)であり、重大事故等時において原子炉容器内の圧力は、計器の計測範囲で計測可能である。</p> <p>c. 原子炉容器内の水位 原子炉容器内の水位のパラメータである加圧器水位は、原子炉容器より上に位置し、水位が低下し計測範囲以下となった場合は、原子炉容器水位で計測する。原子炉容器水位を計測する計器の計測範囲は、原子炉容器の底部から頂部までを0～100%としているため、重大事故等時において原子炉容器内の水位を計器の計測範囲内で計測が可能である。</p>	<p>域)を計測する。可搬型計測器による計測では、1次冷却材高温側温度(広域)及び1次冷却材低温側温度(広域)の検出器の耐熱温度である500℃程度まで計測が可能である。なお、可搬型計測器による計測においては、1次冷却材低温側温度(広域)よりも炉心出口により近い値を示す1次冷却材高温側温度(広域)を優先する。</p> <p>さらに、1次冷却材高温側温度(広域)及び1次冷却材低温側温度(広域)が可搬型計測器による計測範囲を超えた場合に炉心出口温度が健全であれば、可搬型計測器により炉心出口温度を計測する。</p> <p>この場合、検出器の耐熱温度である1,300℃程度まで計測が可能である。</p> <p>・原子炉容器内の圧力 原子炉容器内の圧力を監視するパラメータである1次冷却材圧力を計測する計器の計測範囲は、0～21.0MPa[gage]である。重大事故等時の判断基準は20.59MPa[gage](1次系最高使用圧力(17.16MPa[gage])の1.2倍)であり、重大事故等時において原子炉容器内の圧力は、計器の計測範囲内で計測が可能である。</p> <p>・原子炉容器内の水位 原子炉容器内の水位を監視するパラメータである加圧器水位は、原子炉容器より上に位置し、水位が低下し計測範囲の下限以下となった場合は、原子炉容器水位を計測し、原子炉容器内の保有水量を推定する。原子炉容器水位を計測する計器の計測範囲は、原子炉容器の底部から頂部までを0～100%としているため、重大事故等時において原子炉容器内の水位を計器の計測範囲内で計測が可能である。</p>	<p>設備構成の相違</p> <p>設備構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>位に変換率を考慮することにより原子炉圧力容器内の水位を推定する。</p> <p>また、原子炉圧力容器内の満水確認は、原子炉圧力又は原子炉圧力（SA）と 圧力抑制室圧力の差圧により、原子炉圧力容器内の水位が有効燃料棒頂部以上 であることは原子炉圧力容器温度により監視可能である。</p> <p>・原子炉圧力容器への注水量 原子炉圧力容器への注水量を監視するパラメータは、高压代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン 洗浄流量）、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン 洗浄流量）、直流駆動低压注水系ポンプ出口流量、代替循環冷却ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高压炉心スプレイ系ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低压炉心スプレイ系ポンプ出口流量である。</p> <p>高压代替注水系ポンプ出口流量の計測範囲は、0～120m³/hとしており、計測対象である高压代替注水系ポンプの最大注水量は90.8m³/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量の計測範囲は、0～150m³/hとしており、計測対象である原子炉隔離時冷却系ポンプの最大注水量は90.8m³/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>高压炉心スプレイ系ポンプ出口流量の計測範囲は、0～1,500m³/hとしており、計測対象である高压炉心スプレイ系ポンプの最大注水量は1,050m³/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン 洗浄流量）の計測範囲は、0～220m³/hとしており、計測対象である復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ（タイプI）による原子炉注水時の最大注水量は199m³/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン 洗浄流量）の計測範囲は、0～220m³/hとしており、計測対象である復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ（タイプI）</p>	<p>d. 原子炉圧力容器への注水量 原子炉圧力容器への注水量を監視するパラメータは、高压注入流量、余熱除去流量及び恒設代替低压注水積算流量である。</p> <p>高压注入流量の計測範囲は、0～400m³/hとしており、計測対象である高压注入ポンプの最大流量は320m³/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。また、余熱除去流量の計測範囲は、0～1,300m³/hとしており、計測対象である余熱除去ポンプの最大流量は1,250m³/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。並びに恒設代替低压注水積算流量の計測範囲は、0～160m³/hとしており、計測対象である恒設代替低压注水ポンプの事故対処時における必要最大流量は130m³/hであるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p>	<p>d. 原子炉容器への注水量 原子炉容器への注水量を監視するパラメータは、高压注入流量、低压注入流量、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量及びB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）である。</p> <p>高压注入流量の計測範囲は、0～350m³/hとしており、計測対象である高压注入ポンプの最大流量は280m³/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。また、低压注入流量の計測範囲は、0～1,100m³/hとしており、計測対象である余熱除去ポンプの最大流量は1,090m³/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。並びに代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の計測範囲は、0～200m³/hとしており、計測対象である代替格納容器スプレイポンプの事故対処時における必要最大流量は140m³/hであるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の計測範囲は、0～1,300m³/hとしており、測定対象である格納容器スプレイポンプの最大流量は1,290m³/hであるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p>	<p>・原子炉容器への注水量 原子炉容器への注水量を監視するパラメータは、高压注入ライン流量、余熱除去ループ流量及び代替格納容器スプレイライン積算流量（AM）である。</p> <p>高压注入ライン流量の計測範囲は、0～350m³/hとしており、計測対象である高压注入ポンプの最大流量は280m³/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。また、余熱除去ループ流量の計測範囲は0～1,100m³/hとしており、計測対象である余熱除去ポンプの最大流量は1,090m³/hであるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。並びに代替格納容器スプレイライン積算流量（AM）の計測範囲は、0～200m³/hとしており、計測対象である代替格納容器スプレイポンプの重大事故等対処時における最大流量は140m³/hであるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p>	<p>設備構成の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <p>設備構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>若しくは代替循環冷却ポンプによる原子炉注水時の最大注水量は 199m³/h であるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量の計測範囲は、0~100m³/h としており、計測対象である直流駆動低圧注水系ポンプの原子炉注水時における最大注水量は 80m³/h であるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>代替循環冷却ポンプ出口流量の計測範囲は、0~200m³/h としており、計測対象である代替循環冷却ポンプの原子炉注水時における最大注水量は 150m³/h であるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>残留熱除去系ポンプ出口流量の計測範囲は、0~1,500m³/h としており、計測対象である残留熱除去系ポンプの最大注水量は 1,136m³/h であるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量の計測範囲は、0~1,500m³/h としており、計測対象である低圧炉心スプレイ系ポンプの最大注水量は 1,050m³/h であるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>・原子炉格納容器への注水量 原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータは、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量）、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）、原子炉格納容器代替スプレイ流量、代替循環冷却ポンプ出口流量及び原子炉格納容器下部注水流量である。</p> <p>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量）の計測範囲は、0~220m³/hとしており、計測対象である復水移送ポンプによる原子炉格納容器スプレイ時の最大注水量は 88m³/h であるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）の計測範囲は、0~220m³/h としており、計測対象である復水移送ポンプによる原子炉格納容器スプレイ</p>	<p>e. 原子炉格納容器への注水量 原子炉格納容器の注水量を監視するパラメータは、格納容器スプレイ積算流量、高圧注入流量、余熱除去流量、充てん水流量（多様性拡張設備）及び恒設代替低圧注水積算流量である。</p> <p>格納容器スプレイ積算流量の計測範囲は、0~1,700m³/hとしており、測定対象である格納容器スプレイポンプの最大流量は 1,640m³/h であるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。また、高圧注入流量、余熱除去流量、充てん水流量（多様性拡張設備）及び恒設代替低圧注水積算流量については原子炉圧力容器への注水量を監視するパラメータ同様に重大事故等時において、計測範囲内での流量測定が可能である。</p>	<p>e. 原子炉格納容器への注水量 原子炉格納容器の注水量を監視するパラメータは、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)、高圧注入流量、低圧注入流量及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量である。</p> <p>B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)、高圧注入流量、低圧注入流量及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量については原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータ同様に重大事故等時において、計測範囲内での流量測定が可能である。</p>	<p>・原子炉格納容器への注水量 原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータは、格納容器スプレイラインB積算流量、高圧注入ライン流量、余熱除去ループ流量及び代替格納容器スプレイライン積算流量（AM）である。</p> <p>格納容器スプレイラインB積算流量の計測範囲は、0~1,300m³/hとしており、測定対象である格納容器スプレイポンプの最大流量は1,290m³/hであるため、計器の計測範囲内での流量測定が可能である。また、高圧注入ライン流量、余熱除去ループ流量及び代替格納容器スプレイライン積算流量（AM）については原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータ同様に重大事故等時において、計測範囲内での流量測定が可能である。</p>	<p>設備構成の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <p>設備構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>時の最大注水量は 88m³/h であるため、重大事故等 時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>原子炉格納容器代替スプレイ流量の計測範囲は、0～100m³/h としており、計 測対象である大容量送水ポンプ（タイプI）による原子炉格納容器スプレイ時 の最大注水量は 88m³/h であるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>代替循環冷却ポンプ出口流量の計測範囲は、0～200m³/h としており、計測対 象である代替循環冷却ポンプの原子炉格納容器スプレイ時における最大注水量 は 150m³/h であるため、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定 が可能である。</p> <p>原子炉格納容器下部注水流量の計測範囲は、0～110m³/h としており、計測対 象である復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ（タイプI）若しくは代替循環 冷却ポンプの原子炉格納容器下部注水時における最大注水量は 80m³/h であるた め、重大事故等時において計器の計測範囲内での流量測定が可能である。</p> <p>a. 代替パラメータによる推定</p> <p>重大事故等時において、計器の計測範囲を超過した場合、代替パラメータによる推定を行う手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>重大事故等時に、原子炉压力容器内の水位を監視するパラメータが計器の計測範囲を超過し、指示値が確認できない場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>計器の計測範囲超過の判断及び対応手順は以下のとおり。</p>	<p>上記より、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは原子炉压力容器内の温度と水位であり、この場合の原子炉施設の状態を推定するため、手順を以下のとおり整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>i. 原子炉压力容器内の温度</p> <p>重大事故等時に1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）の値が、計器の計測範囲を超え確認できない場合。</p> <p>ii. 原子炉压力容器内の水位</p> <p>重大事故等時に加圧器水位が低下し、計器の計測範囲を外れ確認できない場合。</p> <p>(b) パラメータ監視の手順</p> <p>計器の計測範囲を超えたかどうかの判断及び対応手順は、以下のとおり。</p>	<p>上記より、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは原子炉容器内の温度と水位であり、この場合の原子炉施設の状態を推定するため、手順を以下のとおり整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>i. 原子炉容器内の温度</p> <p>重大事故等時に1次冷却材温度（広域－高温側）又は1次冷却材温度（広域－低温側）の値が、計器の計測範囲を超え確認できない場合。</p> <p>ii. 原子炉容器内の水位</p> <p>重大事故等時に加圧器水位が低下し、計器の計測範囲を外れ確認できない場合。</p> <p>(b) パラメータ監視の手順</p> <p>計器の計測範囲を超えたかどうかの判断及び対応手順は、以下のとおり。</p>	<p>a. 代替パラメータによる推定</p> <p>重大事故等時において、原子炉容器内の温度又は水位が計測範囲を超えた場合、重要代替計器又は常用代替計器を用いた代替パラメータによる推定を行う手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>重大事故等時に、原子炉容器内の温度又は水位が計測範囲を超えて、確認が困難となった場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>1.15.2.1(1) b. (a) ii 又は1.15.2.1(1) b. (b) ii と同様。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>①運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉施設の状態を把握するために必要な重要監視パラメータについて、他チャンネルの重要計器がある場合には、当該計器により当該パラメータを計測する。また、当該パラメータの常用計器が監視可能であれば確認に使用する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、読み取った指示値が正常であることを、計測範囲内にあること</p>	<p>i. 原子炉压力容器内の温度</p> <p>① 監視が必要な当該パラメータの指示値を読み取る。</p> <p>② 読み取った指示値が正常であるかどうかを、プラント状況等により推定される値との間に大きな差異がないか等により確認する。</p> <p>③ 1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）の他ループの指示値を確認し、他ループの指示値も同じ傾向か否かを確認する。</p> <p>④ 1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）について、他ループの指示値も同じ傾向で計測範囲を超えていると判断される場合は、炉心出口温度（多様性拡張設備）で計測する。炉心出口温度（多様性拡張設備）による計測ができない場合は、1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）の計器に可搬型計測器を接続し、検出器（内部温度素子）の耐熱温度である500℃程度までに相当する抵抗指示を直接読み取る。読み取った抵抗値を換算表等により換算し、パラメータを計測又は推定する。</p> <p>なお、可搬型計測器による測定においては、1次冷却材高温側温度（広域）を優先する。</p> <p>ii. 原子炉压力容器内の水位</p> <p>① 監視が必要な当該パラメータの指示値を読み取る。</p> <p>② 読み取った指示値が正常であるかどうかを、プラント状況等により推定される値との間に大きな差異がないか等により確認する。</p> <p>③ 加圧器水位の他チャンネル指示値を確認し、他チャンネルの指示値も同じ傾向か否かを確認する。</p> <p>④ 加圧器水位について、他チャンネルの指示値も同じ傾向で計測範囲以下にあると判断される場合は、原子炉水位で測定する。</p>	<p>i. 原子炉容器内の温度</p> <p>① 監視が必要な当該パラメータの指示値を読み取る。</p> <p>② 読み取った指示値が正常であるかどうかを、プラント状況等により推定される値との間に大きな差異がないか等により確認する。</p> <p>③ 1次冷却材温度（広域－高温側）又は1次冷却材温度（広域－低温側）の他ループの指示値を確認し、他ループの指示値も同じ傾向か否かを確認する。</p> <p>④ 1次冷却材温度（広域－高温側）又は1次冷却材温度（広域－低温側）について、他ループの指示値も同じ傾向で計測範囲を超えていると判断される場合は、炉心出口温度（多様性拡張設備）で計測する。炉心出口温度（多様性拡張設備）による計測ができない場合は、1次冷却材温度（広域－高温側）又は1次冷却材温度（広域－低温側）の計器に可搬型計測器を接続し、検出器（内部温度素子）の耐熱温度である500℃程度までに相当する抵抗指示を直接読み取る。読み取った抵抗値をあらかじめ用意した換算表等により換算し、パラメータを計測又は推定する。</p> <p>なお、可搬型計測器による測定においては、1次冷却材温度（広域－高温側）を優先する。</p> <p>ii. 原子炉容器内の水位</p> <p>① 監視が必要な当該パラメータの指示値を読み取る。</p> <p>② 読み取った指示値が正常であるかどうかを、プラント状況等により推定される値との間に大きな差異がないか等により確認する。</p> <p>③ 加圧器水位の他チャンネル指示値を確認し、他チャンネルの指示値も同じ傾向か否かを確認する。</p> <p>④ 加圧器水位について、他チャンネルの指示値も同じ傾向で計測範囲以下にあると判断される場合は、原子炉容器水位で測定する。</p>		<p>記載方針の相違</p> <p>・泊では、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは原子炉容器内の温度と水位であるため、これらパラメータを推定する手順を個別に記載している。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・泊では第1.15.6表にて代替パラメータによる主要パラメータの推定方法を整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>及びプラント状況によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がないことより確認する。</p> <p>③当該パラメータが計測範囲外にある場合には、発電課長は、あらかじめ選定した重要代替監視パラメータの計測を運転員（中央制御室）Aに指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、読み取った指示値を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、発電所対策本部へ重要代替監視パラメータの指示値から主要パラメータの推定を依頼する。</p> <p>⑥発電所対策本部は、重大事故等対策要員（運転員を除く。）に重要代替監視パラメータの値から主要パラメータの推定を指示する。</p> <p>⑦重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、主要パラメータの推定結果を発電所対策本部へ報告する。</p> <p>⑧発電所対策本部は、発電課長に主要パラメータの推定結果を報告する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の計測及び推定は、運転員（中央制御室）1名、重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名で対応が可能である。速やかに作業ができるように推定手順を整備する。</p> <p>b.可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視 重大事故等時において、主要パラメータが計器の計測範囲を超過した場合、可搬型計測器による計測を行う手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 重大事故等時に、主要パラメータが計器の計測範囲を超過し、指示値が確認できない場合。</p> <p>(b) 操作手順 可搬型計測器によるパラメータ計測の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15-5図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員（中央制御室）Aに可搬型計測器によるパラメータの計測を指示する。</p> <p>②発電課長は、発電所対策本部へ可搬型計測器</p>			<p>b. 可搬型計測器による計測 原子炉容器内の温度を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超過した場合で、重要代替計器又は常用代替計器の故障等により代替パラメータによる推定が困難となった場合に、主要パラメータの可搬型計測器による計測を行う手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 原子炉容器内の温度を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超過した場合に、代替パラメータによる推定が困難となった場合。</p> <p>(b) 操作手順 可搬型計測器によるパラメータ計測手順の概要は以下のとおり。タイムチャートを第1.15.5図に示す。</p> <p>① 当直長と発電所災害対策本部は連携を密にし、手順着手の判断基準に基づき、運転員及び発電所災害対策本部要員に可搬型計測器によるパラメータの計測開始を指示する。</p>	<p>記載方針の相違 ・泊では、添付資料1.15.5にて可搬型計測器によるパラメータの計測手順を記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>によるパラメータの計測を依頼する。</p> <p>③発電所対策本部は、重大事故等対策要員（運転員を除く。）に可搬型計測器による計測開始を指示する※5。</p> <p>※5 重大事故等対策要員（運転員を除く。）が中央制御室に到着するまでの間は、運転員（中央制御室）Aにて実施する。</p> <p>④重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、必要な資機材を携帯し、中央制御室まで移動する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）A及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、可搬型計測器を使用する前に電池容量を確認し、残量が少ない場合は予備乾電池と交換する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）A及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、中央制御室のあらかじめ定めた端子台にて、測定対象パラメータの信号出力端子と可搬型計測器を接続し、測定を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）A及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表により工学値に換算し、記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性</p> <p>上記の対応は1測定点当たり、運転員（中央制御室）1名及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名にて実施し、作業開始を判断してから所要時間は55分以内で可能である。2測定点以降は5分追加となる。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。また、作業環境（作業空間、温度等）に支障がないことを確認する。</p>			<p>② 発電所災害対策本部要員は、可搬型計測器を使用する前に電池容量を確認し、残量が少ない場合は予備乾電池と交換する。可搬型計測器を手順に定められた端子台に接続する。</p> <p>③ 運転員は、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表等を用いて工学値に換算し、換算結果を記録用紙に記録する。</p> <p>なお、使用中に乾電池の残量が少なくなった場合は、予備の乾電池と交換する。</p> <p>(c) 操作の成立性</p> <p>上記の中央制御室対応は運転員1名、現場対応は発電所災害対策本部要員3名により作業を実施する。可搬型計測器による計測までの所要時間は約1時間5分と想定する。円滑に作業できるように、アクセスルートを確保し、防護具、可搬型照明、通信設備を整備する。</p> <p>c. 優先順位</p> <p>原子炉容器内の温度及び水位が計測範囲を超えて、監視機能が喪失した場合の対応手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>原子炉容器内の温度を監視するパラメータである1次冷却材高温側温度（広域）及び1次冷却材低温側温度（広域）が計測範囲を超えた場合は多様性拡張設備である炉心出口温度により、原子炉容器内の温度を推定する。</p> <p>1次冷却材高温側温度（広域）及び1次冷却材低温側温度（広域）が計測範囲を超えた場合で、かつ計器故障により、炉心出口温度の監視機能が喪失した場合は、可搬型計測器により1次冷却材</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
			<p>高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）を計測する。なお、可搬型計測器による計測においては、炉心出口温度により近い値を示す1次冷却材高温側温度（広域）を優先する。</p> <p>また、1次冷却材高温側温度（広域）及び1次冷却材低温側温度（広域）が可搬型計測器による計測範囲を超えた場合に炉心出口温度が健全であれば、可搬型計測器により炉心出口温度を計測する。</p> <p>原子炉容器内の水位を監視するパラメータである加圧器水位が計測範囲の下限以下となった場合は、原子炉容器水位を計測し、原子炉容器内の保有水量を推定する。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失 (1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失 全交流動力電源喪失、直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合に、代替電源（交流、直流）から計器へ給電する手順及び可搬型計測器により、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p>	<p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失 (1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失</p> <p>重要な監視パラメータ計器のうち、交流電源から供給される計器については、非常用低圧母線と非常用直流母線に接続された計装用電源（無停電電源装置）より給電されており、いずれか一方の母線があれば計器へ電源を供給可能である。直流電源から供給される計器については、充電器と蓄電池（安全防護系用）より給電されており、いずれか一方があれば計器へ電源を供給可能である。全交流動力電源喪失により、計測に必要な計器電源が喪失した場合、空冷式非常用発電装置、蓄電池（安全防護系用）、電源車及び可搬式整流器等の運転により、計器へ給電する。また、計装用電源（無停電電源装置）が使えない場合においても、計装用電源（変圧器）を設けており、継続して電源を供給できる手段があり、信頼性も高く監視機能を失うことはない（第1.15.4図）。</p> <p>代替電源の供給ができない場合は、特に重要なパラメータとして、パラメータ選定した第1.15.2表に示す重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータを計測する計器の温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、可搬型計測器を接続し計測する。</p> <p>ただし、可搬型計測器を用いずに直接確認できるものは現場で確認する。また、可搬型計測器の計測値を工学値に換算する換算表を準備する。</p> <p>可搬型計測器による測定においては、測定対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し測定又は監視する。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し測定又は監視する。</p>	<p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失 (1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失</p> <p style="text-align: center;">＜内容比較のため再掲(7)＞</p> <p>重要な監視パラメータの計器のうち、交流電源から供給される計器については、非常用低圧母線と非常用直流母線に接続された無停電電源装置より給電されており、いずれか一方の母線があれば計器へ電源を供給可能である。直流電源から供給される計器については、充電器と蓄電池（非常用）より給電されており、いずれか一方があれば計器へ電源を供給可能である。全交流動力電源喪失等により、計測に必要な計器電源が喪失した場合、代替非常用発電機、後備蓄電池及び可搬型直流電源用発電機等の運転により、計器へ給電する。また、無停電電源装置が使えない場合においても、計装用後備変圧器を設けており、継続して電源を供給できる手段があり、信頼性も高く監視機能を失うことはない（第1.15.4図）。</p> <p>代替電源からの給電ができない場合は、特に重要なパラメータとして、パラメータ選定で選定した第1.15.2表に示す重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計器の温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、可搬型計測器を接続し計測する。</p> <p>ただし、可搬型計測器を用いずに直接確認できるものは現場で確認する。また、可搬型計測器の計測値を工学値に換算する換算表を準備する。</p> <p style="text-align: center;">＜内容比較のため再掲(8)＞</p> <p>可搬型計測器による計測においては、計測対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視する。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p> <p>なお、可搬型計測器により計測可能なパラメータについて第1.15.2表及び第1.15.7表に示す。</p>	<p>1.15.2.2 計器電源喪失時の手順等</p> <p>全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合に、代替電源（交流）、代替電源（直流）及び蓄電池から計器へ給電する手順及び可搬型計測器により重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する手順を整備する。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>記載方針の相違 ・女川では本項の後段に記載している。</p> <p>記載方針の相違 ・女川では本項の後段に記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備からの給電 全交流動力電源喪失が発生した場合に、所内常設蓄電式直流電源設備からの給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。なお、所内常設蓄電式直流電源設備からの給電により計測可能な計器について第 1.15-2 表に示す。</p> <p>b. 常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は号炉間電力融通設備からの給電 全交流動力電源喪失が発生した場合に、常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は号炉間電力融通設備からの給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>c. 代替所内電気設備による給電 非常用所内電気設備が機能喪失し、必要な設備へ給電できない場合に、代替所内電気設備による給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>d. 常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備又は125V 代替充電器用電源車接続設備からの給電 全交流動力電源が喪失し直流電源が枯渇するおそれがある場合に、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備又は125V 代替充電器用電源車接続設備からの給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>e. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視 代替電源（交流、直流）からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合に、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち、手順着手の判断基準及び操作に必要なパラメータを可搬型計測器で計測又は監視を行う手順を整備する。</p>	<p>a. 全交流動力電源喪失時の代替電源の供給 ディーゼル発電機の故障により非常用高圧母線への交流電源による給電ができない場合は、代替電源（交流）により非常用高圧母線へ給電する。</p> <p>b. 直流電源喪失時の代替電源の供給 ディーゼル発電機の故障により非常用直流母線への直流電源による給電ができない場合は、直流電源設備により非常用直流母線へ給電する。</p> <p>全交流動力電源及び直流電源喪失時の代替電源確保に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち「1.14.2.1 代表電源（交流）による給電手順等及び1.14.2.2 代替電源（直流）による給電手順等」にて整備する。</p> <p>c. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視 全交流動力電源喪失時等により直流電源が喪失した場合において、中央制御室での監視ができなくなった場合の手段として、第 1.15.2 表に示す特に重要なパラメータ及び第 1.15.5 表に示す有効な監視パラメータについて、可搬型計測器で測定可能なものを計測し監視する手順を整備する。</p>	<p>a. 全交流動力電源喪失時の代替電源の供給 ディーゼル発電機の故障により非常用高圧母線への交流電源による給電ができない場合は、代替電源（交流）により非常用高圧母線へ給電する。</p> <p>b. 直流電源喪失時の代替電源の供給 ディーゼル発電機の故障により非常用直流母線への直流電源による給電ができない場合は、直流電源設備により非常用直流母線へ給電する。</p> <p>全交流動力電源及び直流電源喪失時の代替電源確保に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1「代替電源（交流）による給電手順等」及び1.14.2.2「直流電源及び代替電源（直流）による給電手順等」にて整備する。また、代替非常用発電機への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「代替非常用発電機等への燃料補給の手順等」にて整備する。</p> <p>c. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視 全交流動力電源喪失等により直流電源が喪失した場合において、中央制御室での監視ができなくなった場合の手段として、第1.15.2表に示す特に重要なパラメータ及び第1.15.7表に示す有効な監視パラメータについて、可搬型計測器で測定可能なものを計測し監視する手順を整備する。（添付資料1.15.8）</p>	<p>(1) 代替電源（交流）からの給電 a. 空冷式非常用発電装置からの給電 全交流動力電源喪失が発生した場合に、空冷式非常用発電装置からの給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>(2) 代替電源（直流）からの給電 a. 蓄電池（重大事故等対処用）又は可搬型直流電源装置からの給電 全交流動力電源喪失が発生し直流電源が枯渇するおそれがある場合に、蓄電池（重大事故等対処用）又は可搬型直流電源装置からの給電に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違 ・泊の添付資料 1.15.8 は 女川の添付資料 1.15.5</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視する。同一の物理量について複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p> <p>なお、可搬型計測器により計測可能な計器について第1.15-2表に示す。 (添付資料 1.15.5)</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 計器電源が喪失し、中央制御室でパラメータの監視ができない場合。</p> <p>(b) 操作手順 可搬型計測器によるパラメータ計測の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15-5図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員（中央制御室）A に可搬型計測器によるパラメータの計測を指示する。</p> <p>②発電課長は、発電所対策本部へ可搬型計測器によるパラメータの計測を依頼する。</p> <p>③発電所対策本部は、重大事故等対策要員（運転員を除く。）に可搬型計測器による計測開始を指示する※6。 ※6 重大事故等対策要員（運転員を除く。）が中央制御室に到着するまでの間は、運転員（中央制御室）A にて実施する。</p> <p>④重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、必要な資機材を携帯し、中央制御室まで移動する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）A 及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、可搬型計測器を使用する前に電池容量を確認し、残量が少ない場合は予備乾電池と交換する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）A 及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、中央制御室のあらかじめ定めた端子台にて、測定対象パラメータの信号出力端子と可搬型計測器を接続し、測定を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）A 及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表により工学値に</p>	<p>(a) 手順着手の判断基準 直流電源が喪失した場合において、中央制御室でのパラメータが監視できない場合。</p> <p>(b) 操作手順 可搬型計測器によるパラメータ計測の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15.5図に示す。</p> <p>① 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき、緊急安全対策要員に原子炉施設の状態監視に必要なパラメータの計測開始を指示する。</p> <p>② 緊急安全対策要員は、可搬型計測器を使用する前に電池容量を確認し、残量が少ない場合は予備乾電池と交換する。可搬型計測器を手順に定められた端子台に接続する。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表を用いて工学値に換算し、運転員等は換算結果を記録用紙に記録</p>	<p style="text-align: center;"><内容比較のため再掲(8)></p> <p>可搬型計測器による計測においては、計測対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視する。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p> <p>なお、可搬型計測器により計測可能なパラメータについて第1.15.2表及び第1.15.7表に示す。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 直流電源が喪失した場合において、中央制御室でのパラメータ監視ができない場合。</p> <p>(b) 操作手順 可搬型計測器によるパラメータ計測の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15.5図に示す。</p> <p>① 発電課長(当直)は、手順着手の判断基準に基づき、災害対策要員に可搬型計測器によるパラメータの計測開始を指示する。</p> <p>② 災害対策要員は、可搬型計測器を使用する前に電池容量を確認し、残量が少ない場合は予備乾電池と交換する。可搬型計測器を手順に定められた端子台に接続する。</p> <p>③ 災害対策要員は、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表を用いて工学値に換算し、災害対策要員は換算結果を記録用紙に記録する。</p>	<p>伊方発電所3号炉</p>	<p>に相当。 記載箇所の相違 ・泊では本項の前段に記載している。 記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違 体制の相違 記載表現の相違</p> <p>体制の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>体制の相違</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>換算し、記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の対応は1測定点当たり、運転員（中央制御室）1名及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名にて実施し、作業開始を判断してから所要時間は55分以内で可能である。2測定点以降は5分追加となる。 円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。また、作業環境（作業空間、温度等）に支障がないことを確認する。 (添付資料 1.15.4)</p>	<p>する。 なお、使用中に乾電池の残量が少なくなった場合は、予備の乾電池と交換する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の現場対応は1ユニット当たり緊急安全対策要員2名にて実施し、所要時間は約35分を想定している。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、照明、通信設備等を整備する。</p> <p>d. 可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源の供給</p> <p>全交流動力電源喪失等により直流電源が喪失した場合において、中央制御室での監視ができない場合に、炉外核計装盤、放射線監視盤の可搬型バッテリーにより電源を供給する手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 直流電源喪失により、炉外核計装盤、放射線監視盤のパラメータが監視できない場合。</p> <p>(b) 操作手順 可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15.6図、第1.15.7図に示す。</p> <p>① 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき、緊急安全対策要員に可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給を指示する。</p> <p>② 緊急安全対策要員は、現場で炉外核計装盤又は放射線監視盤の電源を「切」とする。</p>	<p>なお、使用中に乾電池の残量が少なくなった場合は、予備の乾電池と交換する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の現場対応は災害対策要員1名にて実施し、所要時間は約25分を想定している。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。 (添付資料1.15.5)</p> <p>d. 可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）による電源の供給</p> <p>全交流動力電源喪失等により直流電源が喪失した場合において、中央制御室での監視ができない場合に、炉外核計装装置用及び放射線監視装置用の可搬型バッテリーにより電源を供給する手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 直流電源喪失により、炉外核計装装置及び放射線監視装置のパラメータが監視できない場合。</p> <p>(b) 操作手順 可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）による電源供給の概要は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.15.6図、第1.15.7図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、発電所対策本部長に可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）による電源供給を依頼する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、電気工作班員に可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）による電源供給を指示する。</p> <p>③ 電気工作班員は、現場で原子炉安全保護盤（炉</p>	<p>(3) 蓄電池からの給電 a. 計装設備専用蓄電池（炉外核計装設備用、放射線監視設備用）からの給電</p> <p>全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等により計器電源が喪失し、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合に、炉外核計装設備及び放射線監視設備へ計装設備専用蓄電池からの給電を行う手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 計器電源喪失により、炉外核計装設備及び放射線監視設備のパラメータ監視が困難となった場合。</p> <p>(b) 操作手順 計装設備専用蓄電池（炉外核計装設備用、放射線監視設備用）からの給電手順の概要は以下のとおり。タイムチャートを第1.15.6図、第1.15.7図に示す。</p> <p>① 当直長と発電所災害対策本部は連携を密にし、手順着手の判断基準に基づき、発電所災害対策本部要員に計装設備専用蓄電池（炉外核計装設備用、放射線監視設備用）からの給電を指示する。</p> <p>② 発電所災害対策本部要員は、現場で炉外核計装盤又は放射線監視盤の電源を「切」とする。</p>	<p>記載方針の相違 ・泊では、使用中の乾電池交換についても記載している。</p> <p>体制の相違 設備構成の相違による所要時間の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>資料番号の相違</p> <p>設備構成の相違 ・泊では、可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）（多様性拡張設備）による電源の供給手順を整備している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
	<p>③ 緊急安全対策要員は、現場でケーブルを布設し、可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）を炉外核計装盤又は放射線監視盤に接続する。</p> <p>④ 緊急安全対策要員は、可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給を開始し、運転員等は計測結果を記録用紙に記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の現場対応は1ユニット当たり緊急安全対策要員2名にて実施し、所要時間は、炉外核計装盤については、約70分、放射線監視盤については、約60分を想定している。 円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、照明等を整備する。</p>	<p>外核計装信号処理部)又は原子炉安全保護盤(放射線監視設備信号処理部)の電源を「切」とする。</p> <p>④ 電気工作班員は、現場でケーブルを敷設し、可搬型バッテリー(炉外核計装装置用、放射線監視装置用)を原子炉安全保護盤(炉外核計装信号処理部)又は原子炉安全保護盤(放射線監視設備信号処理部)に接続する。</p> <p>⑤ 電気工作班員は、可搬型バッテリー(炉外核計装装置用、放射線監視装置用)による電源供給を開始し、電気工作班員は計測結果を記録用紙に記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の現場対応は電気工作班員2名にて実施し、所要時間は、原子炉安全保護盤(炉外核計装信号処理部)については、約50分、原子炉安全保護盤(放射線監視設備信号処理部)については、約35分を想定している。 円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。 (添付資料1.15.6, 添付資料1.15.7)</p>	<p>③ 発電所災害対策本部要員は、現場でケーブルを敷設し、計装設備専用蓄電池（炉外核計装設備用、放射線監視設備用）を炉外核計装盤又は放射線監視盤に接続する。</p> <p>④ 発電所災害対策本部要員は、計装設備専用蓄電池（炉外核計装設備用、放射線監視設備用）からの給電を開始し、運転員は計測結果を記録用紙に記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の中央制御室対応は運転員1名、現場対応は発電所災害対策本部要員2名により作業を実施する。計測までの所要時間は、炉外核計装設備については約1時間40分、放射線監視設備については約1時間40分と想定する。 円滑に作業できるように、アクセスルートを確保し、防護具、可搬型照明、通信設備を整備する。</p> <p>b. 炉内温度計測装置用可搬型蓄電池からの給電 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等により計器電源が喪失し、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合に、炉内計装設備へ炉内温度計測装置用可搬型蓄電池からの給電を行う手順を整備する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 計器電源喪失により、炉内計装設備のパラメータ監視が困難となった場合。</p> <p>(b) 操作手順 炉内温度計測装置用可搬型蓄電池からの給電手順の概要は以下のとおり。 ① 当直長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に炉内温度計測装置用可搬型蓄電池からの給電を指示する。 ② 運転員は、中央制御室設置の炉内温度計測装置用電源切替盤にて炉内計装盤への給電を炉内温度計測装置用可搬型蓄電池側に切替える。 ③ 運転員は、炉内計装盤の記録計及び操作表示</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
			<p>パネルにて炉心出口温度の最大、最小及び平均温度を確認し、記録用紙に記録する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の中央制御室対応は、運転員1名により操作を実施する。炉内温度計測装置用可搬型蓄電池への切替操作は、操作スイッチによる操作及び確認であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(4) 可搬型計測器による計測又は監視 代替電源（交流及び直流）及び蓄電池からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合に、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち可搬型計測器で計測が必要なものを計測又は監視を行う手順を整備する。 可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視する。同一の物理量について複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。 なお、可搬型計測器により計測可能な計器について第1.15.7表に示す。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 計器電源が喪失し、中央制御室でのパラメータ監視が困難となった場合。</p> <p>b. 操作手順 1.15.2.1(2) b. (b)と同様。</p> <p>(5) 優先順位 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合に、計器に給電する対応手段の優先順位を以下に示す。 全交流動力電源喪失が発生した場合には、代替電源（交流）の空冷式非常用発電装置から計器に給電する。 代替電源（交流）からの給電が困難となった場合で直流電源が枯渇するおそれがある場合は、代替電源（直流）から計器に給電する。 代替電源（交流及び直流）からの給電が困難となった場合は、計装設備専用蓄電池（炉外核計装</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>f. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>全交流動力電源喪失、直流電源喪失等により、計器電源が喪失した場合に、計器に給電する対応手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合には、所内常設蓄電式直流電源設備から計測可能な計器に給電される。</p> <p>所内常設蓄電式直流電源設備から給電されている間に常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は号炉間電力融通設備から計器に給電する。</p> <p>なお、非常用所内電気設備が機能喪失した場合には、代替所内電気設備から計器に給電する。</p> <p>常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は号炉間電力融通設備からの給電が困難となった場合で直流電源が枯渇するおそれがある場合は、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備又は125V代替充電器用電源車接続設備から計器に給電する。</p> <p>代替電源（交流、直流）からの給電が困難となった場合は、可搬型計測器により重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p>		<p style="text-align: center;"><内容比較のため再掲(7)></p> <p>重要な監視パラメータの計器のうち、交流電源から供給される計器については、非常用低圧母線と非常用直流母線に接続された無停電電源装置より給電されており、いずれか一方の母線があれば計器へ電源を供給可能である。直流電源から供給される計器については、充電器と蓄電池(非常用)より給電されており、いずれか一方があれば計器へ電源を供給可能である。全交流動力電源喪失等により、計測に必要な計器電源が喪失した場合、代替非常用発電機、後備蓄電池及び可搬型直流電源用発電機等の運転により、計器へ給電する。また、無停電電源装置が使えない場合においても、計装用後備変圧器を設けており、継続して電源を供給できる手段があり、信頼性も高く監視機能を失うことはない(第1.15.4図)。</p> <p>代替電源からの給電ができない場合は、特に重要なパラメータとして、パラメータ選定で選定した第1.15.2表に示す重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計器の温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、可搬型計測器を接続し計測する。</p> <p>ただし、可搬型計測器を用いずに直接確認できるものは現場で確認する。また、可搬型計測器の計測値を工学値に換算する換算表を準備する。</p>	<p>設備用、放射線監視設備用)及び炉内温度計測装置用可搬型蓄電池から計器に給電する。また、可搬型計測器により重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p>	<p>記載箇所の相違 ・泊では、本項の前段に記載している。 記載表現の相違</p> <p>代替電源設備構成の相違 記載表現の相違</p> <p>代替電源設備構成の相違 記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>1.15.2.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、安全パラメータ表示システム（SPDS）により、計測結果を記録する。ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む。）の値及び可搬型計測器で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p> <p>主要パラメータのうち記録可能なものについて、自主対策設備であるプロセス計算機及び中央制御室記録計により計測結果、警報等を記録する。</p> <p>有効監視パラメータの計測結果の記録について整理し、第1.15-5表に示す。</p> <p>(1) 手順着手の判断基準 重大事故等が発生した場合。</p> <p>(2) 操作手順 重大事故等が発生し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果を記録する手順の概要は以下のとおり。</p> <p>a. 安全パラメータ表示システム（SPDS）による記録 安全パラメータ表示システム（SPDS）は、常時記録であり、非常用電源又は代替電源から給電可能で、14日間の記録容量を持っている。重大事故等時のパラメータの値を継続して確認できるよう、記録された計測結果が記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p>	<p>1.15.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順</p> <p>パラメータ選定で選定した重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータ（原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率等）は、SPDS、SPDS表示装置及び可搬型温度計測装置により計測結果を記録する。ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する監視パラメータ（計測結果を含む。）の値や現場操作時のみ監視する現場の指示値は記録用紙に記録する。</p> <p>SPDS、SPDS表示装置及び可搬型温度計測装置に記録された監視パラメータの計測結果は、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>有効な監視パラメータのうち記録可能なものについては、SPDS、プラント計算機等により計測結果及び警報等を記録する手順を整備する（第1.15.5表）。</p> <p>(1) 手順着手の判断基準 重大事故等が発生したとき。</p> <p>(2) 操作手順 重大事故等が発生し、重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ（重大事故等対処設備）の記録の概要は以下のとおり。</p> <p>a. SPDSによる記録 SPDSは、非常用電源又は代替電源から給電可能で、7日間以上の記録容量を持っている。重大事故等時のパラメータの値を継続して確認できるよう、記録された計測結果を定期的に取り出し保存する手順は以下のとおり。</p>	<p>1.15.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順</p> <p>パラメータ選定で選定した重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率等）は、データ収集計算機、データ表示端末又は可搬型温度計測装置により計測結果を記録する。ただし、可搬型計測器及び現場操作時のみ監視する現場の指示値で計測されるパラメータの値は記録用紙に記録する。</p> <p>データ収集計算機、データ表示端末及び可搬型温度計測装置に記録された監視パラメータの計測結果は、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>有効な監視パラメータのうち記録可能なものについては、データ収集計算機又は多様性拡張設備であるプラント計算機により計測結果及び警報等を記録する手順を整備する（第1.15.7表）。</p> <p>(1) 手順着手の判断基準 重大事故等が発生したとき。</p> <p>(2) 操作手順 重大事故等が発生し、重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ（重大事故等対処設備）の記録の概要は以下のとおり。</p> <p>a. データ収集計算機による記録 データ収集計算機は、非常用電源又は代替電源から給電可能で、7日間以上の記録容量を持っている。重大事故等時のパラメータの値を継続して確認できるよう、記録された計測結果を定期的に取り出し保存する手順は以下のとおり。</p>	<p>1.15.2.3 パラメータ記録の手順等</p> <p>原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果について、安全パラメータ表示システムによる計測結果を記録する手順及び可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口/出口用）による計測結果を記録する手順を整備する。</p> <p>また、可搬型計測器及び現場操作時のみ監視する現場計器の指示値で計測されるパラメータの値及び計装設備専用蓄電池（炉外核計装設備用、放射線監視設備用）並びに炉内温度計測装置用可搬型蓄電池からの給電で計測されるパラメータの指示値を記録用紙に記録する手順を整備する。</p> <p>安全パラメータ表示システム及び可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口/出口用）に記録された監視パラメータの計測結果を、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する手順を整備する。</p> <p>主要パラメータのうち記録可能なものについて、多様性拡張設備であるプラント計算機により計測結果及び警報等を記録する手順を整備する。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果の記録について整理し、第1.15.7表に示す。</p> <p>(1) 手順着手の判断基準 重大事故等が発生した場合。</p> <p>(2) 操作手順 重大事故等が発生し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果の記録を行う手順の概要は以下のとおり。</p> <p>a. 安全パラメータ表示システムによる記録 安全パラメータ表示システムは、非常用電源又は代替電源から給電可能で、1ヵ月間の記録容量を持っている。重大事故等時のパラメータの値を継続して確認できるよう、記録された計測結果を定期的に取り出し、メディア（記録媒体）に保存する手順の概要は以下のとおり。概略系統図を第</p>	<p>記載表現の相違 パラメータ名称の相違 記載表現の相違 記載方針の相違 (2) 設備構成の相違 (1) 記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違 ・泊ではデータ収集計算機に記録された計測結果を定期的に取り出し保存する手順を記載している。 記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違 (2) 記録容量の表現の相違 記載方針の相違 ・泊ではデータ収集計算</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>b. 可搬型計測器の記録</p> <p>運転員（中央制御室）及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、「1.15.2.1(2) b. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視」又は「1.15.2.2(1) e. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視」で得られた可搬型計測器で計測されたパラメータの値を記録用紙に記録する。</p>	<p>① 緊急安全対策要員は、SPDS表示装置にてSPDS及びSPDS表示装置に記録された重要な監視パラメータの計測結果を、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>② 緊急安全対策要員は、メディアに保存された重要な監視パラメータの計測結果を印刷し、記録を保存する。</p> <p>b. 可搬型温度計測装置による記録</p> <p>① 緊急安全対策要員は、可搬型温度計測装置に記録された、格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA）の計測結果について、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>② 緊急安全対策要員は、メディアに保存された重要な監視パラメータの計測結果を印刷し、記録を保存する。</p> <p>c. 現場指示計の記録</p> <p>運転員等は、原子炉補機冷却水サージタンクの加圧操作時に、現場指示計の原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の値を記録用紙へ記録する。</p> <p>d. 可搬型計測器及び可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給時の記録</p> <p>緊急安全対策要員は、1.15.2.2(1)c.及びd.で得られた重要な監視パラメータのデータを記録用紙に記録する。</p>	<p>① 事務局員は、データ表示端末にてデータ収集計算機及びデータ表示端末に記録された重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果を、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>② 事務局員は、メディア（記録媒体）に保存された重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果を印刷し、記録を保存する。</p> <p>b. 可搬型温度計測装置による記録</p> <p>① 運転員は、可搬型温度計測装置に記録された、格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度の計測結果について、記録容量（7日間以上）を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>② 電気工作班員は、メディアに保存された重要な監視パラメータの計測結果を印刷し、記録を保存する。</p> <p>c. 現場指示計の記録</p> <p>運転員は、原子炉補機冷却水サージタンクの加圧操作時に、現場指示計の原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）の値を記録用紙へ記録する。</p> <p>d. 可搬型計測器及び可搬型バッテリーによる電源供給時の記録</p> <p>災害対策要員は1.15.2.2(1)c.で、電気工作班員は1.15.2.2(1)d.で得られた重要な監視パラメータのデータを記録用紙に記録する。</p>	<p>1.15.8図に示す。</p> <p>① 発電所災害対策本部要員は、安全パラメータ表示システムに記録された重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果を、記録容量を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>② 発電所災害対策本部要員は、メディア（記録媒体）に保存された重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果を印刷し、記録を保存する。</p> <p>b. 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口/出口用）による記録</p> <p>① 運転員又は発電所災害対策本部要員は、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口/出口用）に記録された、格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度の計測結果について、記録容量（10日間）を超える前に定期的にメディア（記録媒体）に保存する。</p> <p>② 運転員又は発電所災害対策本部要員は、メディア（記録媒体）に保存された重要監視パラメータの計測結果を印刷し、記録を保存する。</p> <p>c. 現場指示計の記録</p> <p>運転員又は発電所災害対策本部要員は、原子炉補機冷却水サージタンクの加圧操作時に、現場指示計の原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の指示値を記録用紙へ記録する。</p> <p>d. 可搬型計測器の記録</p> <p>運転員は、1.15.2.1(2) b. (b)及び1.15.2.2(4) b. で得られた可搬型計測器で計測されたパラメータの値を記録用紙に記録する。</p> <p>e. 計装設備専用蓄電池（炉外核計装設備用、放射線監視設備用）からの給電時の記録</p> <p>運転員は、1.15.2.2(3) a. (b)で得られた計装設備専用蓄電池（炉外核計装設備用、放射線監視設備用）からの給電で計測されたパラメータの指示値を記録用紙に記録する。</p> <p>f. 炉内温度計測装置用可搬型蓄電池からの給電</p>	<p>機に記録された計測結果を定期的に取り出し保存する手順を記載している。</p> <p>設備構成の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <p>体制の相違 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>c. プロセス計算機の記録</p> <p>(a) 運転日誌 プロセス計算機が稼働状態にあれば、定められたプロセスの計測結果を定時ごとに自動で記録し、中央制御室にて日ごとに自動で帳票印刷する。</p> <p>(b) 警報記録 プロセス計算機が稼働状態にあれば、プロセス値の異常な状態による中央制御室制御盤の警報発生時、警報の状態を記録し、中央制御室にて日ごとに自動で帳票印刷する。</p> <p>プラントの過渡変化による重要警報のファーストヒット警報発生時、その発生順序（シーケンス）、トリップ状態、工学的安全施設作動信号及び工学的安全施設の作動状況を記録し、中央制御室にて日ごとに自動で帳票印刷する。</p> <p>(c) プラント診断支援機能 プロセス計算機が稼働状態にあれば、事象発生前後のプラント状態の推移を把握するため、定められたプロセス値のデータを自動で収集、記録し、運転員（中央制御室）等は、中央制御室にて事象発生後に手動で帳票印刷する。</p> <p>d. 中央制御室記録計による記録 記録計が稼働状態であれば、定められたプロセスの計測結果を、中央制御室にてチャート用紙に自動で記録する。</p> <p>(3) 操作の成立性 安全パラメータ表示システム（SPDS）による記録は、安全パラメータ表示システム（SPDS）の記録容量（14日間）を超える前に、緊急時対策建屋内にて重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名で行う。室内での端末操作であるため、対応が可能である。</p>	<p>e. プラント計算機の記録</p> <p>(a) 計算機運転日誌 定められたプロセスの計測結果を定時毎に記録し、日毎に帳票印刷する。</p> <p>(b) 警報記録 プロセス値の異常な状態による中央制御盤の警報発生時、警報の状態を記録し、日毎に帳票印刷する。</p> <p>また、プラントの過渡変化による重要警報のファーストアウト警報発生時、その発生順序（シーケンス）、トリップ状態、工学的安全施設作動信号及び工学的安全施設動作状況を記録し、事象発生時に帳票印刷する。</p> <p>(c) 事故時データ収集記録 事象発生前後のプラント状態の推移を把握するため、定められたプロセス値のデータを収集、記録し、事象発生時に自動帳票印刷及び手動にて印刷する。</p> <p>(3) 操作の成立性 SPDSによる記録は、SPDS及びSPDS表示装置の記録容量（7日以上）を超える前に、緊急時対策所内にて緊急安全対策要員1名で行う。室内での端末操作であるため、対応が可能である。</p> <p>可搬型温度計測装置による記録は、記録容量を超える前に、現場でのデータ採取を緊急安全対策要員1名で行う。記録の作成は、室内での端末操作であるため、対応が可能である。</p>	<p>e. プラント計算機の記録</p> <p>(a) 運転記録 定められたプロセスの計測結果を定時毎に記録し、日毎に帳票印刷する。</p> <p>(b) 警報記録 プロセス値の異常な状態による中央制御盤の警報発生時、警報の状態を記録し、日毎に帳票印刷する。</p> <p>また、プラントの過渡変化による重要警報のファーストアウト警報発生時、その発生順序（シーケンス）、トリップ状態、工学的安全施設作動信号及び工学的安全施設動作状況を記録し、事象発生時に帳票印刷する。</p> <p>(c) 事故時データ収集記録 事象発生前後のプラント状態の推移を把握するため、定められたプロセス値のデータを収集、記録し、事象発生時に手動にて印刷する。</p> <p>(3) 操作の成立性 データ収集計算機による記録は、データ収集計算機及びデータ表示端末の記録容量（7日以上）を超える前に、緊急時対策所内にて事務局員1名で行う。室内での端末操作であるため、対応が可能である。</p> <p>可搬型温度計測装置による記録は、記録容量（7日間以上）を超える前に、現場でのデータ採取を運転員1名で行い、記録の作成を電気工作班員1名で行う。記録の作成は、室内での端末操作であるため、対応が可能である。</p>	<p>時の記録 運転員は、1.15.2.2(3)b. で得られた炉内温度計装用蓄電池からの給電で計測されたパラメータの指示値を記録用紙に記録する。</p> <p>g. プラント計算機の記録</p> <p>(a) 発電日誌 プラント計算機が稼働状態にあれば、定められたプロセスの計測結果を定時毎に自動で記録し、日毎に自動で帳票印刷する。</p> <p>(b) 警報出力 プラント計算機が稼働状態にあれば、プロセス値の異常な状態による中央制御盤の警報発生時、警報の状態を記録し、日毎に帳票印刷する。</p> <p>また、プラントの過渡変化による重要警報のファーストアウト警報発生時、その発生順序（シーケンス）、トリップ状態、工学的安全施設作動信号及び工学的安全施設の作動状況を記録し、事象発生時に帳票印刷する。</p> <p>(c) 事故時データ収集 プラント計算機が稼働状態にあれば、事象発生前後のプラント状態の推移を把握するため、定められたプロセス値のデータを自動で収集、記録し、運転員は、事象発生後に手動で帳票印刷する。</p> <p>(3) 操作の成立性 安全パラメータ表示システムによる記録は、安全パラメータ表示システムの記録容量（1ヵ月間）を超える前に、緊急時対策所内にて発電所災害対策本部要員1名で行う。室内での端末操作であるため、対応が可能である。</p> <p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口/出口用）による記録は、記録容量（10日間）を超える前に、現場でのデータ採取を運転員又は発電所災害対策本部要員1名で行う。記録の作成は、室内での端末操作であるため、対応が可能で</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違 ・泊では、プラント計算機により定められたプロセスの計測結果を記録している。</p> <p>設備名称の相違 記載表現の相違 建屋名称の相違 体制の相違 ・操作を行う要員の相違</p> <p>設備構成、運用の相違 ・泊では、一部パラメータについて現場にて可搬型温度計測装置により記録を行う。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>可搬型計測器の記録は記録用紙への記録であり、運転員（中央制御室）1名及び重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名にて対応が可能である。</p> <p>プロセス計算機による記録のうち、事故時データ収集記録の帳票印刷は、中央制御室内での端末操作であるため、運転員（中央制御室）1名で対応が可能である。</p> <p>また、記録計に記録されたチャート紙の交換は、中央制御室にて運転員（中央制御室）1名で対応が可能である。</p>	<p>現場指示計の記録は、運転員等による記録用紙への記録であり、対応が可能である。</p> <p>可搬型計測器及び可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源供給時の記録は緊急安全対策要員による記録用紙への記録であり、対応が可能である。</p>	<p>現場指示計の記録は、記録用紙への記録であり、運転員1名にて対応が可能である。</p> <p>可搬型計測器の記録は記録用紙への記録であり、災害対策要員1名にて対応が可能である。</p> <p>可搬型バッテリーによる電源供給時の記録は記録用紙への記録であり、電気工作班員1名にて対応が可能である。</p> <p>プラント計算機による記録は、中央制御室内での帳票印刷であり、運転班員1名で対応が可能である。</p>	<p>ある。</p> <p>現場指示計の記録は記録用紙への記録であり、運転員又は発電所災害対策本部要員1名にて対応が可能である。</p> <p>可搬型計測器の記録は記録用紙への記録であり、運転員1名にて対応が可能である。</p> <p>計装設備専用蓄電池（炉外核計装設備用、放射線監視設備用）からの給電時の記録は記録用紙への記録であり、運転員1名にて対応が可能である。</p> <p>炉内温度計測装置用可搬型蓄電池からの給電時の記録は記録用紙への記録であり、運転員1名にて対応が可能である。</p> <p>プラント計算機による記録のうち、事故時データ収集記録の帳票印刷は、中央制御室内にて、運転員1名で対応が可能である。</p>	<p>設備構成、運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、現場指示計の記録を記録用紙にて行う。 <p>体制の相違</p> <p>設備構成、運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、炉外核計装設備用、放射線監視設備用の可搬型バッテリーを接続し、可搬型計測器にて計測、記録用紙に記録する。 <p>記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、プラント計算機により定められたプロセスの計測結果を記録している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>1.15.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順 「審査基準」1.9、1.10及び1.14については、各審査基準において要求事項があるため、以下のとおり各々の手順において整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度監視に関する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」にて整備する。</p> <p>原子炉建屋内の水素濃度監視に関する手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</p> <p>全交流動力電源喪失時の代替電源確保に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>1.15.4 その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度監視の手順については、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち「1.9.2.1(2)水素濃度監視」にて整備する。</p> <p>アニュラス内の水素濃度監視の手順については、「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」のうち「1.10.2.1(2)水素濃度監視」にて整備する。</p> <p>全交流動力電源及び直流電源喪失時の代替電源確保に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち「1.14.2.1代替電源（交流）による給電手順等及び1.14.2.2代替電源（直流）による給電手順等」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の放射線量率における代替パラメータとして有効なモニタリングステーション及びモニタリングポストなどによる空間線量率測定については、「1.17 監視測定等に関する手順等」のうち「1.17.2.1(1)モニタリングステーション及びモニタリングポストによる放射線量の測定」にて整備する。</p>	<p>1.15.4 その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度監視の手順については、「1.9水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット」及び1.9.2.1(2)b.「ガス分析計」にて整備する。</p> <p>アニュラス内の水素濃度監視の手順については、「1.10水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」のうち、1.10.2.1(2)a.「可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットによる水素濃度測定」及び1.10.2.1(2)b.「アニュラス水素濃度検出器による水素濃度測定」にて整備する。</p> <p>全交流動力電源及び直流電源喪失時の代替電源確保に関する手順については、「1.14電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1「代替電源（交流）による給電手順等」及び1.14.2.2「直流電源及び代替電源（直流）による給電手順等」にて整備する。また、代替非常用発電機への燃料補給の手順は「1.14電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「代替非常用発電機等への燃料補給の手順等」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の放射線量率における代替パラメータとして有効なモニタリングステーション及びモニタリングポストなどによる空間線量率測定については、「1.17 監視測定等に関する手順等」のうち、1.17.2.1(1)「モニタリングポスト及びモニタリングステーションによる放射線量の測定」にて整備する。</p>	<p>1.15.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度監視に関する手順は「1.9水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」にて整備する。</p> <p>アニュラス内の水素濃度監視に関する手順は「1.10水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</p> <p>全交流動力電源喪失時の代替電源確保に関する手順は「1.14電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の放射線量率における代替パラメータとして有効なモニタリングステーション及びモニタリングポストなどによる空間線量率測定に関する手順は「1.17 監視測定等に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備構成の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																						
<p>第1.15-1表 事故時に必要な計装に関する手順 対応手段、対処設備、手順書一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>種別</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">基本事故時対応</td> <td rowspan="6">計装の故障</td> <td rowspan="2">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能の故障</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能の故障</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">計装の故障（監視・警報機能）</td> <td rowspan="2">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">基本事故時対応</td> <td rowspan="6">計装の故障</td> <td rowspan="2">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">計装の故障（監視・警報機能）</td> <td rowspan="2">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> </tbody> </table>	分類	種別	対応手段	対処設備	手順書	基本事故時対応	計装の故障	監視・警報機能	監視・警報機能の故障	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能の故障	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	計装の故障（監視・警報機能）	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	基本事故時対応	計装の故障	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	計装の故障（監視・警報機能）	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」		<p>第1.15.5表 重大事故等における対応手段と整備する手順</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>種別</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">基本事故時対応</td> <td rowspan="6">計装の故障</td> <td rowspan="2">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">計装の故障（監視・警報機能）</td> <td rowspan="2">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">基本事故時対応</td> <td rowspan="6">計装の故障</td> <td rowspan="2">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">計装の故障（監視・警報機能）</td> <td rowspan="2">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">監視・警報機能</td> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> <tr> <td>監視・警報機能</td> <td>高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」</td> </tr> </tbody> </table>	分類	種別	対応手段	対処設備	手順書	基本事故時対応	計装の故障	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	計装の故障（監視・警報機能）	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	基本事故時対応	計装の故障	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	計装の故障（監視・警報機能）	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」		<p>記載箇所の相違 ・泊では第1.15.5表として、本項の後段に記載している。</p>
分類	種別	対応手段	対処設備	手順書																																																																																																																																						
基本事故時対応	計装の故障	監視・警報機能	監視・警報機能の故障	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能の故障	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
		監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
	計装の故障（監視・警報機能）	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
		監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
基本事故時対応	計装の故障	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
		監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
	計装の故障（監視・警報機能）	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
		監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
分類	種別	対応手段	対処設備	手順書																																																																																																																																						
基本事故時対応	計装の故障	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
		監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
	計装の故障（監視・警報機能）	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
		監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
基本事故時対応	計装の故障	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
		監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
	計装の故障（監視・警報機能）	監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
		監視・警報機能	監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						
			監視・警報機能	高水準警報対応手順書 「監視・警報機能の故障」																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																												
	<p>第1.15.4表 補助的な監視パラメータ（多様性拡張設備）（2/3）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>パラメータ</th> <th>主要パラメータの代替監視可能理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">大 概</td> <td>1次冷却水タンク水位</td> <td>現地に水位を監視可能</td> </tr> <tr> <td>A、B 2次冷却水タンク水位</td> <td>現地に水位を監視可能</td> </tr> <tr> <td>N0、2次冷却水タンク水位</td> <td>現地に水位を監視可能</td> </tr> <tr> <td>N0、3次冷却水タンク水位</td> <td>現地に水位を監視可能</td> </tr> <tr> <td>脱気器タンク水位</td> <td>現地に水位を監視可能</td> </tr> <tr> <td>圧縮機タンク水位</td> <td>充てんポンプの運転状態により監視可能</td> </tr> <tr> <td rowspan="24">その 他</td> <td>海水供給母管圧力</td> <td>海水ポンプの運転状態により監視可能</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水冷却器出口温度</td> <td>海水ポンプの運転状態により監視可能</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水冷却器排水流量</td> <td>海水ポンプの運転状態及び海水供給母管圧力により監視可能</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水供給母管流量</td> <td>原子炉補給冷却水ポンプの運転状態及び原子炉補給冷却水供給母管圧力により監視可能</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水冷却器出口温度</td> <td>原子炉補給冷却水戻り母管温度により監視可能</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水戻り母管温度</td> <td>原子炉補給冷却水冷却器出口温度により監視可能</td> </tr> <tr> <td>制御用空気圧縮機・中間冷却器冷却水流量</td> <td>制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能</td> </tr> <tr> <td>制御用空気冷却器・乾燥器冷却水流量</td> <td>制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能</td> </tr> <tr> <td>静的熱媒式水素再結合装置温度</td> <td>静的熱媒式水素再結合装置温度の検出器又は原子炉格納容器水素再結合装置の動作状況により監視可能</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器水素再結合装置温度</td> <td>原子炉格納容器水素再結合装置温度の検出器又は静的熱媒式水素再結合装置の動作状況により監視可能</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水補給流量制御器</td> <td>原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水補給流量検算制御器積算カウンタ</td> <td>原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能</td> </tr> <tr> <td>ほう動水補給流量制御器</td> <td>原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能</td> </tr> <tr> <td>ほう動水補給流量検算制御器積算カウンタ</td> <td>原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能</td> </tr> <tr> <td>可溶性酸素(可能値)</td> <td>中性子線領域中性子束により監視可能</td> </tr> <tr> <td>格納容器シンプ水位</td> <td>原子炉格納容器内の露えい状態を格納容器圧力、格納容器内温度及び格納容器内液面シンプ水位(圧縮)により監視可能</td> </tr> <tr> <td>格納容器測定装置水位</td> <td>原子炉格納容器内の露えい状態を格納容器圧力、格納容器内温度及び格納容器内液面シンプ水位(圧縮)により監視可能</td> </tr> <tr> <td>制御用空気供給母管圧力</td> <td>制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能</td> </tr> <tr> <td>緊急ほう動水補給流量</td> <td>ほう動ポンプの運転状態を確認することにより監視可能</td> </tr> <tr> <td>アンモニア圧力</td> <td>各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器冷却水流量</td> <td>蒸気発生器水位(検出)により監視可能</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器冷却水流量</td> <td>蒸気発生器水位(検出)により監視可能</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">その 他</td> <td>安全保護アログ動作監視</td> <td>作動した種類の運転状態確認により監視可能</td> </tr> <tr> <td>安全注入動作監視</td> <td>関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能</td> </tr> <tr> <td>停止時(注)中性子束高速増殖動作監視</td> <td>中性子線領域中性子束により監視可能</td> </tr> <tr> <td>サブクール度</td> <td>1次冷却器温度、1次冷却器圧力により監視可能</td> </tr> <tr> <td>非常運転油圧</td> <td>タービン主油弁の動作状態により監視可能</td> </tr> <tr> <td>非常中圧(注)</td> <td>タービン主油弁の動作状態により監視可能</td> </tr> </tbody> </table>	区分	パラメータ	主要パラメータの代替監視可能理由	大 概	1次冷却水タンク水位	現地に水位を監視可能	A、B 2次冷却水タンク水位	現地に水位を監視可能	N0、2次冷却水タンク水位	現地に水位を監視可能	N0、3次冷却水タンク水位	現地に水位を監視可能	脱気器タンク水位	現地に水位を監視可能	圧縮機タンク水位	充てんポンプの運転状態により監視可能	その 他	海水供給母管圧力	海水ポンプの運転状態により監視可能	原子炉補給冷却水冷却器出口温度	海水ポンプの運転状態により監視可能	原子炉補給冷却水冷却器排水流量	海水ポンプの運転状態及び海水供給母管圧力により監視可能	原子炉補給冷却水供給母管流量	原子炉補給冷却水ポンプの運転状態及び原子炉補給冷却水供給母管圧力により監視可能	原子炉補給冷却水冷却器出口温度	原子炉補給冷却水戻り母管温度により監視可能	原子炉補給冷却水戻り母管温度	原子炉補給冷却水冷却器出口温度により監視可能	制御用空気圧縮機・中間冷却器冷却水流量	制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能	制御用空気冷却器・乾燥器冷却水流量	制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能	静的熱媒式水素再結合装置温度	静的熱媒式水素再結合装置温度の検出器又は原子炉格納容器水素再結合装置の動作状況により監視可能	原子炉格納容器水素再結合装置温度	原子炉格納容器水素再結合装置温度の検出器又は静的熱媒式水素再結合装置の動作状況により監視可能	原子炉補給水補給流量制御器	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能	原子炉補給水補給流量検算制御器積算カウンタ	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能	ほう動水補給流量制御器	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能	ほう動水補給流量検算制御器積算カウンタ	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能	可溶性酸素(可能値)	中性子線領域中性子束により監視可能	格納容器シンプ水位	原子炉格納容器内の露えい状態を格納容器圧力、格納容器内温度及び格納容器内液面シンプ水位(圧縮)により監視可能	格納容器測定装置水位	原子炉格納容器内の露えい状態を格納容器圧力、格納容器内温度及び格納容器内液面シンプ水位(圧縮)により監視可能	制御用空気供給母管圧力	制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能	緊急ほう動水補給流量	ほう動ポンプの運転状態を確認することにより監視可能	アンモニア圧力	各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能	蒸気発生器冷却水流量	蒸気発生器水位(検出)により監視可能	蒸気発生器冷却水流量	蒸気発生器水位(検出)により監視可能	その 他	安全保護アログ動作監視	作動した種類の運転状態確認により監視可能	安全注入動作監視	関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能	停止時(注)中性子束高速増殖動作監視	中性子線領域中性子束により監視可能	サブクール度	1次冷却器温度、1次冷却器圧力により監視可能	非常運転油圧	タービン主油弁の動作状態により監視可能	非常中圧(注)	タービン主油弁の動作状態により監視可能	<p>第1.15.1表 補助的な監視パラメータ（2/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>パラメータ</th> <th>補助的な監視パラメータの分類理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="24">その 他</td> <td>原子炉補給冷却水供給母管圧力</td> <td>原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水冷却器出口温度</td> <td>原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水冷却器排水流量</td> <td>原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水供給母管流量</td> <td>原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>サブクール度(注)</td> <td>原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>格納容器排水ポンプ流量</td> <td>格納容器排水ポンプの運転状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>静的熱媒式水素再結合装置温度</td> <td>静的熱媒式水素再結合装置の動作状態を監視するパラメータ。なお、静的熱媒式水素再結合装置の動作状態(再結合時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置の動作状態を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。</td> </tr> <tr> <td>イグナイタ動作監視</td> <td>イグナイタの動作状態を監視するパラメータ。なお、イグナイタの動作監視(本装置の動作時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器冷却水流量監視</td> <td>蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器冷却水流量監視</td> <td>蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>ほう動水補給流量監視</td> <td>ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>ほう動水補給流量監視</td> <td>ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>格納容器シンプ水位</td> <td>原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>格納容器シンプ水位上昇率</td> <td>原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器冷却水流量</td> <td>蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>制御用空気圧力</td> <td>制御用空気系統の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>圧縮機タンク水位</td> <td>充てんポンプの運転状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>緊急ほう動水補給流量</td> <td>ほう動ポンプによるほう動水のほう動水補給流量を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>アンモニア内圧力</td> <td>アンモニア冷却ポンプの運転状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>タービン非常運転油圧</td> <td>タービン主油弁の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>CR 自動運転監視</td> <td>共通運転監視装置の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>8000 作動</td> <td>8000 作動信号の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>非常中圧(注)</td> <td>タービン主油弁の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故原因の調査に活用する情報の確保の観点から、本表に記載しているパラメータについては、適用可能な監視装置とする。</p>	区分	パラメータ	補助的な監視パラメータの分類理由	その 他	原子炉補給冷却水供給母管圧力	原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ	原子炉補給冷却水冷却器出口温度	原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ	原子炉補給冷却水冷却器排水流量	原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ	原子炉補給冷却水供給母管流量	原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ	サブクール度(注)	原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ	格納容器排水ポンプ流量	格納容器排水ポンプの運転状態を監視するパラメータ	静的熱媒式水素再結合装置温度	静的熱媒式水素再結合装置の動作状態を監視するパラメータ。なお、静的熱媒式水素再結合装置の動作状態(再結合時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置の動作状態を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。	イグナイタ動作監視	イグナイタの動作状態を監視するパラメータ。なお、イグナイタの動作監視(本装置の動作時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。	蒸気発生器冷却水流量監視	蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ	蒸気発生器冷却水流量監視	蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ	ほう動水補給流量監視	ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ	ほう動水補給流量監視	ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ	格納容器シンプ水位	原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ	格納容器シンプ水位上昇率	原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ	蒸気発生器冷却水流量	蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ	制御用空気圧力	制御用空気系統の動作状態を監視するパラメータ	圧縮機タンク水位	充てんポンプの運転状態を監視するパラメータ	緊急ほう動水補給流量	ほう動ポンプによるほう動水のほう動水補給流量を監視するパラメータ	アンモニア内圧力	アンモニア冷却ポンプの運転状態を監視するパラメータ	タービン非常運転油圧	タービン主油弁の動作状態を監視するパラメータ	CR 自動運転監視	共通運転監視装置の動作状態を監視するパラメータ	8000 作動	8000 作動信号の動作状態を監視するパラメータ	非常中圧(注)	タービン主油弁の動作状態を監視するパラメータ	<p>第1.15.1表 補助パラメータ（2/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>補助パラメータ</th> <th>補助パラメータの分類理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">その 他</td> <td>海水母管圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水供給母管出口流量</td> <td>原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水冷却器排水出口流量</td> <td>原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水供給母管排水流量</td> <td>原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>サブクール度(注)</td> <td>原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>格納容器排水ポンプ流量</td> <td>格納容器排水ポンプの動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>静的熱媒式水素再結合装置温度</td> <td>静的熱媒式水素再結合装置の動作状態を監視するパラメータ。なお、静的熱媒式水素再結合装置の動作状態(再結合時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。</td> </tr> <tr> <td>イグナイタ動作監視</td> <td>イグナイタの動作状態を監視するパラメータ。なお、イグナイタの動作監視(本装置の動作時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器冷却水流量監視</td> <td>蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器冷却水流量監視</td> <td>蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>ほう動水補給流量監視</td> <td>ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>ほう動水補給流量監視</td> <td>ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>格納容器シンプ水位</td> <td>原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>格納容器シンプ水位上昇率</td> <td>原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ</td> </tr> </tbody> </table>	区分	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由	その 他	海水母管圧力		原子炉補給冷却水供給母管出口流量	原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ	原子炉補給冷却水冷却器排水出口流量	原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ	原子炉補給冷却水供給母管排水流量	原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ	サブクール度(注)	原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ	格納容器排水ポンプ流量	格納容器排水ポンプの動作状態を監視するパラメータ	静的熱媒式水素再結合装置温度	静的熱媒式水素再結合装置の動作状態を監視するパラメータ。なお、静的熱媒式水素再結合装置の動作状態(再結合時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。	イグナイタ動作監視	イグナイタの動作状態を監視するパラメータ。なお、イグナイタの動作監視(本装置の動作時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。	蒸気発生器冷却水流量監視	蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ	蒸気発生器冷却水流量監視	蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ	ほう動水補給流量監視	ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ	ほう動水補給流量監視	ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ	格納容器シンプ水位	原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ	格納容器シンプ水位上昇率	原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ	<p>記載箇所の相違 ・女川では第1.15-4表として、本項の後段に記載している。</p>
区分	パラメータ	主要パラメータの代替監視可能理由																																																																																																																																																														
大 概	1次冷却水タンク水位	現地に水位を監視可能																																																																																																																																																														
	A、B 2次冷却水タンク水位	現地に水位を監視可能																																																																																																																																																														
	N0、2次冷却水タンク水位	現地に水位を監視可能																																																																																																																																																														
	N0、3次冷却水タンク水位	現地に水位を監視可能																																																																																																																																																														
	脱気器タンク水位	現地に水位を監視可能																																																																																																																																																														
	圧縮機タンク水位	充てんポンプの運転状態により監視可能																																																																																																																																																														
その 他	海水供給母管圧力	海水ポンプの運転状態により監視可能																																																																																																																																																														
	原子炉補給冷却水冷却器出口温度	海水ポンプの運転状態により監視可能																																																																																																																																																														
	原子炉補給冷却水冷却器排水流量	海水ポンプの運転状態及び海水供給母管圧力により監視可能																																																																																																																																																														
	原子炉補給冷却水供給母管流量	原子炉補給冷却水ポンプの運転状態及び原子炉補給冷却水供給母管圧力により監視可能																																																																																																																																																														
	原子炉補給冷却水冷却器出口温度	原子炉補給冷却水戻り母管温度により監視可能																																																																																																																																																														
	原子炉補給冷却水戻り母管温度	原子炉補給冷却水冷却器出口温度により監視可能																																																																																																																																																														
	制御用空気圧縮機・中間冷却器冷却水流量	制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能																																																																																																																																																														
	制御用空気冷却器・乾燥器冷却水流量	制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能																																																																																																																																																														
	静的熱媒式水素再結合装置温度	静的熱媒式水素再結合装置温度の検出器又は原子炉格納容器水素再結合装置の動作状況により監視可能																																																																																																																																																														
	原子炉格納容器水素再結合装置温度	原子炉格納容器水素再結合装置温度の検出器又は静的熱媒式水素再結合装置の動作状況により監視可能																																																																																																																																																														
	原子炉補給水補給流量制御器	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能																																																																																																																																																														
	原子炉補給水補給流量検算制御器積算カウンタ	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能																																																																																																																																																														
	ほう動水補給流量制御器	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能																																																																																																																																																														
	ほう動水補給流量検算制御器積算カウンタ	原子炉補給水制御系統の運転状態により監視可能																																																																																																																																																														
	可溶性酸素(可能値)	中性子線領域中性子束により監視可能																																																																																																																																																														
	格納容器シンプ水位	原子炉格納容器内の露えい状態を格納容器圧力、格納容器内温度及び格納容器内液面シンプ水位(圧縮)により監視可能																																																																																																																																																														
	格納容器測定装置水位	原子炉格納容器内の露えい状態を格納容器圧力、格納容器内温度及び格納容器内液面シンプ水位(圧縮)により監視可能																																																																																																																																																														
	制御用空気供給母管圧力	制御用空気圧縮機の運転状態により監視可能																																																																																																																																																														
	緊急ほう動水補給流量	ほう動ポンプの運転状態を確認することにより監視可能																																																																																																																																																														
	アンモニア圧力	各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能																																																																																																																																																														
	蒸気発生器冷却水流量	蒸気発生器水位(検出)により監視可能																																																																																																																																																														
	蒸気発生器冷却水流量	蒸気発生器水位(検出)により監視可能																																																																																																																																																														
	その 他	安全保護アログ動作監視	作動した種類の運転状態確認により監視可能																																																																																																																																																													
		安全注入動作監視	関連警報の有無、各種機の操作スイッチ表示灯などによる運転状態にて監視可能																																																																																																																																																													
停止時(注)中性子束高速増殖動作監視		中性子線領域中性子束により監視可能																																																																																																																																																														
サブクール度		1次冷却器温度、1次冷却器圧力により監視可能																																																																																																																																																														
非常運転油圧		タービン主油弁の動作状態により監視可能																																																																																																																																																														
非常中圧(注)		タービン主油弁の動作状態により監視可能																																																																																																																																																														
区分	パラメータ	補助的な監視パラメータの分類理由																																																																																																																																																														
その 他	原子炉補給冷却水供給母管圧力	原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	原子炉補給冷却水冷却器出口温度	原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	原子炉補給冷却水冷却器排水流量	原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	原子炉補給冷却水供給母管流量	原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	サブクール度(注)	原子炉補給冷却水供給母管の運転状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	格納容器排水ポンプ流量	格納容器排水ポンプの運転状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	静的熱媒式水素再結合装置温度	静的熱媒式水素再結合装置の動作状態を監視するパラメータ。なお、静的熱媒式水素再結合装置の動作状態(再結合時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置の動作状態を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。																																																																																																																																																														
	イグナイタ動作監視	イグナイタの動作状態を監視するパラメータ。なお、イグナイタの動作監視(本装置の動作時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。																																																																																																																																																														
	蒸気発生器冷却水流量監視	蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	蒸気発生器冷却水流量監視	蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	ほう動水補給流量監視	ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	ほう動水補給流量監視	ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	格納容器シンプ水位	原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	格納容器シンプ水位上昇率	原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	蒸気発生器冷却水流量	蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	制御用空気圧力	制御用空気系統の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	圧縮機タンク水位	充てんポンプの運転状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	緊急ほう動水補給流量	ほう動ポンプによるほう動水のほう動水補給流量を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	アンモニア内圧力	アンモニア冷却ポンプの運転状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	タービン非常運転油圧	タービン主油弁の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	CR 自動運転監視	共通運転監視装置の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	8000 作動	8000 作動信号の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	非常中圧(注)	タービン主油弁の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	区分	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由																																																																																																																																																													
その 他	海水母管圧力																																																																																																																																																															
	原子炉補給冷却水供給母管出口流量	原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	原子炉補給冷却水冷却器排水出口流量	原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	原子炉補給冷却水供給母管排水流量	原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	サブクール度(注)	原子炉補給冷却水供給母管の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	格納容器排水ポンプ流量	格納容器排水ポンプの動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	静的熱媒式水素再結合装置温度	静的熱媒式水素再結合装置の動作状態を監視するパラメータ。なお、静的熱媒式水素再結合装置の動作状態(再結合時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。																																																																																																																																																														
	イグナイタ動作監視	イグナイタの動作状態を監視するパラメータ。なお、イグナイタの動作監視(本装置の動作時の温度上昇)により静的熱媒式水素再結合装置を監視する場合には、測定値が少なく(信頼性が低い)と考えられるため、事故での監視はせず、他の検出器の動作状態を監視する。																																																																																																																																																														
	蒸気発生器冷却水流量監視	蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	蒸気発生器冷却水流量監視	蒸気発生器冷却水の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	ほう動水補給流量監視	ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	ほう動水補給流量監視	ほう動水補給流量の動作状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	格納容器シンプ水位	原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														
	格納容器シンプ水位上昇率	原子炉格納容器内の露えい状態を監視するパラメータ																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（1/15）

項目	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	計装	計装基準	計装基準 (計装監視の範囲)	監視方法 (計装監視の範囲)	監視手段 (計装監視の範囲)	監視手段 (計装監視の範囲)
炉内	炉内温度	0~400℃	最大値：約400℃ 最小値：約34℃	0~400℃	温度計	温度計	温度計
炉内	炉内圧力	0~20.0MPa	最大値：約17.0MPa 最小値：約1.0MPa	0~20.0MPa	圧力計	圧力計	圧力計
炉内	炉内水位	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	水位計	水位計	水位計
炉内	炉内流量	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	流量計	流量計	流量計
炉内	炉内圧力	0~20.0MPa	最大値：約17.0MPa 最小値：約1.0MPa	0~20.0MPa	圧力計	圧力計	圧力計
炉内	炉内流量	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	流量計	流量計	流量計
炉内	炉内温度	0~400℃	最大値：約400℃ 最小値：約34℃	0~400℃	温度計	温度計	温度計
炉内	炉内圧力	0~20.0MPa	最大値：約17.0MPa 最小値：約1.0MPa	0~20.0MPa	圧力計	圧力計	圧力計
炉内	炉内水位	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	水位計	水位計	水位計
炉内	炉内流量	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	流量計	流量計	流量計
炉内	炉内温度	0~400℃	最大値：約400℃ 最小値：約34℃	0~400℃	温度計	温度計	温度計
炉内	炉内圧力	0~20.0MPa	最大値：約17.0MPa 最小値：約1.0MPa	0~20.0MPa	圧力計	圧力計	圧力計
炉内	炉内水位	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	水位計	水位計	水位計
炉内	炉内流量	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	流量計	流量計	流量計

第1.15.2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（1/7）

項目	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	計装	計装基準	監視方法 (計装監視の範囲)	監視手段 (計装監視の範囲)	監視手段 (計装監視の範囲)
炉内	炉内温度	0~400℃	最大値：約400℃ 最小値：約34℃	0~400℃	温度計	温度計
炉内	炉内圧力	0~20.0MPa	最大値：約17.0MPa 最小値：約1.0MPa	0~20.0MPa	圧力計	圧力計
炉内	炉内水位	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	水位計	水位計
炉内	炉内流量	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	流量計	流量計
炉内	炉内温度	0~400℃	最大値：約400℃ 最小値：約34℃	0~400℃	温度計	温度計
炉内	炉内圧力	0~20.0MPa	最大値：約17.0MPa 最小値：約1.0MPa	0~20.0MPa	圧力計	圧力計
炉内	炉内水位	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	水位計	水位計
炉内	炉内流量	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	流量計	流量計

第1.15.2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（1/5）

項目	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	計装	計装基準	監視方法 (計装監視の範囲)	監視手段 (計装監視の範囲)	監視手段 (計装監視の範囲)
炉内	炉内温度	0~400℃	最大値：約400℃ 最小値：約34℃	0~400℃	温度計	温度計
炉内	炉内圧力	0~20.0MPa	最大値：約17.0MPa 最小値：約1.0MPa	0~20.0MPa	圧力計	圧力計
炉内	炉内水位	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	水位計	水位計
炉内	炉内流量	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	流量計	流量計

第1.15.2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（1/4）

項目	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	計装	計装基準	監視方法 (計装監視の範囲)	監視手段 (計装監視の範囲)	監視手段 (計装監視の範囲)
炉内	炉内温度	0~400℃	最大値：約400℃ 最小値：約34℃	0~400℃	温度計	温度計
炉内	炉内圧力	0~20.0MPa	最大値：約17.0MPa 最小値：約1.0MPa	0~20.0MPa	圧力計	圧力計
炉内	炉内水位	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	水位計	水位計
炉内	炉内流量	0~100%	最大値：約100% 最小値：約0%	0~100%	流量計	流量計

差異理由

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																																																										
<p>第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）(2/15)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>重要監視パラメータ</th> <th>計装基準</th> <th>監視範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力（計装範囲の考え方）</th> <th>個数</th> <th>耐震性</th> <th>電源</th> <th>検出器の種類</th> <th>可搬型計測器</th> <th>図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却水（圧力）</td> <td>0.1~0.2MPa</td> <td>0~400m³/h</td> <td>320 m³/h</td> <td>高圧注入ポンプの流量（520m³/h）を監視可能。重大事故等時ににおいても監視可能。</td> <td>2</td> <td>S</td> <td>A、B計装用電源</td> <td>差圧式流量検出器</td> <td>可</td> <td>1.15.3 No ⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却水（温度）</td> <td>0.1~0.2MPa</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>1,250 m³/h</td> <td>余熱除去ポンプの流量（1,250m³/h）を監視可能。重大事故等時ににおいても監視可能。</td> <td>2</td> <td>S</td> <td>C、D計装用電源</td> <td>差圧式流量検出器</td> <td>可</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>加減代替低圧注水積算流量</td> <td>0~160 m³/h</td> <td>0~10,000 m³</td> <td>—（注3）</td> <td>重大事故等時ににおいて、低圧代替低圧注水ポンプによる原子炉圧力容器への注水流量（130m³/h）を監視可能。</td> <td>1</td> <td>S</td> <td>B計装用電源</td> <td>差圧式流量検出器</td> <td>可</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット水位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>本線の確保を監視するパラメータと同じ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水ピット水位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位を監視するパラメータと同じ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水位を監視するパラメータと同じ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータと同じ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ポンプ水位(広域)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次冷却材低圧側温度(広域)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	重要監視パラメータ	計装基準	監視範囲	設計基準	把握能力（計装範囲の考え方）	個数	耐震性	電源	検出器の種類	可搬型計測器	図	原子炉冷却水（圧力）	0.1~0.2MPa	0~400m ³ /h	320 m ³ /h	高圧注入ポンプの流量（520m ³ /h）を監視可能。重大事故等時ににおいても監視可能。	2	S	A、B計装用電源	差圧式流量検出器	可	1.15.3 No ⑥	原子炉冷却水（温度）	0.1~0.2MPa	0~1,300m ³ /h	1,250 m ³ /h	余熱除去ポンプの流量（1,250m ³ /h）を監視可能。重大事故等時ににおいても監視可能。	2	S	C、D計装用電源	差圧式流量検出器	可	⑤	加減代替低圧注水積算流量	0~160 m ³ /h	0~10,000 m ³	—（注3）	重大事故等時ににおいて、低圧代替低圧注水ポンプによる原子炉圧力容器への注水流量（130m ³ /h）を監視可能。	1	S	B計装用電源	差圧式流量検出器	可	③	燃料取替用水ピット水位				本線の確保を監視するパラメータと同じ							復水ピット水位				原子炉圧力容器内の水位を監視するパラメータと同じ							加圧器水位				原子炉格納容器内の水位を監視するパラメータと同じ							原子炉水位				原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータと同じ							格納容器再循環ポンプ水位(広域)				原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ							1次冷却材圧力											1次冷却材低圧側温度(広域)											<p>第1.15.2表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）(2/7)</p>			<p>設備構成の相違</p>
項目	重要監視パラメータ	計装基準	監視範囲	設計基準	把握能力（計装範囲の考え方）	個数	耐震性	電源	検出器の種類	可搬型計測器	図																																																																																																																			
原子炉冷却水（圧力）	0.1~0.2MPa	0~400m ³ /h	320 m ³ /h	高圧注入ポンプの流量（520m ³ /h）を監視可能。重大事故等時ににおいても監視可能。	2	S	A、B計装用電源	差圧式流量検出器	可	1.15.3 No ⑥																																																																																																																				
原子炉冷却水（温度）	0.1~0.2MPa	0~1,300m ³ /h	1,250 m ³ /h	余熱除去ポンプの流量（1,250m ³ /h）を監視可能。重大事故等時ににおいても監視可能。	2	S	C、D計装用電源	差圧式流量検出器	可	⑤																																																																																																																				
加減代替低圧注水積算流量	0~160 m ³ /h	0~10,000 m ³	—（注3）	重大事故等時ににおいて、低圧代替低圧注水ポンプによる原子炉圧力容器への注水流量（130m ³ /h）を監視可能。	1	S	B計装用電源	差圧式流量検出器	可	③																																																																																																																				
燃料取替用水ピット水位				本線の確保を監視するパラメータと同じ																																																																																																																										
復水ピット水位				原子炉圧力容器内の水位を監視するパラメータと同じ																																																																																																																										
加圧器水位				原子炉格納容器内の水位を監視するパラメータと同じ																																																																																																																										
原子炉水位				原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータと同じ																																																																																																																										
格納容器再循環ポンプ水位(広域)				原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ																																																																																																																										
1次冷却材圧力																																																																																																																														
1次冷却材低圧側温度(広域)																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）(3/15)

項目	監視項目	計装基準	計装範囲	設計基準	把握能力（計装範囲の考え方）	制数・制断性	電源	検出部の構造	可搬型計測器	備考
1	炉内圧力	0~1200kPa	0~1200kPa	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
2	炉内温度	0~1000℃	0~1000℃	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
3	炉内水位	0~1000mm	0~1000mm	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
4	炉内圧力	0~1200kPa	0~1200kPa	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
5	炉内温度	0~1000℃	0~1000℃	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
6	炉内水位	0~1000mm	0~1000mm	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
7	炉内圧力	0~1200kPa	0~1200kPa	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
8	炉内温度	0~1000℃	0~1000℃	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
9	炉内水位	0~1000mm	0~1000mm	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
10	炉内圧力	0~1200kPa	0~1200kPa	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
11	炉内温度	0~1000℃	0~1000℃	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
12	炉内水位	0~1000mm	0~1000mm	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
13	炉内圧力	0~1200kPa	0~1200kPa	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
14	炉内温度	0~1000℃	0~1000℃	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	
15	炉内水位	0~1000mm	0~1000mm	—	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況（1.640mm ² ）を監視可能。	1	S	計装用電源	可	

第1.15.2表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）(3/7)

大飯発電所3/4号炉

分類	重要な監視パラメータ(注1) 重要代替パラメータ	計装範囲	設計基準	把握能力(計装範囲の考え方)	制数・制断性	電源	検出部の構造	可搬型計測器	備考
炉子炉格納容器内の注水量	格納容器スプレイング補償流量 ¹⁾ 燃料格納容器水位 ²⁾ 蒸気発生器水位 ³⁾ 格納容器内温度 ⁴⁾ 格納容器内圧力 ⁵⁾	0~1,700m ³ /h 0~10,000mm	—(注3)	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況(1.640mm ²)を監視可能。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。	1	S	計装用電源	可	
炉子炉格納容器内の注水量	格納容器内温度 ⁴⁾ 格納容器内圧力 ⁵⁾	0~200℃ 0~10MPa	—(注3)	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況(1.640mm ²)を監視可能。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。	1	S	計装用電源	可	
炉子炉格納容器内の注水量	格納容器内温度 ⁴⁾ 格納容器内圧力 ⁵⁾	0~200℃ 0~10MPa	—(注3)	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況(1.640mm ²)を監視可能。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。	1	S	計装用電源	可	

泊発電所3号炉

第1.15.2表 重要な監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器（重大事故等対処設備）(2/5)

分類	重要な監視パラメータ(注1) 重要代替パラメータ	計装範囲	設計基準	把握能力(計装範囲の考え方)	制数・制断性	電源	検出部の構造	可搬型計測器	備考
炉子炉格納容器内の注水量	格納容器内温度 ⁴⁾ 格納容器内圧力 ⁵⁾	0~200℃ 0~10MPa	—(注3)	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況(1.640mm ²)を監視可能。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。	1	S	計装用電源	可	
炉子炉格納容器内の注水量	格納容器内温度 ⁴⁾ 格納容器内圧力 ⁵⁾	0~200℃ 0~10MPa	—(注3)	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況(1.640mm ²)を監視可能。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。	1	S	計装用電源	可	

第1.15.2表 重要な監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器（重大事故等対処設備）(2/4)

伊方発電所3号炉

分類	重要な監視パラメータ(注1) 重要代替パラメータ	計装範囲	設計基準	把握能力(計装範囲の考え方)	制数・制断性	電源	検出部の構造	可搬型計測器	備考
炉子炉格納容器内の注水量	格納容器内温度 ⁴⁾ 格納容器内圧力 ⁵⁾	0~200℃ 0~10MPa	—(注3)	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況(1.640mm ²)を監視可能。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。	1	S	計装用電源	可	
炉子炉格納容器内の注水量	格納容器内温度 ⁴⁾ 格納容器内圧力 ⁵⁾	0~200℃ 0~10MPa	—(注3)	重大事故等時において、格納容器スプレイングの状況(1.640mm ²)を監視可能。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。 格納容器内の注水量を監視するパラメータと同じ。	1	S	計装用電源	可	

差異理由
 設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（4/15）

項目	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	単位	計装範囲	設計基準	検出率 (計装範囲の考え方)	検出手段	出力 (出力範囲)	出力形式 (出力形式)	出力位置 (出力位置)
①	炉内温度監視パラメータ								
②	炉内温度監視パラメータ								
③	炉内温度監視パラメータ								
④	炉内温度監視パラメータ								
⑤	炉内温度監視パラメータ								
⑥	炉内温度監視パラメータ								
⑦	炉内温度監視パラメータ								
⑧	炉内温度監視パラメータ								
⑨	炉内温度監視パラメータ								
⑩	炉内温度監視パラメータ								
⑪	炉内温度監視パラメータ								
⑫	炉内温度監視パラメータ								
⑬	炉内温度監視パラメータ								
⑭	炉内温度監視パラメータ								
⑮	炉内温度監視パラメータ								
⑯	炉内温度監視パラメータ								
⑰	炉内温度監視パラメータ								
⑱	炉内温度監視パラメータ								
⑲	炉内温度監視パラメータ								
⑳	炉内温度監視パラメータ								
㉑	炉内温度監視パラメータ								
㉒	炉内温度監視パラメータ								
㉓	炉内温度監視パラメータ								
㉔	炉内温度監視パラメータ								
㉕	炉内温度監視パラメータ								
㉖	炉内温度監視パラメータ								
㉗	炉内温度監視パラメータ								
㉘	炉内温度監視パラメータ								
㉙	炉内温度監視パラメータ								
㉚	炉内温度監視パラメータ								
㉛	炉内温度監視パラメータ								
㉜	炉内温度監視パラメータ								
㉝	炉内温度監視パラメータ								
㉞	炉内温度監視パラメータ								
㉟	炉内温度監視パラメータ								
㊱	炉内温度監視パラメータ								
㊲	炉内温度監視パラメータ								
㊳	炉内温度監視パラメータ								
㊴	炉内温度監視パラメータ								
㊵	炉内温度監視パラメータ								
㊶	炉内温度監視パラメータ								
㊷	炉内温度監視パラメータ								
㊸	炉内温度監視パラメータ								
㊹	炉内温度監視パラメータ								
㊺	炉内温度監視パラメータ								
㊻	炉内温度監視パラメータ								
㊼	炉内温度監視パラメータ								
㊽	炉内温度監視パラメータ								
㊾	炉内温度監視パラメータ								
㊿	炉内温度監視パラメータ								

第1.15.2表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（4/7）

分類	重要な監視パラメータ (注1)	計装範囲	設計基準	検出率 (計装範囲の考え方)	検出手段	出力 (出力形式)	出力位置 (出力位置)	出力形式 (出力形式)	出力位置 (出力位置)
炉内温度監視パラメータ	炉内温度監視パラメータ	0~100%	100%	計装範囲全体(100%)を監視可能。重大事故等時においても計装範囲により事故対応が可能。	2	S	C, D計装用電源	電圧式本位検出器	炉内温度監視
	炉内温度監視パラメータ	0~100%	100%以上	計装範囲全体(100%)を監視可能。重大事故等時においても計装範囲により事故対応が可能。	2	S	C, D計装用電源	電圧式本位検出器	炉内温度監視
	炉内温度監視パラメータ	ON-OFF	— (注2)	重大事故等時において、炉内温度監視パラメータの検出率を100%に維持し、重大事故等時において、炉内温度監視パラメータの検出率を100%に維持することを確認可能。	1	S	B系統電圧	電圧式本位検出器	炉内温度監視
	炉内温度監視パラメータ	ON-OFF	— (注3)	重大事故等時において、炉内温度監視パラメータの検出率を100%に維持し、重大事故等時において、炉内温度監視パラメータの検出率を100%に維持することを確認可能。	1	S	B系統電圧	電圧式本位検出器	炉内温度監視
炉内温度監視パラメータ	炉内温度監視パラメータ	0~20mA	— (注4)	重大事故等時において、本装置は13mAを監視可能。	1	(可変)	B系統電圧	電圧式本位検出器	炉内温度監視
	炉内温度監視パラメータ	10~100mSv/h	10~100mSv/h	炉内温度監視パラメータの検出率を100%に維持し、重大事故等時において、炉内温度監視パラメータの検出率を100%に維持することを確認可能。	2	S	C, D計装用電源	電圧式本位検出器	炉内温度監視
炉内温度監視パラメータ	炉内温度監視パラメータ	10~100mSv/h	10~100mSv/h	炉内温度監視パラメータの検出率を100%に維持し、重大事故等時において、炉内温度監視パラメータの検出率を100%に維持することを確認可能。	2	S	C, D計装用電源	電圧式本位検出器	炉内温度監視
	炉内温度監視パラメータ	10~100mSv/h	10~100mSv/h	炉内温度監視パラメータの検出率を100%に維持し、重大事故等時において、炉内温度監視パラメータの検出率を100%に維持することを確認可能。	2	S	C, D計装用電源	電圧式本位検出器	炉内温度監視

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所 2号炉

Table with 8 columns: Item, Instrument Name, Model, Design Basis, Design Basis Conditions, Design Basis Description, Instrument Type, and Remarks. Includes sections for Reactor Power, Steam Generator, Core Exit Temperature, and Cooling Water Flow.

第 1.15.2 表 重要な監視パラメータ及び重要代替計器パラメータ (重大事故等対処設備) (5/7)

Table with 6 columns: Category, Parameter, Measurement Range, Design Basis, Instrument Type, and Remarks. Covers parameters like Reactor Power, Steam Generator Pressure, and Core Exit Temperature.

泊発電所 3号炉

Table with 6 columns: Category, Parameter, Measurement Range, Design Basis, Instrument Type, and Remarks. Covers parameters like Reactor Power, Steam Generator Pressure, and Core Exit Temperature.

伊方発電所 3号炉

Table with 6 columns: Category, Parameter, Measurement Range, Design Basis, Instrument Type, and Remarks. Covers parameters like Reactor Power, Steam Generator Pressure, and Core Exit Temperature.

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

差異理由

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉

Table with 10 columns: 分類, 監視項目, 監視範囲, 監視条件, 監視手段, 監視装置, 監視時間, 監視精度, 監視単位, 監視回数. Contains monitoring parameters for the female reactor.

※1：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータとして表示する。
※2：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータとして表示する。

大飯発電所3/4号炉

Table with 10 columns: 分類, 監視項目, 監視範囲, 監視条件, 監視手段, 監視装置, 監視時間, 監視精度, 監視単位, 監視回数. Contains monitoring parameters for the Obihiro reactor.

※1：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータとして表示する。
※2：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータとして表示する。

泊発電所3号炉

Table with 10 columns: 分類, 監視項目, 監視範囲, 監視条件, 監視手段, 監視装置, 監視時間, 監視精度, 監視単位, 監視回数. Contains monitoring parameters for the Obihiro reactor.

※1：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータとして表示する。
※2：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータとして表示する。

伊方発電所3号炉

Table with 10 columns: 分類, 監視項目, 監視範囲, 監視条件, 監視手段, 監視装置, 監視時間, 監視精度, 監視単位, 監視回数. Contains monitoring parameters for the Iwatake reactor.

※1：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータとして表示する。
※2：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータとして表示する。

差異理由

設備構成の相違

第1.15.2表 重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器（重大事故等対処設備）（4/4）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 赤字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 赤字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）(8/15)

女川原子力発電所2号炉							大飯発電所3/4号炉							泊発電所3号炉							伊方発電所3号炉							差異理由
分類	監視項目(パラメータ) 監視装置(パラメータ)	種別	主要監視	代替監視	種別	監視項目	種別	主要監視	代替監視	種別	監視項目	種別	主要監視	代替監視	種別	監視項目	種別	主要監視	代替監視	差異理由								
		監視項目	監視装置	監視項目	監視装置	監視項目	監視装置	監視項目	監視装置	監視項目	監視装置	監視項目	監視装置	監視項目	監視装置	監視項目	監視装置	監視項目	監視装置		監視項目	監視装置						
	重要監視パラメータ																				設備構成の相違							
	重要代替監視パラメータ																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第 1.15-2 表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（10/15）		女川原子力発電所 2号炉	大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	伊方発電所 3号炉	差異理由
項目	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ
項目	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ
項目	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ
項目	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ
項目	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	項目説明 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）(11/16)

女川原子力発電所2号炉				大飯発電所3/4号炉				泊発電所3号炉				伊方発電所3号炉				差異理由
区分	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	計装機能	表示形態	警報発生 (警報発生時点)	警報消滅	警報解除	警報再発生	警報発生 (警報発生時点)	警報消滅	警報解除	警報再発生	警報発生 (警報発生時点)	警報消滅	警報解除	警報再発生	差異理由
炉内監視	炉内監視 (100%)															設備構成の相違
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															
炉内監視	炉内監視 (100%)															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																				
<p>第1.15-2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（12/15）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ</th> <th>制値</th> <th>許容範囲</th> <th>表示範囲</th> <th>監視能力 (許容範囲の表示)</th> <th>監視 機能</th> <th>監視 機能の 種類</th> <th>監視 機能の 位置</th> <th>監視 機能の 表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内圧力監視システム</td> <td>炉内圧力監視システム</td> <td>1</td> <td>0~1.20MPa^{*)}</td> <td>0~1.17MPa^{*)}</td> <td>0~1.17MPa^{*)}</td> <td>0~1.17MPa^{*)}</td> <td>異常時炉内圧力監視システム</td> <td>異常時炉内圧力監視システム</td> <td>異常時炉内圧力監視システム</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、重大事故等対処設備の監視対象となるパラメータを指す。 *) 設計仕様書「炉内圧力監視システム」(設計仕様書)より、2125a上および2125a下の上記の値とする。 **) 設計仕様書「炉内圧力監視システム」(設計仕様書)より、2125a上および2125a下の上記の値とする。 ***) 設計仕様書「炉内圧力監視システム」(設計仕様書)より、2125a上および2125a下の上記の値とする。 ****) 設計仕様書「炉内圧力監視システム」(設計仕様書)より、2125a上および2125a下の上記の値とする。 *****) 設計仕様書「炉内圧力監視システム」(設計仕様書)より、2125a上および2125a下の上記の値とする。</p>	品名	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	制値	許容範囲	表示範囲	監視能力 (許容範囲の表示)	監視 機能	監視 機能の 種類	監視 機能の 位置	監視 機能の 表示	炉内圧力監視システム	炉内圧力監視システム	1	0~1.20MPa ^{*)}	0~1.17MPa ^{*)}	0~1.17MPa ^{*)}	0~1.17MPa ^{*)}	異常時炉内圧力監視システム	異常時炉内圧力監視システム	異常時炉内圧力監視システム				<p>設備構成の相違</p>
品名	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	制値	許容範囲	表示範囲	監視能力 (許容範囲の表示)	監視 機能	監視 機能の 種類	監視 機能の 位置	監視 機能の 表示															
炉内圧力監視システム	炉内圧力監視システム	1	0~1.20MPa ^{*)}	0~1.17MPa ^{*)}	0~1.17MPa ^{*)}	0~1.17MPa ^{*)}	異常時炉内圧力監視システム	異常時炉内圧力監視システム	異常時炉内圧力監視システム															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第 1.15-2 表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（15/15）		女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由				
分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	単位	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	監視性	電源 ^{*13}	検出設備 の種類	可搬型 計測器	第1.15-3 図No.
炉 用 済 燃 料 プ ール の 監視	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ^{*6}	1 ^{*12}	0~7.030mm ^{*13} (0.P.25070mm~ 32020mm)	-4 [*]	変動する可能性のある使用済燃料プールの上部から使用済燃料上端位置の範囲で使用済燃料プールの水位を監視可能。 変動する可能性のある範囲において使用済燃料プールの温度を監視可能。	-(5s)	区分1 直流電源 125V代替 直流電源	熱電対	可搬型 計測器	②
			4.300mm~7.300mm ^{*14} (0.P.21620mm~ 25220mm)	0.P.32805mm	使用済燃料プールのある使用済燃料プールの上部から使用済燃料プールの温度を監視可能。 使用済燃料プールの水位を監視可能。	(5s)	区分1 交流計測用電源 交流電源 125V代替直流電源	ガイド パルス水位 検出器	可搬型 計測器	②
			0~120℃	最大値：65℃	変動する可能性のある範囲において使用済燃料プールの温度を監視可能。	-(5s)	区分1 直流電源 125V代替 直流電源	温度感応体	可搬型 計測器	②
			10 ⁶ Bq/h~10 ⁸ Bq/h	-4 [*]	変動する可能性のある範囲 (5.4×10 ⁵ Bq/h~10 ⁶ Bq/h) にわたり放射線量を監視可能。	-(5s)	区分1 直流電源 125V代替 直流電源	電線	可搬型 計測器	②
			10 ⁶ Bq/h~10 ⁸ Bq/h	-4 [*]	使用済燃料プールの放射線量を監視可能。	-(5s)	区分1 交流計測用電源	電線	可搬型 計測器	②

*1: 重要代替監視パラメータを示す。
 *2: 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを示す。
 *3: 設計基準事故時に想定される炉内平均炉内圧力容器の最高圧力に対する飽和蒸気圧。
 *4: 計測範囲の車は、原子炉圧力容器安全レベルより1.313mm上のところとする。(ドラゴイヤスカート底部付着)。
 *5: 計測範囲の車は、原子炉圧力容器安全レベルより100mm上のところとする。(青蒸気排気筒付着)。
 *6: 重大事故時に使用する設備のため、設計基準事故等(運転時の異常)が運転停止を伴わずに閉する概なし。
 *7: 計測範囲の車は、原子炉格納容器下部(圧力容器下部(圧力容器下部)の)の)のところとする。
 *8: 計測範囲の車は、ドラゴイヤスカートの)のところとする。
 *9: 炉心温度は、原子炉停止後の経過時間における格納容器内平均放射線モニタの値で判断する。原子炉停止直後には約100Sv/h(経過時間とともに判断値は低くなる)であり、設計基準では炉心温度しないことからこの値を下回る。
 *10: 局部出口温度モニタの検出値は124個であり、平均出口温度モニタの各チャンネルには、A系17個及びB系15個ずつの信号が入力される。
 *11: 0個の警報発生式水漏れ検出装置に付して、入口側及び出口側にそれぞれ1個設置。
 *12: 検出点15箇所。
 *13: 計測範囲の車は、使用済燃料貯蔵ラック上端(0.P.25070mm)のところとする。
 *14: 検出点2箇所。
 *15: 所定重要監視パラメータ直流電源設備からの給電により計測可能な計測は、125V代替直流電源。区分1直流電源又は区分1直流電源とした計測である。

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																																											
		第1.15.3表 重要な監視パラメータを計測する常用計器及び重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器（多様性拡張設備）	第1.15.3表 重要監視パラメータを計測する常用計器及び重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器（多様性拡張設備）	記載方針の相違																																																																																																											
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器</th> <th>計測範囲</th> <th>種別</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉容器内の水位</td> <td>加圧器水位*2</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>C, D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器への注水量</td> <td>加圧器水位*1</td> <td>原子炉容器内の水位を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器圧力*1</td> <td>原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉格納容器圧力*2</td> <td>0~0.33MPa[gage]</td> <td>2</td> <td>A, B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水面温度</td> <td>原子炉格納容器圧力*1</td> <td>原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉格納容器圧力*2</td> <td>原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力*2</td> <td>0~8.1MPa[gage]</td> <td>6</td> <td>A, B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(熱域)*2</td> <td>0~100%</td> <td>6</td> <td>C, D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器バイパスの監視</td> <td>加圧器水位*1</td> <td>原子炉容器内の水位を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力*2</td> <td>最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(熱域)*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：分類のうち、重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器としてのみ使用する。 *2：分類のうち、重要な監視パラメータを計測する常用計器及び重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器として使用する。</p>	分類	重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器	計測範囲	種別	電源	原子炉容器内の水位	加圧器水位*2	0~100%	2	C, D 計装用電源	原子炉容器への注水量	加圧器水位*1	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様			原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器圧力*1	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様			原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力*2	0~0.33MPa[gage]	2	A, B 計装用電源	原子炉格納容器内の水面温度	原子炉格納容器圧力*1	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様			最終ヒートシンクの確保	原子炉格納容器圧力*2	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様			主蒸気ライン圧力*2	0~8.1MPa[gage]	6	A, B 計装用電源	蒸気発生器水位(熱域)*2	0~100%	6	C, D 計装用電源	格納容器バイパスの監視	加圧器水位*1	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様			主蒸気ライン圧力*2	最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様			蒸気発生器水位(熱域)*2				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器</th> <th>計測範囲</th> <th>種別</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉容器内の水位</td> <td>加圧器水位計*1</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>C, D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器への注水量</td> <td>加圧器水位計*2</td> <td>原子炉容器内の水位を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>格納容器内圧力計(2機)計*1</td> <td>原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>格納容器内圧力計(2機)計*2</td> <td>0~0.33MPa[gage]</td> <td>2</td> <td>A, B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>格納容器内圧力計(2機)計*2</td> <td>原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力計*3</td> <td>0~8.1MPa[gage]</td> <td>6</td> <td>A, B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位計*3</td> <td>0~100%</td> <td>6</td> <td>C, D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器バイパスの監視</td> <td>加圧器水位計*1</td> <td>原子炉容器内の水位を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力計*3</td> <td>最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位計*3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：分類のうち、重要監視パラメータを計測する常用計器としてのみ使用する。 注2：分類のうち、重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器としてのみ使用する。 注3：分類のうち、重要な監視パラメータを計測する常用計器及び重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器として使用する。</p>	分類	重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器	計測範囲	種別	電源	原子炉容器内の水位	加圧器水位計*1	0~100%	2	C, D 計装用電源	原子炉容器への注水量	加圧器水位計*2	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様			原子炉格納容器内の温度	格納容器内圧力計(2機)計*1	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様			原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力計(2機)計*2	0~0.33MPa[gage]	2	A, B 計装用電源	最終ヒートシンクの確保	格納容器内圧力計(2機)計*2	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様			主蒸気ライン圧力計*3	0~8.1MPa[gage]	6	A, B 計装用電源	蒸気発生器水位計*3	0~100%	6	C, D 計装用電源	格納容器バイパスの監視	加圧器水位計*1	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様			主蒸気ライン圧力計*3	最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様			蒸気発生器水位計*3				
分類	重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器	計測範囲	種別	電源																																																																																																											
原子炉容器内の水位	加圧器水位*2	0~100%	2	C, D 計装用電源																																																																																																											
原子炉容器への注水量	加圧器水位*1	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様																																																																																																													
原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器圧力*1	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様																																																																																																													
原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力*2	0~0.33MPa[gage]	2	A, B 計装用電源																																																																																																											
原子炉格納容器内の水面温度	原子炉格納容器圧力*1	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様																																																																																																													
最終ヒートシンクの確保	原子炉格納容器圧力*2	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様																																																																																																													
	主蒸気ライン圧力*2	0~8.1MPa[gage]	6	A, B 計装用電源																																																																																																											
	蒸気発生器水位(熱域)*2	0~100%	6	C, D 計装用電源																																																																																																											
格納容器バイパスの監視	加圧器水位*1	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様																																																																																																													
	主蒸気ライン圧力*2	最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様																																																																																																													
	蒸気発生器水位(熱域)*2																																																																																																														
分類	重要監視パラメータを計測する常用計器 重要代替監視パラメータを計測する常用代替計器	計測範囲	種別	電源																																																																																																											
原子炉容器内の水位	加圧器水位計*1	0~100%	2	C, D 計装用電源																																																																																																											
原子炉容器への注水量	加圧器水位計*2	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様																																																																																																													
原子炉格納容器内の温度	格納容器内圧力計(2機)計*1	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様																																																																																																													
原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力計(2機)計*2	0~0.33MPa[gage]	2	A, B 計装用電源																																																																																																											
最終ヒートシンクの確保	格納容器内圧力計(2機)計*2	原子炉格納容器内の圧力を監視する項目と同様																																																																																																													
	主蒸気ライン圧力計*3	0~8.1MPa[gage]	6	A, B 計装用電源																																																																																																											
	蒸気発生器水位計*3	0~100%	6	C, D 計装用電源																																																																																																											
格納容器バイパスの監視	加圧器水位計*1	原子炉容器内の水位を監視する項目と同様																																																																																																													
	主蒸気ライン圧力計*3	最終ヒートシンクの確保を監視する項目と同様																																																																																																													
	蒸気発生器水位計*3																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																				
		<p>第1.15.4表 有効な監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替監視パラメータを計測する常用代替計器（多様性拡張設備）（1/3）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ</th> <th>重要代替計器</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉容器内の温度</td> <td>炉心出口温度</td> <td>1次冷却材温度（広域一監視側） 1次冷却材温度（広域一監視側）</td> <td>99~1300℃</td> <td>39</td> <td>B 直流電源 *3</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器内の圧力</td> <td>加圧器圧力</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td>11.9~ 17.5MPa(gage)</td> <td>4</td> <td>A, B, C, D 計器用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器内の水位</td> <td>1次冷却系統スレーブ水位**</td> <td>4次冷却材温度（広域一監視側） 1次冷却材温度（広域一監視側）</td> <td>T.P.22.51~ T.P.23.186</td> <td>2</td> <td>E 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>炉心出口温度**</td> <td>—</td> <td>99~1300℃</td> <td>39</td> <td>B 直流電源 *3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生ポンプ出口圧力**</td> <td>—</td> <td>0~5.0MPa(gage)</td> <td>2</td> <td>E 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>オフホール電圧**</td> <td>—</td> <td>-200~200℃</td> <td>2</td> <td>E 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日一格納容器スプレッド流量**</td> <td>燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> <td>0~100m³/h</td> <td>1</td> <td>E 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> <td>0~70m³/h</td> <td>1</td> <td>E 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧タンク圧力**</td> <td>1次冷却材圧力（広域） 1次冷却材温度（広域一監視側）</td> <td>0~6.0MPa(gage)</td> <td>6</td> <td>E 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧タンク水位**</td> <td>1次冷却材圧力（広域） 1次冷却材温度（広域一監視側）</td> <td>0~10%</td> <td>6</td> <td>E 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器スプレッド流量**</td> <td>燃料冷却器排水ピット水位 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> <td>0~100m³/h</td> <td>2</td> <td>E 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>定てん流量**</td> <td>燃料冷却器排水ピット水位 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> <td>0~70m³/h</td> <td>1</td> <td>E 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>格納容器圧力（広域）**</td> <td>-10~ 30kPa(gage)</td> <td>1</td> <td>E 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>ガス分析計による水素濃度**</td> <td>0~100vol%</td> <td>1</td> <td>A1 原子炉 コントロール</td> </tr> <tr> <td></td> <td>デュラス内の水素濃度</td> <td>デュラス水素濃度（可搬型）</td> <td>0~20vol%</td> <td>1</td> <td>B 計器用電源</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：分類のうち、有効な監視パラメータとしてのみ使用する。 *2：分類のうち、常用代替監視パラメータとしてのみ使用する。 *3：非常時、E計器用電源より給電する。</p>	分類	有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	重要代替計器	計測範囲	個数	電源	原子炉容器内の温度	炉心出口温度	1次冷却材温度（広域一監視側） 1次冷却材温度（広域一監視側）	99~1300℃	39	B 直流電源 *3	原子炉容器内の圧力	加圧器圧力	1次冷却材圧力（広域）	11.9~ 17.5MPa(gage)	4	A, B, C, D 計器用電源	原子炉容器内の水位	1次冷却系統スレーブ水位**	4次冷却材温度（広域一監視側） 1次冷却材温度（広域一監視側）	T.P.22.51~ T.P.23.186	2	E 計器用電源		炉心出口温度**	—	99~1300℃	39	B 直流電源 *3		蒸気発生ポンプ出口圧力**	—	0~5.0MPa(gage)	2	E 計器用電源		オフホール電圧**	—	-200~200℃	2	E 計器用電源		日一格納容器スプレッド流量**	燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~100m ³ /h	1	E 計器用電源		原子炉格納容器内の注水量	燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~70m ³ /h	1	E 計器用電源		加圧タンク圧力**	1次冷却材圧力（広域） 1次冷却材温度（広域一監視側）	0~6.0MPa(gage)	6	E 計器用電源		加圧タンク水位**	1次冷却材圧力（広域） 1次冷却材温度（広域一監視側）	0~10%	6	E 計器用電源		格納容器スプレッド流量**	燃料冷却器排水ピット水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~100m ³ /h	2	E 計器用電源		定てん流量**	燃料冷却器排水ピット水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~70m ³ /h	1	E 計器用電源		原子炉格納容器内の温度	—	—	—	—		原子炉格納容器内の圧力	格納容器圧力（広域）**	-10~ 30kPa(gage)	1	E 計器用電源		原子炉格納容器内の水位	—	—	—	—		原子炉格納容器内の水素濃度	ガス分析計による水素濃度**	0~100vol%	1	A1 原子炉 コントロール		デュラス内の水素濃度	デュラス水素濃度（可搬型）	0~20vol%	1	B 計器用電源	<p>第1.15.4表 有効な監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替監視パラメータを計測する常用代替計器（多様性拡張設備）（1/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ</th> <th>重要代替計器</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉容器内の温度</td> <td>炉心出口温度</td> <td>1次冷却材温度（広域） 1次冷却材温度（広域）</td> <td>49~450℃</td> <td>39</td> <td>E, G, 非計器用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器内の圧力</td> <td>加圧器圧力</td> <td>1次冷却材圧力</td> <td>11.9~17.5MPa(gage)</td> <td>4</td> <td>A, B, C, D 計器用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器内の水位</td> <td>炉心出口温度**</td> <td>—</td> <td>0~7.0MPa(gage)</td> <td>6</td> <td>E 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生ポンプ出口圧力**</td> <td>—</td> <td>0~5.0MPa(gage)</td> <td>2</td> <td>B, C 計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> <td>0~70m³/h</td> <td>1</td> <td>B 非計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧タンク圧力**</td> <td>1次冷却材圧力 1次冷却材温度（広域）</td> <td>0~7.0MPa(gage)</td> <td>6</td> <td>C, D 非計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧タンク水位**</td> <td>1次冷却材圧力 1次冷却材温度（広域）</td> <td>0~60.0%</td> <td>6</td> <td>C, D 非計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> <td>0~70m³/h</td> <td>2</td> <td>C, D 非計器用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>ガス分析計による水素濃度**</td> <td>—</td> <td>0~100vol%</td> <td>1</td> <td>D 原子炉コントロールセンサ</td> </tr> <tr> <td>デュラス内の水素濃度</td> <td>デュラス水素濃度</td> <td>デュラス水素濃度（可搬型）</td> <td>0~20vol%</td> <td>1</td> <td>B 流注電源**</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器入口エアモニタ</td> <td>格納容器入口エアモニタ（格納容器）</td> <td>1~10⁶ppm</td> <td>1</td> <td>E 非計器用電源</td> </tr> <tr> <td></td> <td>炉内排気装置エアモニタ</td> <td>炉内排気装置エアモニタ（格納容器）</td> <td>1~10⁶ppm</td> <td>1</td> <td>E 非計器用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量</td> <td>格納容器入口エアモニタ</td> <td>格納容器入口エアモニタ（格納容器）</td> <td>10~30⁷cpm</td> <td>1</td> <td>E 非計器用電源 C1 原子炉コントロールセンサ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器入口エアモニタ</td> <td>格納容器入口エアモニタ（格納容器）</td> <td>10~30⁷cpm</td> <td>1</td> <td>E 非計器用電源 C1 原子炉コントロールセンサ</td> </tr> <tr> <td>中継線での中性子検出率</td> <td>中継線での中性子検出率</td> <td>中継線での中性子検出率</td> <td>-3.2~5.000%</td> <td>2</td> <td>D 非計器用電源</td> </tr> <tr> <td>中継線での中性子検出率</td> <td>中継線での中性子検出率</td> <td>中継線での中性子検出率</td> <td>-3.2~5.000%</td> <td>2</td> <td>D 非計器用電源</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：分類のうち、有効な監視パラメータとしてのみ使用する。 *2：分類のうち、常用代替監視パラメータとしてのみ使用する。 *3：非常時、B流注電源より給電する。</p>	分類	有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	重要代替計器	計測範囲	個数	電源	原子炉容器内の温度	炉心出口温度	1次冷却材温度（広域） 1次冷却材温度（広域）	49~450℃	39	E, G, 非計器用電源	原子炉容器内の圧力	加圧器圧力	1次冷却材圧力	11.9~17.5MPa(gage)	4	A, B, C, D 計器用電源	原子炉容器内の水位	炉心出口温度**	—	0~7.0MPa(gage)	6	E 計器用電源		蒸気発生ポンプ出口圧力**	—	0~5.0MPa(gage)	2	B, C 計器用電源		原子炉格納容器への注水量	燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~70m ³ /h	1	B 非計器用電源		加圧タンク圧力**	1次冷却材圧力 1次冷却材温度（広域）	0~7.0MPa(gage)	6	C, D 非計器用電源		加圧タンク水位**	1次冷却材圧力 1次冷却材温度（広域）	0~60.0%	6	C, D 非計器用電源		原子炉格納容器への注水量	燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~70m ³ /h	2	C, D 非計器用電源	原子炉格納容器内の温度	—	—	—	—	—	原子炉格納容器内の圧力	—	—	—	—	—	原子炉格納容器内の水位	—	—	—	—	—	原子炉格納容器内の水素濃度	ガス分析計による水素濃度**	—	0~100vol%	1	D 原子炉コントロールセンサ	デュラス内の水素濃度	デュラス水素濃度	デュラス水素濃度（可搬型）	0~20vol%	1	B 流注電源**		格納容器入口エアモニタ	格納容器入口エアモニタ（格納容器）	1~10 ⁶ ppm	1	E 非計器用電源		炉内排気装置エアモニタ	炉内排気装置エアモニタ（格納容器）	1~10 ⁶ ppm	1	E 非計器用電源	原子炉格納容器内の放射線量	格納容器入口エアモニタ	格納容器入口エアモニタ（格納容器）	10~30 ⁷ cpm	1	E 非計器用電源 C1 原子炉コントロールセンサ		格納容器入口エアモニタ	格納容器入口エアモニタ（格納容器）	10~30 ⁷ cpm	1	E 非計器用電源 C1 原子炉コントロールセンサ	中継線での中性子検出率	中継線での中性子検出率	中継線での中性子検出率	-3.2~5.000%	2	D 非計器用電源	中継線での中性子検出率	中継線での中性子検出率	中継線での中性子検出率	-3.2~5.000%	2	D 非計器用電源	<p>記載方針の相違</p>
分類	有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	重要代替計器	計測範囲	個数	電源																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉容器内の温度	炉心出口温度	1次冷却材温度（広域一監視側） 1次冷却材温度（広域一監視側）	99~1300℃	39	B 直流電源 *3																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉容器内の圧力	加圧器圧力	1次冷却材圧力（広域）	11.9~ 17.5MPa(gage)	4	A, B, C, D 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉容器内の水位	1次冷却系統スレーブ水位**	4次冷却材温度（広域一監視側） 1次冷却材温度（広域一監視側）	T.P.22.51~ T.P.23.186	2	E 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	炉心出口温度**	—	99~1300℃	39	B 直流電源 *3																																																																																																																																																																																																																																			
	蒸気発生ポンプ出口圧力**	—	0~5.0MPa(gage)	2	E 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	オフホール電圧**	—	-200~200℃	2	E 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	日一格納容器スプレッド流量**	燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~100m ³ /h	1	E 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	原子炉格納容器内の注水量	燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~70m ³ /h	1	E 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	加圧タンク圧力**	1次冷却材圧力（広域） 1次冷却材温度（広域一監視側）	0~6.0MPa(gage)	6	E 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	加圧タンク水位**	1次冷却材圧力（広域） 1次冷却材温度（広域一監視側）	0~10%	6	E 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレッド流量**	燃料冷却器排水ピット水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~100m ³ /h	2	E 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	定てん流量**	燃料冷却器排水ピット水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~70m ³ /h	1	E 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	原子炉格納容器内の温度	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																			
	原子炉格納容器内の圧力	格納容器圧力（広域）**	-10~ 30kPa(gage)	1	E 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	原子炉格納容器内の水位	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																			
	原子炉格納容器内の水素濃度	ガス分析計による水素濃度**	0~100vol%	1	A1 原子炉 コントロール																																																																																																																																																																																																																																			
	デュラス内の水素濃度	デュラス水素濃度（可搬型）	0~20vol%	1	B 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
分類	有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	重要代替計器	計測範囲	個数	電源																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉容器内の温度	炉心出口温度	1次冷却材温度（広域） 1次冷却材温度（広域）	49~450℃	39	E, G, 非計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉容器内の圧力	加圧器圧力	1次冷却材圧力	11.9~17.5MPa(gage)	4	A, B, C, D 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉容器内の水位	炉心出口温度**	—	0~7.0MPa(gage)	6	E 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	蒸気発生ポンプ出口圧力**	—	0~5.0MPa(gage)	2	B, C 計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	原子炉格納容器への注水量	燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~70m ³ /h	1	B 非計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	加圧タンク圧力**	1次冷却材圧力 1次冷却材温度（広域）	0~7.0MPa(gage)	6	C, D 非計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	加圧タンク水位**	1次冷却材圧力 1次冷却材温度（広域）	0~60.0%	6	C, D 非計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	原子炉格納容器への注水量	燃料冷却器排水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環タンク水位（広域）	0~70m ³ /h	2	C, D 非計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉格納容器内の温度	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉格納容器内の圧力	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉格納容器内の水位	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉格納容器内の水素濃度	ガス分析計による水素濃度**	—	0~100vol%	1	D 原子炉コントロールセンサ																																																																																																																																																																																																																																			
デュラス内の水素濃度	デュラス水素濃度	デュラス水素濃度（可搬型）	0~20vol%	1	B 流注電源**																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器入口エアモニタ	格納容器入口エアモニタ（格納容器）	1~10 ⁶ ppm	1	E 非計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
	炉内排気装置エアモニタ	炉内排気装置エアモニタ（格納容器）	1~10 ⁶ ppm	1	E 非計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器入口エアモニタ	格納容器入口エアモニタ（格納容器）	10~30 ⁷ cpm	1	E 非計器用電源 C1 原子炉コントロールセンサ																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器入口エアモニタ	格納容器入口エアモニタ（格納容器）	10~30 ⁷ cpm	1	E 非計器用電源 C1 原子炉コントロールセンサ																																																																																																																																																																																																																																			
中継線での中性子検出率	中継線での中性子検出率	中継線での中性子検出率	-3.2~5.000%	2	D 非計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			
中継線での中性子検出率	中継線での中性子検出率	中継線での中性子検出率	-3.2~5.000%	2	D 非計器用電源																																																																																																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																										
		第1.15.4表 有効な監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替監視パラメータを計測する常用代替計器（多様性拡張設備）（2/3）	第1.15.4表 有効監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替監視パラメータを計測する常用代替計器（多様性拡張設備）（2/2）	記載方針の相違																																																																																																																																																																																																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ</th> <th>常用代替計器</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>モニタリングポスト*1 モニタリングステーション*2</td> <td>監視レンジ 監視レンジ</td> <td>5.7×10⁻⁴~ 1.6×10⁻⁴(mSv/h) 1.8×10⁻⁴~ 1.6×10⁻⁴(mSv/h)</td> <td>8</td> <td>E E</td> </tr> <tr> <td>エアロックエリアモニタ</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>1~10³µSv/h</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>1~10³µSv/h</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器じんあいモニタ*1</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器内放射線量率</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器内放射線量率</td> <td>中間領域中性子束</td> <td>中間領域中性子束</td> <td>-0.5~5.0dpm</td> <td>2</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>-0.5~5.0dpm</td> <td>2</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>-0.5~5.0dpm</td> <td>2</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内放射線量率</td> <td>原子炉格納容器内放射線量率 (AM用)*1</td> <td>原子炉格納容器内放射線量率 (可動型)</td> <td>0~1.00dpm</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>C、D-格納容器再循環ユニット 格納容器再循環ユニット</td> <td>格納容器内温度 原子炉格納容器内温度</td> <td>0~120℃</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度</td> <td>0~100℃</td> <td>2</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度</td> <td>0~100℃</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主蒸気流量</td> <td>主蒸気流量*1</td> <td>主蒸気ライン圧力 蒸気発生器水位 (快滅) 蒸気発生器水位 (広滅) 補助給水流量</td> <td>0~2000t/h</td> <td>9</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ガスモニタ*1</td> <td>蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウンモニタ*1</td> <td>蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">格納容器パイプの監視</td> <td>高感度型主蒸気モニタ*1</td> <td>蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力</td> <td>1~10³cpm</td> <td>3</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器ガスモニタ*1</td> <td>1次冷却器圧力 (広滅)</td> <td rowspan="3">10~10³cpm</td> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (広滅) 蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力</td> </tr> </tbody> </table>	分類	有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	常用代替計器	計測範囲	個数	電源	原子炉格納容器内の放射線量率	モニタリングポスト*1 モニタリングステーション*2	監視レンジ 監視レンジ	5.7×10 ⁻⁴ ~ 1.6×10 ⁻⁴ (mSv/h) 1.8×10 ⁻⁴ ~ 1.6×10 ⁻⁴ (mSv/h)	8	E E	エアロックエリアモニタ	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	1~10 ³ µSv/h	1	E 計装用電源	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	1~10 ³ µSv/h	1	E 計装用電源	格納容器じんあいモニタ*1	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	格納容器内放射線量率	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	格納容器内放射線量率	中間領域中性子束	中間領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源	中性子源領域中性子束	中性子源領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源	中性子源領域中性子束	中性子源領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源	原子炉格納容器内放射線量率	原子炉格納容器内放射線量率 (AM用)*1	原子炉格納容器内放射線量率 (可動型)	0~1.00dpm	1	—	C、D-格納容器再循環ユニット 格納容器再循環ユニット	格納容器内温度 原子炉格納容器内温度	0~120℃	2	—	C、D-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度	0~100℃	2	E 計装用電源	B-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度	0~100℃	1	E 計装用電源	主蒸気流量	主蒸気流量*1	主蒸気ライン圧力 蒸気発生器水位 (快滅) 蒸気発生器水位 (広滅) 補助給水流量	0~2000t/h	9	E 計装用電源	蒸気発生器ガスモニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	蒸気発生器ブローダウンモニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源	格納容器パイプの監視	高感度型主蒸気モニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	1~10 ³ cpm	3	E 計装用電源	格納容器ガスモニタ*1	1次冷却器圧力 (広滅)	10~10 ³ cpm	2	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	加圧器水位	格納容器再循環ポンプ水位 (広滅) 蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ</th> <th>常用代替計器</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">格納容器内放射線量率</td> <td>モニタリングポスト*1 モニタリングステーション*2</td> <td>監視レンジ 監視レンジ</td> <td>5.7×10⁻⁴~ 1.6×10⁻⁴(mSv/h) 1.8×10⁻⁴~ 1.6×10⁻⁴(mSv/h)</td> <td>8</td> <td>E E</td> </tr> <tr> <td>エアロックエリアモニタ</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>1~10³µSv/h</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>1~10³µSv/h</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器じんあいモニタ*1</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器内放射線量率</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器内放射線量率</td> <td>中間領域中性子束</td> <td>中間領域中性子束</td> <td>-0.5~5.0dpm</td> <td>2</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>-0.5~5.0dpm</td> <td>2</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>-0.5~5.0dpm</td> <td>2</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内放射線量率</td> <td>原子炉格納容器内放射線量率 (AM用)*1</td> <td>原子炉格納容器内放射線量率 (可動型)</td> <td>0~1.00dpm</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>C、D-格納容器再循環ユニット 格納容器再循環ユニット</td> <td>格納容器内温度 原子炉格納容器内温度</td> <td>0~120℃</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>C、D-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度</td> <td>0~100℃</td> <td>2</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度</td> <td>0~100℃</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主蒸気流量</td> <td>主蒸気流量*1</td> <td>主蒸気ライン圧力 蒸気発生器水位 (快滅) 蒸気発生器水位 (広滅) 補助給水流量</td> <td>0~2000t/h</td> <td>9</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ガスモニタ*1</td> <td>蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウンモニタ*1</td> <td>蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力</td> <td>10~10³cpm</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">格納容器パイプの監視</td> <td>高感度型主蒸気モニタ*1</td> <td>蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力</td> <td>1~10³cpm</td> <td>3</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器ガスモニタ*1</td> <td>1次冷却器圧力 (広滅)</td> <td rowspan="3">10~10³cpm</td> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (広滅) 蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力</td> </tr> </tbody> </table>	分類	有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	常用代替計器	計測範囲	個数	電源	格納容器内放射線量率	モニタリングポスト*1 モニタリングステーション*2	監視レンジ 監視レンジ	5.7×10 ⁻⁴ ~ 1.6×10 ⁻⁴ (mSv/h) 1.8×10 ⁻⁴ ~ 1.6×10 ⁻⁴ (mSv/h)	8	E E	エアロックエリアモニタ	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	1~10 ³ µSv/h	1	E 計装用電源	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	1~10 ³ µSv/h	1	E 計装用電源	格納容器じんあいモニタ*1	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	格納容器内放射線量率	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	格納容器内放射線量率	中間領域中性子束	中間領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源	中性子源領域中性子束	中性子源領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源	中性子源領域中性子束	中性子源領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源	原子炉格納容器内放射線量率	原子炉格納容器内放射線量率 (AM用)*1	原子炉格納容器内放射線量率 (可動型)	0~1.00dpm	1	—	C、D-格納容器再循環ユニット 格納容器再循環ユニット	格納容器内温度 原子炉格納容器内温度	0~120℃	2	—	C、D-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度	0~100℃	2	E 計装用電源	B-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度	0~100℃	1	E 計装用電源	主蒸気流量	主蒸気流量*1	主蒸気ライン圧力 蒸気発生器水位 (快滅) 蒸気発生器水位 (広滅) 補助給水流量	0~2000t/h	9	E 計装用電源	蒸気発生器ガスモニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	蒸気発生器ブローダウンモニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源	格納容器パイプの監視	高感度型主蒸気モニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	1~10 ³ cpm	3	E 計装用電源	格納容器ガスモニタ*1	1次冷却器圧力 (広滅)	10~10 ³ cpm	2	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E	加圧器水位	格納容器再循環ポンプ水位 (広滅) 蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	記載方針の相違
分類	有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	常用代替計器	計測範囲	個数	電源																																																																																																																																																																																																																									
原子炉格納容器内の放射線量率	モニタリングポスト*1 モニタリングステーション*2	監視レンジ 監視レンジ	5.7×10 ⁻⁴ ~ 1.6×10 ⁻⁴ (mSv/h) 1.8×10 ⁻⁴ ~ 1.6×10 ⁻⁴ (mSv/h)	8	E E																																																																																																																																																																																																																									
	エアロックエリアモニタ	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	1~10 ³ µSv/h	1	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	1~10 ³ µSv/h	1	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器じんあいモニタ*1	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
格納容器内放射線量率	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
格納容器内放射線量率	中間領域中性子束	中間領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	中性子源領域中性子束	中性子源領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	中性子源領域中性子束	中性子源領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
原子炉格納容器内放射線量率	原子炉格納容器内放射線量率 (AM用)*1	原子炉格納容器内放射線量率 (可動型)	0~1.00dpm	1	—																																																																																																																																																																																																																									
	C、D-格納容器再循環ユニット 格納容器再循環ユニット	格納容器内温度 原子炉格納容器内温度	0~120℃	2	—																																																																																																																																																																																																																									
	C、D-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度	0~100℃	2	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	B-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度	0~100℃	1	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
主蒸気流量	主蒸気流量*1	主蒸気ライン圧力 蒸気発生器水位 (快滅) 蒸気発生器水位 (広滅) 補助給水流量	0~2000t/h	9	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	蒸気発生器ガスモニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
	蒸気発生器ブローダウンモニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
格納容器パイプの監視	高感度型主蒸気モニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	1~10 ³ cpm	3	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器ガスモニタ*1	1次冷却器圧力 (広滅)	10~10 ³ cpm	2	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
		加圧器水位																																																																																																																																																																																																																												
		格納容器再循環ポンプ水位 (広滅) 蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力																																																																																																																																																																																																																												
分類	有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	常用代替計器	計測範囲	個数	電源																																																																																																																																																																																																																									
格納容器内放射線量率	モニタリングポスト*1 モニタリングステーション*2	監視レンジ 監視レンジ	5.7×10 ⁻⁴ ~ 1.6×10 ⁻⁴ (mSv/h) 1.8×10 ⁻⁴ ~ 1.6×10 ⁻⁴ (mSv/h)	8	E E																																																																																																																																																																																																																									
	エアロックエリアモニタ	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	1~10 ³ µSv/h	1	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	1~10 ³ µSv/h	1	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器じんあいモニタ*1	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
格納容器内放射線量率	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	格納容器内監視レンジエリアモニタ (監視レンジ)	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
格納容器内放射線量率	中間領域中性子束	中間領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	中性子源領域中性子束	中性子源領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	中性子源領域中性子束	中性子源領域中性子束	-0.5~5.0dpm	2	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
原子炉格納容器内放射線量率	原子炉格納容器内放射線量率 (AM用)*1	原子炉格納容器内放射線量率 (可動型)	0~1.00dpm	1	—																																																																																																																																																																																																																									
	C、D-格納容器再循環ユニット 格納容器再循環ユニット	格納容器内温度 原子炉格納容器内温度	0~120℃	2	—																																																																																																																																																																																																																									
	C、D-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度	0~100℃	2	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	B-原子炉格納容器再循環ユニット 出口温度	格納容器再循環ユニット入口温度/ 出口温度	0~100℃	1	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
主蒸気流量	主蒸気流量*1	主蒸気ライン圧力 蒸気発生器水位 (快滅) 蒸気発生器水位 (広滅) 補助給水流量	0~2000t/h	9	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	蒸気発生器ガスモニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
	蒸気発生器ブローダウンモニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	10~10 ³ cpm	1	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
格納容器パイプの監視	高感度型主蒸気モニタ*1	蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力	1~10 ³ cpm	3	E 計装用電源																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器ガスモニタ*1	1次冷却器圧力 (広滅)	10~10 ³ cpm	2	E 計装用電源 E 原子炉冷却系 E																																																																																																																																																																																																																									
		加圧器水位																																																																																																																																																																																																																												
		格納容器再循環ポンプ水位 (広滅) 蒸気発生器水位 (快滅) 主蒸気ライン圧力																																																																																																																																																																																																																												
		*1：分類のうち、有効な監視パラメータとしてのみ使用する。 *2：分類のうち、常用代替監視パラメータとしてのみ使用する。	*1：分類のうち、有効な監視パラメータとしてのみ使用する。 *2：分類のうち、常用代替監視パラメータとしてのみ使用する。																																																																																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																																					
		第1.15.4表 有効な監視パラメータを計測する常用計器及び常用代替監視パラメータを計測する常用代替計器（多様性拡張設備）（3/3）		記載方針の相違																																																																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ</th> <th>常用代替計器</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">格納容器内圧力の監視</td> <td rowspan="4">格納容器内圧力モニタ（高レンジ）**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="4">10~10³qpa</td> <td rowspan="4">1</td> <td rowspan="4">計装用電源 III 原子炉 331V-40V</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器内循環ポンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">格納容器内圧力モニタ（低レンジ）**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="4">10~10³qpa</td> <td rowspan="4">1</td> <td rowspan="4">計装用電源 III 原子炉 331V-40V</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器内循環ポンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補助循環ポンプタンク水位**</td> <td>加圧器水位</td> <td rowspan="4">0~100%</td> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="4">F 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内循環ポンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">格納容器バイパスの監視</td> <td rowspan="4">余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>加圧器水位</td> <td rowspan="4">0~5.0MPa[gage]</td> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="4">E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内循環ポンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">水源の確保</td> <td rowspan="2">加圧器圧力**</td> <td>—</td> <td>11.0~ 17.5MPa[gage]</td> <td>4</td> <td>A,B,C,D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="2">0~1.0MPa[gage]</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器過熱シタンク圧力**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="2">0~100%</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器過熱シタンク水位**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="2">0~100%</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器過熱シタンク温度**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="2">0~120℃</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">余熱除去冷却器入口温度**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="2">0~200℃</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">余熱除去冷却器出口温度**</td> <td>1次冷却材圧力（広域）</td> <td rowspan="2">0~200℃</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器ポンプ水位**</td> <td>—</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>A,B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ流量**</td> <td>—</td> <td>0~1200m³/h</td> <td>2</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器ポンプ水位**</td> <td>—</td> <td>0~70m³/h</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>緊急ほうげん圧入ライン流量**</td> <td>—</td> <td>0~30m³/h</td> <td>1</td> <td>E 計装用電源</td> </tr> </tbody> </table>	分類	有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	常用代替計器	計測範囲	個数	電源	格納容器内圧力の監視	格納容器内圧力モニタ（高レンジ）**	1次冷却材圧力（広域）	10~10 ³ qpa	1	計装用電源 III 原子炉 331V-40V	加圧器水位	格納容器内循環ポンプ水位（広域）	蒸気発生器水位（狭域）	格納容器内圧力モニタ（低レンジ）**	1次冷却材圧力（広域）	10~10 ³ qpa	1	計装用電源 III 原子炉 331V-40V	加圧器水位	格納容器内循環ポンプ水位（広域）	蒸気発生器水位（狭域）	補助循環ポンプタンク水位**	加圧器水位	0~100%	2	F 計装用電源	格納容器内循環ポンプ水位（広域）	蒸気発生器水位（狭域）	主蒸気ライン圧力	格納容器バイパスの監視	余熱除去ポンプ出口圧力	加圧器水位	0~5.0MPa[gage]	2	E 計装用電源	格納容器内循環ポンプ水位（広域）	蒸気発生器水位（狭域）	主蒸気ライン圧力	水源の確保	加圧器圧力**	—	11.0~ 17.5MPa[gage]	4	A,B,C,D 計装用電源	1次冷却材圧力（広域）	0~1.0MPa[gage]	1	計装用電源	加圧器水位	加圧器過熱シタンク圧力**	1次冷却材圧力（広域）	0~100%	1	計装用電源	加圧器水位	加圧器過熱シタンク水位**	1次冷却材圧力（広域）	0~100%	1	計装用電源	加圧器水位	加圧器過熱シタンク温度**	1次冷却材圧力（広域）	0~120℃	1	計装用電源	加圧器水位	余熱除去冷却器入口温度**	1次冷却材圧力（広域）	0~200℃	2	E 計装用電源	加圧器水位	余熱除去冷却器出口温度**	1次冷却材圧力（広域）	0~200℃	2	E 計装用電源	加圧器水位	格納容器ポンプ水位**	—	0~100%	2	A,B 計装用電源	格納容器スプレイ流量**	—	0~1200m ³ /h	2	E 計装用電源	格納容器ポンプ水位**	—	0~70m ³ /h	1	E 計装用電源	緊急ほうげん圧入ライン流量**	—	0~30m ³ /h	1	E 計装用電源		
分類	有効な監視パラメータ 常用代替監視パラメータ	常用代替計器	計測範囲	個数	電源																																																																																																				
格納容器内圧力の監視	格納容器内圧力モニタ（高レンジ）**	1次冷却材圧力（広域）	10~10 ³ qpa	1	計装用電源 III 原子炉 331V-40V																																																																																																				
		加圧器水位																																																																																																							
		格納容器内循環ポンプ水位（広域）																																																																																																							
		蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																							
	格納容器内圧力モニタ（低レンジ）**	1次冷却材圧力（広域）	10~10 ³ qpa	1	計装用電源 III 原子炉 331V-40V																																																																																																				
		加圧器水位																																																																																																							
		格納容器内循環ポンプ水位（広域）																																																																																																							
		蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																							
	補助循環ポンプタンク水位**	加圧器水位	0~100%	2	F 計装用電源																																																																																																				
		格納容器内循環ポンプ水位（広域）																																																																																																							
		蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																							
		主蒸気ライン圧力																																																																																																							
格納容器バイパスの監視	余熱除去ポンプ出口圧力	加圧器水位	0~5.0MPa[gage]	2	E 計装用電源																																																																																																				
		格納容器内循環ポンプ水位（広域）																																																																																																							
		蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																							
		主蒸気ライン圧力																																																																																																							
水源の確保	加圧器圧力**	—	11.0~ 17.5MPa[gage]	4	A,B,C,D 計装用電源																																																																																																				
		1次冷却材圧力（広域）	0~1.0MPa[gage]	1	計装用電源																																																																																																				
	加圧器水位																																																																																																								
	加圧器過熱シタンク圧力**	1次冷却材圧力（広域）	0~100%	1	計装用電源																																																																																																				
		加圧器水位																																																																																																							
	加圧器過熱シタンク水位**	1次冷却材圧力（広域）	0~100%	1	計装用電源																																																																																																				
		加圧器水位																																																																																																							
	加圧器過熱シタンク温度**	1次冷却材圧力（広域）	0~120℃	1	計装用電源																																																																																																				
		加圧器水位																																																																																																							
	余熱除去冷却器入口温度**	1次冷却材圧力（広域）	0~200℃	2	E 計装用電源																																																																																																				
		加圧器水位																																																																																																							
	余熱除去冷却器出口温度**	1次冷却材圧力（広域）	0~200℃	2	E 計装用電源																																																																																																				
加圧器水位																																																																																																									
格納容器ポンプ水位**	—	0~100%	2	A,B 計装用電源																																																																																																					
	格納容器スプレイ流量**	—	0~1200m ³ /h	2	E 計装用電源																																																																																																				
格納容器ポンプ水位**	—	0~70m ³ /h	1	E 計装用電源																																																																																																					
	緊急ほうげん圧入ライン流量**	—	0~30m ³ /h	1	E 計装用電源																																																																																																				
		**1：分類のうち、有効な監視パラメータとしてのみ使用する。 **2：分類のうち、常用代替監視パラメータとしてのみ使用する。																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表 r.3.0

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>第1.15.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (1/17)</p> <p>ケース1:同一物理量 (温度、圧力、水位、液量、液種、放射線量) による推定。 ケース2: 温度又は液量から圧力又は水位を推定する。 ケース3: 液量又は水位から圧力又は温度を推定することにより推定する。 ケース4: 放射線量から圧力、温度、放射線量を推定することにより推定する。 ケース5: 圧力又は温度から放射線量を推定することにより推定する。 ケース6: 放射線量から圧力、温度、放射線量を推定することにより推定する。 ケース7: 圧力、温度、放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース8: 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース9: 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース10: 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。</p>	<p>第1.15.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (1/16)</p> <p>【推定ケース】 ケース1 : 同一物理量で推定 (温度、圧力、水位、液量、放射線量) する。 ケース2 : 水位を液量若しくは圧力等の水位変化又は注入量から推定する。 ケース3 : 液量又は水位又は注水量の水位変化を推定することにより推定する。 ケース4 : 放射線量と温度、圧力等の放射線量から推定することにより推定する。 ケース5 : 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース6 : 放射線量と放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース7 : 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース8 : 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース9 : 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。</p> <p>なお、代替パラメータによる推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p>	<p>第1.15.6表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (1/15)</p> <p>【推定ケース】 ケース1 : 同一物理量で推定 (温度、圧力、水位、液量、放射線量) する。 ケース2 : 水位を液量若しくは圧力等の水位変化又は注入量から推定する。 ケース3 : 液量又は水位又は注水量の水位変化を推定することにより推定する。 ケース4 : 放射線量と温度、圧力等の放射線量から推定することにより推定する。 ケース5 : 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース6 : 放射線量と放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース7 : 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース8 : 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース9 : 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。</p> <p>なお、代替パラメータによる推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p>	<p>第1.15.6表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (1/10)</p> <p>【推定ケース】 ケース1 : 同一物理量 (温度、圧力、水位、液量、放射線量) から推定する。 ケース2 : 温度又は液量から圧力又は水位を推定することにより推定する。 ケース3 : 液量又は水位から圧力又は温度を推定することにより推定する。 ケース4 : 放射線量から圧力、温度、放射線量を推定することにより推定する。 ケース5 : 圧力又は温度から放射線量を推定することにより推定する。 ケース6 : 放射線量から圧力、温度、放射線量を推定することにより推定する。 ケース7 : 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース8 : 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。 ケース9 : 放射線量から放射線量を推定することにより推定する。</p>	<p>設備構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (3/17)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータの取得方法
原子炉圧力等	原子炉水位 (圧力側) 原子炉水位 (燃料側)	① 原子炉水位 (圧力側) ② 原子炉水位 (燃料側)	ケース1	① 原子炉水位 (圧力側) ② 原子炉水位 (燃料側)
		③ 原子炉水位 (燃料側)	ケース2	③ 原子炉水位 (燃料側)
原子炉圧力等	原子炉圧力 (圧力側) 原子炉圧力 (燃料側)	① 原子炉圧力 (圧力側) ② 原子炉圧力 (燃料側)	ケース1	① 原子炉圧力 (圧力側) ② 原子炉圧力 (燃料側)
		③ 原子炉圧力 (燃料側)	ケース2	③ 原子炉圧力 (燃料側)

※1：代替パラメータの番号は変更履歴を参照。
 ※2：1～11は任意監視パラメータ又は任意監視パラメータの常用計器。信頼性又は信頼性は異なるが、監視可能であれば発生異常時の状態を把握することが可能な計器を示す。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (圧1) の推定 (3/16)

分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータの取得方法
原子炉圧力等	高圧注入流量	① 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ② 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ③ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース1 ケース3	・高圧注入流量の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位及び高圧注入流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。
		④ 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ⑤ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース1 ケース3	・燃料冷却管使用水ベクトル水位の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。
原子炉圧力等	高圧注入流量	① 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ② 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ③ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース1 ケース3	・燃料冷却管使用水ベクトル水位の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。
		④ 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ⑤ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース1 ケース3	・燃料冷却管使用水ベクトル水位の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。

番号：代替パラメータの番号は変更履歴を参照。
 【1】：多相流監視設備。 ※1 監視は、信頼性の高いパラメータ。 ※2 監視は、信頼性がなく、常用監視のパラメータ。
 【2】：主要パラメータを計測する用途に多相流監視設備の重要代替パラメータを示す。
 【3】：常用代替計器を示す。
 (注1)：ここでは主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び重要な監視パラメータを示す。

第 1.15.6 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (3/15)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータの取得方法
原子炉圧力等	高圧注入流量	① 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ② 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ③ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース3	・高圧注入流量の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位及び高圧注入流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。
		④ 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ⑤ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース3	・燃料冷却管使用水ベクトル水位の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。
原子炉圧力等	高圧注入流量	① 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ② 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ③ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース3	・高圧注入流量の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位及び高圧注入流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。
		④ 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ⑤ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース3	・燃料冷却管使用水ベクトル水位の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。

番号：代替パラメータの番号は変更履歴を参照。
 【1】：多相流監視設備。 ※1 監視は、信頼性の高いパラメータ。 ※2 監視は、信頼性がなく、常用監視のパラメータ。
 【2】：主要パラメータを計測する用途に多相流監視設備の重要代替パラメータを示す。
 【3】：常用代替計器を示す。
 (注1)：ここでは主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び重要な監視パラメータを示す。

第 1.15.6 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (3/16)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータの取得方法
原子炉圧力等	高圧注入流量	① 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ② 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ③ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース3	・高圧注入流量の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位及び高圧注入流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。
		④ 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ⑤ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース3	・燃料冷却管使用水ベクトル水位の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。
原子炉圧力等	高圧注入流量	① 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ② 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ③ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース3	・高圧注入流量の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位及び高圧注入流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。
		④ 燃料冷却管使用水ベクトル水位 ⑤ 燃料冷却管使用水ベクトル水位	ケース3	・燃料冷却管使用水ベクトル水位の計測が困難となった場合は、燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ・LOCAが発生した場合には燃料冷却管使用水ベクトル水位 (圧力側) の水位変化により注水量を推定する。

番号：代替パラメータの番号は変更履歴を参照。
 【1】：多相流監視設備。 ※1 監視は、信頼性の高いパラメータ。 ※2 監視は、信頼性がなく、常用監視のパラメータ。
 【2】：主要パラメータを計測する用途に多相流監視設備の重要代替パラメータを示す。
 【3】：常用代替計器を示す。
 (注1)：ここでは主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び重要な監視パラメータを示す。

差異理由

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第1.15-3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (4/17)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器への注水量	高圧代替注水ポンプ出口流量	① 高圧代替注水ポンプ水位 (広域域) ② 原子炉水位 (燃料域) ③ 原子炉水位 (SA広域域) ④ 原子炉水位 (SS燃料域)	ケース3	① 高圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、本所である高圧代替注水ポンプ水位の推定による注水量を推定する。なお、高圧代替注水ポンプの運転状況も考慮して注水量を推定する。 ② 高圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、原子炉水位の推定による注水量を推定する。 ③ 高圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、高圧代替注水ポンプ水位 (広域域) の推定による注水量を推定する。なお、高圧代替注水ポンプの運転状況も考慮して注水量を推定する。 ④ 高圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、原子炉水位の推定による注水量を推定する。
	低圧代替注水ポンプ出口流量	① 低圧代替注水ポンプ水位 (広域域) ② 原子炉水位 (燃料域) ③ 原子炉水位 (SA広域域) ④ 原子炉水位 (SS燃料域)	ケース3	① 低圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、本所である低圧代替注水ポンプ水位の推定による注水量を推定する。なお、低圧代替注水ポンプの運転状況も考慮して注水量を推定する。 ② 低圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、原子炉水位の推定による注水量を推定する。 ③ 低圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、低圧代替注水ポンプ水位 (広域域) の推定による注水量を推定する。なお、低圧代替注水ポンプの運転状況も考慮して注水量を推定する。 ④ 低圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、原子炉水位の推定による注水量を推定する。
原子炉圧力容器への注水量	高圧代替注水ポンプ出口流量	① 高圧代替注水ポンプ水位 (広域域) ② 原子炉水位 (燃料域) ③ 原子炉水位 (SA広域域) ④ 原子炉水位 (SS燃料域)	ケース3	① 高圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、本所である高圧代替注水ポンプ水位の推定による注水量を推定する。なお、高圧代替注水ポンプの運転状況も考慮して注水量を推定する。 ② 高圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、原子炉水位の推定による注水量を推定する。 ③ 高圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、高圧代替注水ポンプ水位 (広域域) の推定による注水量を推定する。なお、高圧代替注水ポンプの運転状況も考慮して注水量を推定する。 ④ 高圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、原子炉水位の推定による注水量を推定する。
	低圧代替注水ポンプ出口流量	① 低圧代替注水ポンプ水位 (広域域) ② 原子炉水位 (燃料域) ③ 原子炉水位 (SA広域域) ④ 原子炉水位 (SS燃料域)	ケース3	① 低圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、本所である低圧代替注水ポンプ水位の推定による注水量を推定する。なお、低圧代替注水ポンプの運転状況も考慮して注水量を推定する。 ② 低圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、原子炉水位の推定による注水量を推定する。 ③ 低圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、低圧代替注水ポンプ水位 (広域域) の推定による注水量を推定する。なお、低圧代替注水ポンプの運転状況も考慮して注水量を推定する。 ④ 低圧代替注水ポンプ出口流量の推定が不可能となった場合は、原子炉水位の推定による注水量を推定する。

第1.15.3表 代替パラメータによる主要パラメータ (注1) の推定 (4/16)

分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器への注水量	【充てん流量】※2	① 燃料取替水ピット水位【重】 ② 加圧器水位【重】 ③ 原子炉水位【重】	ケース3	・ 充てん流量 (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、燃料取替水ピット水位又は加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、水源である燃料取替水ピット水位、加圧器水位の加圧器水位の傾向監視に優先して使用する。また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。
	【蓄圧タンク圧力】※1	① 1次冷却器圧力【重】 ① 1次冷却器温度 (広域)【重】	ケース4	・ 蓄圧タンク圧力 (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、1次冷却器圧力及び1次冷却器温度 (広域) の傾向監視により蓄圧タンクからの注水量を推定する。
	【蓄圧タンク水位】※1	① 1次冷却器圧力【重】 ① 1次冷却器温度 (広域)【重】	ケース4	・ 蓄圧タンク水位 (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、1次冷却器圧力及び1次冷却器温度 (広域) の傾向監視により蓄圧タンクからの注水量を推定する。
	【AM用前大水量】※2	① 全熱除去流量【重】 ② 加圧器水位【重】 ③ 原子炉水位【重】	ケース1 ケース3	・ AM用前大水量 (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、全熱除去流量又は、加圧器水位、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、原子炉圧力容器への注水量を推定設備でできる全熱除去流量を優先する。

※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。
 【重】：多様性拡張設備、※1耐震性、耐震域性が無いパラメータ、※2耐震性、耐震域性がなく、常用電源のパラメータ
 【注】：主要パラメータを推定する計器が多様性拡張設備の主要代替パラメータを示す。
 (注1)：ここでは主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを示す。

第1.15.6表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (4/15)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器への注水量	【充てん流量】※2	① 燃料取替水ピット水位 ② 加圧器水位 ③ 原子炉水位 ④ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	ケース3	・ 充てん流量 (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、水源である燃料取替水ピット水位、加圧器水位及び原子炉水位の水位変化により注水量を推定する。 推定は、環境悪化の影響を受けることが小さい注水量である燃料取替水ピット水位を優先して使用する。 ・ LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の水位変化により注水量を推定する。 ・ 蓄圧タンク圧力 (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、1次冷却器圧力 (広域) 及び1次冷却器温度 (広域-低温側) の傾向監視により蓄圧タンクからの注水量を推定する。
	【蓄圧タンク圧力】※2	① 1次冷却器圧力 (広域) ① 1次冷却器温度 (広域-低温側)	ケース4	・ 蓄圧タンク圧力 (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、1次冷却器圧力 (広域) 及び1次冷却器温度 (広域-低温側) の傾向監視により蓄圧タンクからの注水量を推定する。
原子炉圧力容器への注水量	【蓄圧タンク水位】※2	① 1次冷却器圧力 (広域) ① 1次冷却器温度 (広域-低温側)	ケース4	・ 蓄圧タンク水位 (多様性拡張設備) の計測が困難となった場合は、1次冷却器圧力 (広域) 及び1次冷却器温度 (広域-低温側) の傾向監視により蓄圧タンクからの注水量を推定する。

番号：代替パラメータの番号は優先順位を示す。
 ※1耐震性、耐震域性が無いパラメータ、※2耐震性、耐震域性がなく、常用電源のパラメータ
 【重】：有効な監視パラメータ又は常用代替監視パラメータを示す。

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第1.15-3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (5/17)

Table with 4 columns: 分類 (Classification), 主要パラメータ (Main Parameter), 代替パラメータ (Replacement Parameter), 推定ケース (Estimation Case). Rows include parameters like 炉内圧力制御用冷却ポンプ出口流量 (Reactor pressure control cooling pump outlet flow) and 炉内圧力制御用水位 (Reactor pressure control water level).

※1：代替パラメータの推定は優先順位を示す。
※2：「1」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（新機材又は新機材等ではないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。

第1.15.3表 代替パラメータによる主要パラメータ (4/11) の推定 (5/16)

Table with 4 columns: 分類 (Classification), 主要パラメータ (Main Parameter), 代替パラメータ (Replacement Parameter), 推定ケース (Estimation Case). Rows include parameters like 燃料棒温度監視システム監視機能 (Fuel rod temperature monitoring system monitoring function) and 炉内圧力制御用水位 (Reactor pressure control water level).

※ 号：代替パラメータの優先順位を優先順位を示す。
※1：有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（新機材又は新機材等ではないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。
※2：「1」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（新機材又は新機材等ではないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。

第1.15.6表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (5/15)

Table with 4 columns: 分類 (Classification), 主要パラメータ (Main Parameter), 代替パラメータ (Replacement Parameter), 推定ケース (Estimation Case). Rows include parameters like 炉内圧力制御用水位 (Reactor pressure control water level) and 炉内圧力制御用水位 (Reactor pressure control water level).

※号：代替パラメータの優先順位を優先順位を示す。
※1：有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（新機材又は新機材等ではないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。
※2：「1」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（新機材又は新機材等ではないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。

第1.15.6表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (4/10)

Table with 4 columns: 分類 (Classification), 主要パラメータ (Main Parameter), 代替パラメータ (Replacement Parameter), 推定ケース (Estimation Case). Rows include parameters like 炉内圧力制御用水位 (Reactor pressure control water level) and 炉内圧力制御用水位 (Reactor pressure control water level).

※ 号：代替パラメータの優先順位を優先順位を示す。
※1：有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（新機材又は新機材等ではないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。
※2：「1」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（新機材又は新機材等ではないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (6/17)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器内温度	① 格納容器内温度	① 原子炉格納容器内温度	ケース1	格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの格納容器内温度により推定する。
	② 格納容器内温度	② 原子炉格納容器内温度	ケース6	格納容器内温度の計装が故障となった場合は、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力(圧縮)又はAM用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、詳細な値を把握できず、格納容器内温度が飽和状態であることを示す。
原子炉格納容器内の圧力	① 原子炉格納容器内の圧力	① 原子炉格納容器内の圧力	ケース1	原子炉格納容器内の圧力が故障した場合は、他チャンネルの格納容器圧力(圧縮)により推定する。
	② 原子炉格納容器内の圧力	② 原子炉格納容器内の圧力	ケース6	原子炉格納容器内の圧力が故障した場合は、AM用格納容器圧力、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) により圧力を推定する。また、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (注1) の推定 (6/16)

大飯発電所3/4号炉

分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器内温度	① 主要パラメータの他チャンネル	① 主要パラメータの他チャンネル	ケース1	格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの格納容器内温度により推定する。
	② 格納容器圧力(圧縮)	② 格納容器圧力(圧縮)	ケース6	格納容器内温度の計装が故障となった場合は、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力(圧縮)又はAM用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、詳細な値を把握できず、格納容器内温度が飽和状態であることを示す。
原子炉格納容器内の圧力	① 主要パラメータの他チャンネル	① 主要パラメータの他チャンネル	ケース1	原子炉格納容器内の圧力が故障した場合は、他チャンネルの格納容器圧力(圧縮)により推定する。
	② 格納容器圧力(圧縮)	② 格納容器圧力(圧縮)	ケース6	原子炉格納容器内の圧力が故障した場合は、AM用格納容器圧力、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) により圧力を推定する。また、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (注1) の推定 (6/16)

泊発電所3号炉

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器内温度	① 格納容器内温度	① 原子炉格納容器内温度	ケース1	格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの格納容器内温度により推定する。
	② 格納容器内温度	② 原子炉格納容器内温度	ケース6	格納容器内温度の計装が故障となった場合は、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力(圧縮)又はAM用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、詳細な値を把握できず、格納容器内温度が飽和状態であることを示す。
原子炉格納容器内の圧力	① 格納容器圧力(圧縮)	① 格納容器圧力(圧縮)	ケース1	原子炉格納容器内の圧力が故障した場合は、他チャンネルの格納容器圧力(圧縮)により推定する。
	② 格納容器内温度	② 格納容器内温度	ケース6	原子炉格納容器内の圧力が故障した場合は、AM用格納容器圧力、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) により圧力を推定する。また、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (注1) の推定 (6/16)

伊方発電所3号炉

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器内温度	① 格納容器内温度	① 原子炉格納容器内温度	ケース1	格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの格納容器内温度により推定する。
	② 格納容器内温度	② 原子炉格納容器内温度	ケース6	格納容器内温度の計装が故障となった場合は、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力(圧縮)又はAM用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、詳細な値を把握できず、格納容器内温度が飽和状態であることを示す。
原子炉格納容器内の圧力	① 格納容器圧力(圧縮)	① 格納容器圧力(圧縮)	ケース1	原子炉格納容器内の圧力が故障した場合は、他チャンネルの格納容器圧力(圧縮)により推定する。
	② 格納容器内温度	② 格納容器内温度	ケース6	原子炉格納容器内の圧力が故障した場合は、AM用格納容器圧力、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) により圧力を推定する。また、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、格納容器圧力(圧縮) (多相性圧縮設備) を優先する。

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (7/17)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^{※1}	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉格納容器内の温度	ドライウエル温度	①主要パラメータの他の検出器 ②ドライウエルの圧力 ③圧力調整室圧力	ケース① ケース②	①ドライウエルの温度の1つの検出器が故障した場合、他の検出器により推定する。 ②ドライウエルの温度の検出器が不可用となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用してドライウエルの圧力によりドライウエルの温度を推定する。 ③ドライウエルの温度の検出器が不可用となった場合は、圧力調整室圧力により上記と同様にドライウエルの温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他の検出器を優先する。
	圧力調整室内空気温度	①主要パラメータの他の検出器 ②サブプレッシャコンポールド水温度 ③圧力調整室圧力	ケース① ケース②	①圧力調整室内空気温度の1つの検出器が故障した場合は、他の検出器により推定する。 ②サブプレッシャコンポールド水温度の検出器が不可用となった場合は、サブプレッシャコンポールド水温度により圧力調整室内空気温度を推定する。 ③圧力調整室圧力により圧力調整室内空気温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他の検出器を優先する。
原子炉格納容器下部温度	サブプレッシャコンポールド水温度	①主要パラメータの他の検出器 ②圧力調整室内空気温度	ケース①	①サブプレッシャコンポールド水温度の1つの検出器が故障した場合は、他の検出器により推定する。 ②圧力調整室内空気温度の検出器が不可用となった場合は、圧力調整室内空気温度によりサブプレッシャコンポールド水温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他の検出器を優先する。
	原子炉格納容器下部温度	①主要パラメータの他の検出器	ケース①	①原子炉格納容器下部温度の1チャンネルが故障した場合は、他のチャンネルにより推定する。

※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。
 ※2：上～下は有効な代替パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（新機性又は新機性等はないが、取替可能であれば重要監視用計器の状態を把握することが可能な計器）を示す。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (表1) の推定 (7/16)

分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉格納容器内の水位	格納容器内循環ポンプ水位(仮)	①主要パラメータの他のチャンネル ②格納容器内循環ポンプ水位(仮) ③原子炉下層キャビティ水位 ④原子炉格納容器水位 ⑤燃料冷却管用水レベル水位 ⑥凝水レベル水位 ⑦格納容器内循環ポンプ水位(仮)	ケース1 ケース2	・格納容器内循環ポンプ水位(仮)の計器が故障した場合は、他の格納容器内循環ポンプ水位(仮)により推定する。 ・格納容器内循環ポンプ水位(仮)の計器が故障となった場合は、測定範囲内であれば格納容器内循環ポンプ水位(仮)、原子炉下層キャビティ水位、原子炉格納容器水位及び水頭である燃料冷却管用水レベル水位、凝水レベル水位、日本橋測量である格納容器スプレッド層水位、燃料冷却管用水レベル水位、日本橋測量である格納容器スプレッド層水位、燃料冷却管用水レベル水位、日本橋測量である格納容器内循環ポンプ水位(仮)を優先する。 ・格納容器内循環ポンプ水位(仮)の計器が故障となった場合は、格納容器内循環ポンプ水位(仮)との関係性により水位を推定する。
	原子炉下層キャビティ水位	①格納容器内循環ポンプ水位(仮) ②燃料冷却管用水レベル水位 ③凝水レベル水位 ④格納容器スプレッド層水位 ⑤燃料冷却管用水レベル水位 ⑥凝水レベル水位 ⑦格納容器内循環ポンプ水位(仮)	ケース1 ケース2	・原子炉下層キャビティ水位の計器が故障した場合は、格納容器内循環ポンプ水位(仮)又は日本橋測量である燃料冷却管用水レベル水位、凝水レベル水位、燃料冷却管用水レベル水位、日本橋測量である格納容器内循環ポンプ水位(仮)を優先する。 ・原子炉下層キャビティ水位の計器が故障となった場合は、日本橋測量である燃料冷却管用水レベル水位、凝水レベル水位、燃料冷却管用水レベル水位、日本橋測量である格納容器内循環ポンプ水位(仮)により水位を推定する。 ・原子炉下層キャビティ水位の計器が故障となった場合は、日本橋測量である燃料冷却管用水レベル水位、凝水レベル水位、燃料冷却管用水レベル水位、日本橋測量である格納容器内循環ポンプ水位(仮)により水位を推定する。
原子炉格納容器内の水位	燃料冷却管用水レベル水位	①燃料冷却管用水レベル水位 ②凝水レベル水位 ③格納容器スプレッド層水位 ④燃料冷却管用水レベル水位 ⑤凝水レベル水位 ⑥格納容器内循環ポンプ水位(仮)	ケース1 ケース2	・原子炉格納容器内循環ポンプ水位(仮)の計器が故障した場合は、他の燃料冷却管用水レベル水位、凝水レベル水位、燃料冷却管用水レベル水位、日本橋測量である格納容器内循環ポンプ水位(仮)により水位を推定する。 ・燃料冷却管用水レベル水位の計器が故障した場合は、凝水レベル水位、燃料冷却管用水レベル水位、日本橋測量である格納容器内循環ポンプ水位(仮)により水位を推定する。
	凝水レベル水位	①燃料冷却管用水レベル水位 ②凝水レベル水位 ③格納容器スプレッド層水位 ④燃料冷却管用水レベル水位 ⑤凝水レベル水位 ⑥格納容器内循環ポンプ水位(仮)	ケース1 ケース2	・原子炉格納容器内循環ポンプ水位(仮)の計器が故障した場合は、他の燃料冷却管用水レベル水位、凝水レベル水位、燃料冷却管用水レベル水位、日本橋測量である格納容器内循環ポンプ水位(仮)により水位を推定する。 ・凝水レベル水位の計器が故障した場合は、燃料冷却管用水レベル水位、凝水レベル水位、日本橋測量である格納容器内循環ポンプ水位(仮)により水位を推定する。

※ 号：代替パラメータの番号は優先順位を示す。
 (注1)：本表は重要監視用計器、※1 新機性、※2 新機性、※3 新機性がないパラメータ、※4 新機性、※5 新機性がないパラメータ、※6 新機性、※7 新機性がないパラメータを示す。
 【注】：主要パラメータを内訳する計器が複数ある場合は、重要監視用計器の代替パラメータを示す。
 【注】：常用代替計器を示す。
 (注1)：ここでは主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを示す。

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第1.15-3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (9/17)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉格納容器内の放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	①格納容器内放射線モニタ(0.0)の1チャンネルが故障した場合は、格ナセンサにより推定する。 ②格納容器内放射線モニタ(0.0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内放射線モニタ(0.0)により推定する。
	②格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	同定は、主要パラメータの格ナセンサを優先する。
原子炉格納容器内の放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	①格納容器内放射線モニタ(0.0)の1チャンネルが故障した場合は、格ナセンサにより推定する。 ②格納容器内放射線モニタ(0.0)の監視が不可能となった場合は、格納容器内放射線モニタ(0.0)により推定する。
	②格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	同定は、主要パラメータの格ナセンサを優先する。
原子炉格納容器内の放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	①格納容器内放射線モニタ(0.0)の1チャンネルが故障した場合は、格ナセンサにより推定する。 ②格納容器内放射線モニタ(0.0)の監視が不可能となった場合は、格ナセンサにより推定する。
	②格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	同定は、主要パラメータの格ナセンサを優先する。

*1：代替パラメータの番号は重要順を示す。
 *2：【 】には有償監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（原単位又は標準単位等はないが、監視可能であれば常用計器の単位の状態を把握することが可能な計器）を示す。

第1.15.3表 代替パラメータによる主要パラメータ(0.0)の推定 (9/16)

分類	主要パラメータ(注1)	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉格納容器内の放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	①格納容器内放射線モニタ(0.0)の1チャンネルが故障した場合は、格ナセンサにより推定する。 ②格納容器内放射線モニタ(0.0)の監視が不可能となった場合は、格ナセンサにより推定する。
	②格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	同定は、主要パラメータの格ナセンサを優先する。
原子炉格納容器内の放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	①格納容器内放射線モニタ(0.0)の1チャンネルが故障した場合は、格ナセンサにより推定する。 ②格納容器内放射線モニタ(0.0)の監視が不可能となった場合は、格ナセンサにより推定する。
	②格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	同定は、主要パラメータの格ナセンサを優先する。
原子炉格納容器内の放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	①格納容器内放射線モニタ(0.0)の1チャンネルが故障した場合は、格ナセンサにより推定する。 ②格納容器内放射線モニタ(0.0)の監視が不可能となった場合は、格ナセンサにより推定する。
	②格納容器内放射線モニタ(0.0)	①主要パラメータの格ナセンサ ②格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	同定は、主要パラメータの格ナセンサを優先する。

注：代替パラメータの番号は重要順を示す。
 【注1】：有償監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（原単位又は標準単位等はないが、監視可能であれば常用計器の単位の状態を把握することが可能な計器）を示す。
 【注2】：主要パラメータを代替する計器が有償監視パラメータ又は重要監視パラメータを示す。
 【注3】：常用監視計器を示す。
 【注4】：ここでは主要パラメータの常用計器の単位の状態を把握することが可能な計器を示す。

第1.15.6表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (8/15)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
原子炉格納容器内の放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	格納容器内放射線モニタ(0.0)の1チャンネルが故障した場合は、格ナセンサにより推定する。 ②格納容器内放射線モニタ(0.0)の監視が不可能となった場合は、格ナセンサにより推定する。
	②格納容器内放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	同定は、主要パラメータの格ナセンサを優先する。
原子炉格納容器内の放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	①格納容器内放射線モニタ(0.0)の1チャンネルが故障した場合は、格ナセンサにより推定する。 ②格納容器内放射線モニタ(0.0)の監視が不可能となった場合は、格ナセンサにより推定する。
	②格納容器内放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	同定は、主要パラメータの格ナセンサを優先する。
原子炉格納容器内の放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	①格納容器内放射線モニタ(0.0)の1チャンネルが故障した場合は、格ナセンサにより推定する。 ②格納容器内放射線モニタ(0.0)の監視が不可能となった場合は、格ナセンサにより推定する。
	②格納容器内放射線モニタ(0.0)	①格納容器内放射線モニタ(0.0)	ケース1	同定は、主要パラメータの格ナセンサを優先する。

番号：代替パラメータの番号は重要順を示す。
 *1：有償監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（原単位又は標準単位等はないが、監視可能であれば常用計器の単位の状態を把握することが可能な計器）を示す。
 【注1】：有償監視計器を示す。

女川原子力発電所2号炉

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

伊方発電所3号炉

差異理由

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

第 1.15-3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (12/17)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^{*)}	推定ケース	代替パラメータ推定方法
副圧強化ベント弁	副圧強化ベント弁系統放熱モニタ	① 主要パラメータの値のチャンネル	ケース①	① 副圧強化ベント弁系統放熱モニタのチャンネルが故障した場合は、値チャンネルにより推定する。
		副圧強化ベント弁系統放熱交換器入口温度	ケース①	① 残留熱除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度及びリフトアップレッシュンポンプ系統温度により副圧強化ベントシリンクが動作されていることを推定する。
最終トリートメントシリンクの運転	残留熱除去系熱交換器入口温度	① 残留熱除去系熱交換器入口温度	ケース①	① 残留熱除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、残留熱除去系熱交換器の熱交換率評価値から残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。
		② 残留熱除去系熱交換器出口流量	ケース②	② 残留熱除去系熱交換器出口流量の監視が不可能となった場合は、原子炉循環ポンプ系統流量及び残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量により最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。
残留熱除去系	残留熱除去系ポンプ出口流量	① 圧力制御室水位	ケース③	水位は、残留熱除去系熱交換器入口流量を推定する。
		② 残留熱除去系ポンプ出口圧力	ケース④	① 残留熱除去系ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、水位である圧力制御室水位の変化に基づき基本値を推定する。 ② 残留熱除去系ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、残留熱除去系ポンプ出口圧力から残留熱除去系ポンプの圧水特性を用いて、残留熱除去系ポンプ出口流量の確保されていることを推定する。

*1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。
 *2：「」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（継電機又は継電器用パラメータ）を示し、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。

第 1.15.3 表 代替パラメータによる主要パラメータ (R1) の推定 (12/16)

分類	主要パラメータ (注1)	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
副圧強化ベント弁	① 1次冷却材高圧側温度 (広域)	① 1次冷却材高圧側温度 (広域)	ケース-1	* 監視装置のチャンネルが故障した場合は、値チャンネル又はチャンネルの主要監視力により推定する。 * 監視装置のチャンネルが故障した場合は、1次冷却材高圧側温度及び最終冷却器出口温度の監視力により、1次冷却材高圧側温度 (広域) 及び1次冷却材高圧側温度 (広域) により主要監視力と推定し、最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。推定は、1次冷却材高圧側温度 (広域) を優先する。なお、高気圧側2次側の動作状態によるまで (注脚付)
		② 1次冷却材高圧側流量 (広域)	ケース-2	
最終トリートメントシリンクの運転	① 1次冷却材高圧側温度 (広域)	① 1次冷却材高圧側温度 (広域)	ケース-1	* 監視装置のチャンネルが故障した場合は、値チャンネルの監視装置基本値 (広域) を推定する。また、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力により、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力と推定し、最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。推定は、1次冷却材高圧側温度 (広域) を優先する。 * 監視装置のチャンネルが故障した場合は、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力により、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力と推定し、最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。推定は、1次冷却材高圧側温度 (広域) を優先する。 * 監視装置のチャンネルが故障した場合は、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力により、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力と推定し、最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。推定は、1次冷却材高圧側温度 (広域) を優先する。
		② 1次冷却材高圧側流量 (広域)	ケース-2	
残留熱除去系	① 圧力制御室水位	① 圧力制御室水位	ケース-3	* 監視装置のチャンネルが故障した場合は、値チャンネルの監視装置基本値 (広域) を推定する。また、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力により、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力と推定し、最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。推定は、1次冷却材高圧側温度 (広域) を優先する。 * 監視装置のチャンネルが故障した場合は、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力により、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力と推定し、最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。推定は、1次冷却材高圧側温度 (広域) を優先する。
		② 残留熱除去系ポンプ出口圧力	ケース-4	

注 号：代替パラメータの番号は優先順位を示す。
 注1：「」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（継電機又は継電器用パラメータ）を示し、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。
 注2：「」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（継電機又は継電器用パラメータ）を示し、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。
 注3：「」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（継電機又は継電器用パラメータ）を示し、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。

第 1.15.6 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (11/15)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
副圧強化ベント弁	① 1次冷却材高圧側温度 (広域)	① 1次冷却材高圧側温度 (広域)	ケース-6	* 監視装置のチャンネルが故障した場合は、値チャンネル又はチャンネルの主要監視力により推定する。 * 監視装置のチャンネルが故障した場合は、1次冷却材高圧側温度及び最終冷却器出口温度の監視力により、1次冷却材高圧側温度 (広域) 及び1次冷却材高圧側温度 (広域) により主要監視力と推定し、最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。推定は、1次冷却材高圧側温度 (広域) を優先する。なお、高気圧側2次側の動作状態によるまで (注脚付)
		② 1次冷却材高圧側流量 (広域)	ケース-7	
最終トリートメントシリンクの運転	① 1次冷却材高圧側温度 (広域)	① 1次冷却材高圧側温度 (広域)	ケース-1	* 監視装置のチャンネルが故障した場合は、値チャンネルの監視装置基本値 (広域) を推定する。また、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力により、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力と推定し、最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。推定は、1次冷却材高圧側温度 (広域) を優先する。 * 監視装置のチャンネルが故障した場合は、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力により、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力と推定し、最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。推定は、1次冷却材高圧側温度 (広域) を優先する。
		② 1次冷却材高圧側流量 (広域)	ケース-2	
残留熱除去系	① 圧力制御室水位	① 圧力制御室水位	ケース-3	* 監視装置のチャンネルが故障した場合は、値チャンネルの監視装置基本値 (広域) を推定する。また、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力により、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力と推定し、最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。推定は、1次冷却材高圧側温度 (広域) を優先する。 * 監視装置のチャンネルが故障した場合は、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力により、1次冷却材高圧側温度 (広域) の監視力と推定し、最終トリートメントシリンクが動作されていることを推定する。推定は、1次冷却材高圧側温度 (広域) を優先する。
		② 残留熱除去系ポンプ出口圧力	ケース-4	

注 号：代替パラメータの番号は優先順位を示す。
 注1：「」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（継電機又は継電器用パラメータ）を示し、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。
 注2：「」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（継電機又は継電器用パラメータ）を示し、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第1.15-3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (14/17)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器	格納容器内圧力	①原子炉圧力	ケース①	①原子炉圧力
		②「エリア放射線モニタ」**	ケース②	②「エリア放射線モニタ」
炉心スプレッド	炉心スプレッド出口圧力	①原子炉圧力	ケース①	①炉心スプレッド出口圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
		②「エリア放射線モニタ」**	ケース②	②炉心スプレッド出口圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
炉心スプレッド	炉心スプレッド出口圧力	①原子炉圧力	ケース①	①炉心スプレッド出口圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
		②「エリア放射線モニタ」**	ケース②	②炉心スプレッド出口圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
炉心スプレッド	炉心スプレッド出口圧力	①原子炉圧力	ケース①	①炉心スプレッド出口圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
		②「エリア放射線モニタ」**	ケース②	②炉心スプレッド出口圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。

*1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。
 *2：「1」は有効放射線パラメータ又は重要監視パラメータの管理計画 (耐震性又は耐震動特性等) があり、監視可能であれば重要監視パラメータの状態を把握することが可能な計器) を示す。

第1.15.3表 代替パラメータによる主要パラメータ (表1) の推定 (14/16)

分類	主要パラメータ (表1)	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器	①炉心スプレッド出口圧力	①原子炉圧力 [1E]	ケース①	①原子炉圧力
	②「エリア放射線モニタ」**	②「エリア放射線モニタ」 [1E]	ケース②	②「エリア放射線モニタ」
	③「炉心スプレッド出口圧力」	③「炉心スプレッド出口圧力」 [1E]	ケース③	③「炉心スプレッド出口圧力」
炉心スプレッド	①炉心スプレッド出口圧力	①原子炉圧力 [1E]	ケース①	①炉心スプレッド出口圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
	②「エリア放射線モニタ」**	②「エリア放射線モニタ」 [1E]	ケース②	②炉心スプレッド出口圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
	③「炉心スプレッド出口圧力」	③「炉心スプレッド出口圧力」 [1E]	ケース③	③「炉心スプレッド出口圧力」

*1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。
 *2：「1」は有効放射線パラメータ又は重要監視パラメータの管理計画 (耐震性又は耐震動特性等) があり、監視可能であれば重要監視パラメータの状態を把握することが可能な計器) を示す。

第1.15.3表 代替パラメータによる主要パラメータ (表1) の推定 (13/15)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ケース	代替パラメータ推定方法
格納容器	①炉心スプレッド出口圧力	①原子炉圧力 [1E]	ケース①	①原子炉圧力
	②「エリア放射線モニタ」**	②「エリア放射線モニタ」 [1E]	ケース②	②「エリア放射線モニタ」
	③「炉心スプレッド出口圧力」	③「炉心スプレッド出口圧力」 [1E]	ケース③	③「炉心スプレッド出口圧力」
炉心スプレッド	①炉心スプレッド出口圧力	①原子炉圧力 [1E]	ケース①	①炉心スプレッド出口圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
	②「エリア放射線モニタ」**	②「エリア放射線モニタ」 [1E]	ケース②	②炉心スプレッド出口圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
	③「炉心スプレッド出口圧力」	③「炉心スプレッド出口圧力」 [1E]	ケース③	③「炉心スプレッド出口圧力」

*1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。
 *2：「1」は有効放射線パラメータ又は重要監視パラメータの管理計画 (耐震性又は耐震動特性等) があり、監視可能であれば重要監視パラメータの状態を把握することが可能な計器) を示す。

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

第1.15-3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (17/17)

女川原子力発電所2号炉		大飯発電所3/4号炉		泊発電所3号炉		伊方発電所3号炉		差異理由
分類	主要パラメータ	代替パラメータ	推定ソース	代替パラメータ推定方法				
使用済燃料プールの監視	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーキス式)	①使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式) ②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(放射線、熱線) ③使用済燃料プール監視カメラ	カメラ	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーキス式)の監視が不可能となった場合は、使用済燃料プール水位/温度を推定する。 ②使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式)の監視が不可能な場合は、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(放射線、熱線)により放射線量/水位の関係を利用し使用済燃料プールの状態を監視する。 ③使用済燃料プール監視カメラにて使用済燃料プールの状態を監視する。				
	使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーキス式) ②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(放射線、熱線) ③使用済燃料プール監視カメラ	カメラ	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーキス式)の監視が不可能となった場合は、使用済燃料プール水位/温度を推定する。 ②使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式)の監視が不可能な場合は、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(放射線、熱線)により放射線量/水位の関係を利用し使用済燃料プールの状態を監視する。 ③使用済燃料プール監視カメラにて使用済燃料プールの状態を監視する。				
	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (放射線、熱線)	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーキス式) ②使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式) ③使用済燃料プール監視カメラ	カメラ	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーキス式)の監視が不可能となった場合は、使用済燃料プール水位/温度を推定する。 ②使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式)の監視が不可能な場合は、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(放射線、熱線)により放射線量/水位の関係を推定する。 ③使用済燃料プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。				
	使用済燃料プール監視カメラ	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーキス式) ②使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式) ③使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(放射線、熱線)	カメラ	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーキス式)の監視が不可能となった場合は、使用済燃料プール水位/温度を推定する。 ②使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式)の監視が不可能な場合は、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(放射線、熱線)により放射線量/水位の関係を推定する。 ③使用済燃料プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。				

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																										
<p>第1.15-4表 補助パラメータ (1/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助パラメータ</th> <th>補助パラメータの分類理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">電源関係</td><td>275kV母線電圧</td><td>275kV母線の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>6-2E母線電圧</td><td>外部電源の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>6-2F-1母線電圧¹⁾</td><td rowspan="2">緊急用高圧母線の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>6-2F-2母線電圧¹⁾</td></tr> <tr><td>6-2G母線電圧</td><td rowspan="4">非常用高圧母線の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>6-2C母線電圧¹⁾</td></tr> <tr><td>6-2D母線電圧¹⁾</td></tr> <tr><td>6-2H母線電圧¹⁾</td></tr> <tr><td>4-2G母線電圧</td><td>緊急用低圧母線の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>4-2C母線電圧¹⁾</td><td rowspan="2">非常用低圧母線の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>4-2D母線電圧¹⁾</td></tr> <tr><td>HPCS MCC母線電圧</td><td rowspan="7">直流電源の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>125V直流主母線2A電圧¹⁾</td></tr> <tr><td>125V直流主母線2B電圧¹⁾</td></tr> <tr><td>125V直流主母線2A-1電圧¹⁾</td></tr> <tr><td>125V直流主母線2B-1電圧¹⁾</td></tr> <tr><td>HPCS125V直流主母線電圧¹⁾</td></tr> <tr><td>250V直流主母線電圧¹⁾</td></tr> <tr><td>GTG発電機電圧</td><td rowspan="4">代替電源設備の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>GTG発電機電力</td></tr> <tr><td>GTG発電機周波数</td></tr> <tr><td>電源車電圧</td></tr> <tr><td>電源車周波数</td><td rowspan="10">非常用ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>D/G(2A)電圧</td></tr> <tr><td>D/G(2B)電圧</td></tr> <tr><td>D/G(2A)電力</td></tr> <tr><td>D/G(2B)電力</td></tr> <tr><td>D/G(2A)周波数</td></tr> <tr><td>D/G(2B)周波数</td></tr> <tr><td>D/G(2B)電圧</td></tr> <tr><td>D/G(2B)電力</td></tr> <tr><td>D/G(2B)周波数</td></tr> </tbody> </table> <p><small>*1：重大事故等対応設備を適用する手順書の参考情報として用いるパラメータについては、重大事故等対応設備とする。</small></p>	分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由	電源関係	275kV母線電圧	275kV母線の受電状態を確認するパラメータ	6-2E母線電圧	外部電源の受電状態を確認するパラメータ	6-2F-1母線電圧 ¹⁾	緊急用高圧母線の受電状態を確認するパラメータ	6-2F-2母線電圧 ¹⁾	6-2G母線電圧	非常用高圧母線の受電状態を確認するパラメータ	6-2C母線電圧 ¹⁾	6-2D母線電圧 ¹⁾	6-2H母線電圧 ¹⁾	4-2G母線電圧	緊急用低圧母線の受電状態を確認するパラメータ	4-2C母線電圧 ¹⁾	非常用低圧母線の受電状態を確認するパラメータ	4-2D母線電圧 ¹⁾	HPCS MCC母線電圧	直流電源の受電状態を確認するパラメータ	125V直流主母線2A電圧 ¹⁾	125V直流主母線2B電圧 ¹⁾	125V直流主母線2A-1電圧 ¹⁾	125V直流主母線2B-1電圧 ¹⁾	HPCS125V直流主母線電圧 ¹⁾	250V直流主母線電圧 ¹⁾	GTG発電機電圧	代替電源設備の運転状態を確認するパラメータ	GTG発電機電力	GTG発電機周波数	電源車電圧	電源車周波数	非常用ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ	D/G(2A)電圧	D/G(2B)電圧	D/G(2A)電力	D/G(2B)電力	D/G(2A)周波数	D/G(2B)周波数	D/G(2B)電圧	D/G(2B)電力	D/G(2B)周波数		<p><内容比較のための再掲(1)></p> <p>第1.15.1表 補助的な監視パラメータ (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>パラメータ</th> <th>補助的な監視パラメータの分類理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10">電源関係</td><td>6号機1L電圧、6号機2L電圧</td><td>6号機1L、2Lの受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>6号機1L電圧、6号機2L電圧</td><td>6号機1L、2Lの受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>7号機電圧、8号機電圧</td><td>7、8号機の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>9号機、10号機電圧</td><td>9、10号機の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>11号機、12号機電圧</td><td>11、12号機の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>13号機、14号機電圧</td><td>13、14号機の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>15号機、16号機電圧</td><td>15、16号機の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>17号機、18号機電圧</td><td>17、18号機の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>19号機、20号機電圧</td><td>19、20号機の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>21号機、22号機電圧</td><td>21、22号機の受電状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td rowspan="10">冷却関係</td><td>A-100冷却ポンプ電圧</td><td>ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>A-100冷却ポンプ電力</td><td>ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>A-100冷却ポンプ周波数</td><td>ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>A-100冷却ポンプ電圧</td><td>ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>A-100冷却ポンプ電力</td><td>ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>A-100冷却ポンプ周波数</td><td>ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>A-100冷却ポンプ電圧</td><td>ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>A-100冷却ポンプ電力</td><td>ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>A-100冷却ポンプ周波数</td><td>ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> <tr><td>A-100冷却ポンプ電圧</td><td>ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ</td></tr> </tbody> </table> <p><small>*1：重大事故等対応設備を適用する手順書の参考情報として用いるパラメータについては、重大事故等対応設備とする。</small></p>	分類	パラメータ	補助的な監視パラメータの分類理由	電源関係	6号機1L電圧、6号機2L電圧	6号機1L、2Lの受電状態を確認するパラメータ	6号機1L電圧、6号機2L電圧	6号機1L、2Lの受電状態を確認するパラメータ	7号機電圧、8号機電圧	7、8号機の受電状態を確認するパラメータ	9号機、10号機電圧	9、10号機の受電状態を確認するパラメータ	11号機、12号機電圧	11、12号機の受電状態を確認するパラメータ	13号機、14号機電圧	13、14号機の受電状態を確認するパラメータ	15号機、16号機電圧	15、16号機の受電状態を確認するパラメータ	17号機、18号機電圧	17、18号機の受電状態を確認するパラメータ	19号機、20号機電圧	19、20号機の受電状態を確認するパラメータ	21号機、22号機電圧	21、22号機の受電状態を確認するパラメータ	冷却関係	A-100冷却ポンプ電圧	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ	A-100冷却ポンプ電力	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ	A-100冷却ポンプ周波数	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ	A-100冷却ポンプ電圧	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ	A-100冷却ポンプ電力	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ	A-100冷却ポンプ周波数	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ	A-100冷却ポンプ電圧	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ	A-100冷却ポンプ電力	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ	A-100冷却ポンプ周波数	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ	A-100冷却ポンプ電圧	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ		<p>記載箇所の相違 ・泊では第1.15.1表として、本項の前半に記載している。</p> <p>設備構成の相違</p>
分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由																																																																																												
電源関係	275kV母線電圧	275kV母線の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	6-2E母線電圧	外部電源の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	6-2F-1母線電圧 ¹⁾	緊急用高圧母線の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	6-2F-2母線電圧 ¹⁾																																																																																													
	6-2G母線電圧	非常用高圧母線の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	6-2C母線電圧 ¹⁾																																																																																													
	6-2D母線電圧 ¹⁾																																																																																													
	6-2H母線電圧 ¹⁾																																																																																													
	4-2G母線電圧	緊急用低圧母線の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	4-2C母線電圧 ¹⁾	非常用低圧母線の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	4-2D母線電圧 ¹⁾																																																																																													
	HPCS MCC母線電圧	直流電源の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	125V直流主母線2A電圧 ¹⁾																																																																																													
	125V直流主母線2B電圧 ¹⁾																																																																																													
125V直流主母線2A-1電圧 ¹⁾																																																																																														
125V直流主母線2B-1電圧 ¹⁾																																																																																														
HPCS125V直流主母線電圧 ¹⁾																																																																																														
250V直流主母線電圧 ¹⁾																																																																																														
GTG発電機電圧	代替電源設備の運転状態を確認するパラメータ																																																																																													
GTG発電機電力																																																																																														
GTG発電機周波数																																																																																														
電源車電圧																																																																																														
電源車周波数	非常用ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ																																																																																													
D/G(2A)電圧																																																																																														
D/G(2B)電圧																																																																																														
D/G(2A)電力																																																																																														
D/G(2B)電力																																																																																														
D/G(2A)周波数																																																																																														
D/G(2B)周波数																																																																																														
D/G(2B)電圧																																																																																														
D/G(2B)電力																																																																																														
D/G(2B)周波数																																																																																														
分類	パラメータ	補助的な監視パラメータの分類理由																																																																																												
電源関係	6号機1L電圧、6号機2L電圧	6号機1L、2Lの受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	6号機1L電圧、6号機2L電圧	6号機1L、2Lの受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	7号機電圧、8号機電圧	7、8号機の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	9号機、10号機電圧	9、10号機の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	11号機、12号機電圧	11、12号機の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	13号機、14号機電圧	13、14号機の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	15号機、16号機電圧	15、16号機の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	17号機、18号機電圧	17、18号機の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	19号機、20号機電圧	19、20号機の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
	21号機、22号機電圧	21、22号機の受電状態を確認するパラメータ																																																																																												
冷却関係	A-100冷却ポンプ電圧	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ																																																																																												
	A-100冷却ポンプ電力	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ																																																																																												
	A-100冷却ポンプ周波数	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ																																																																																												
	A-100冷却ポンプ電圧	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ																																																																																												
	A-100冷却ポンプ電力	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ																																																																																												
	A-100冷却ポンプ周波数	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ																																																																																												
	A-100冷却ポンプ電圧	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ																																																																																												
	A-100冷却ポンプ電力	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ																																																																																												
	A-100冷却ポンプ周波数	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ																																																																																												
	A-100冷却ポンプ電圧	ディーゼル発電機の運転状態を確認するパラメータ																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																															
<p>第1.15-4表 補助パラメータ (2/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助パラメータ</th> <th>補助パラメータの分類理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">電源関係</td> <td>D/G(3A)電圧(3号炉)</td> <td rowspan="6">非常用ディーゼル発電機(3号炉)の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>D/G(3B)電圧(3号炉)</td> </tr> <tr> <td>D/G(3A)電力(3号炉)</td> </tr> <tr> <td>D/G(3B)電力(3号炉)</td> </tr> <tr> <td>D/G(3A)周波数(3号炉)</td> </tr> <tr> <td>D/G(3B)周波数(3号炉)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料関係</td> <td>軽油タンク油面</td> <td rowspan="4">燃料の確保状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機軽油タンク油面</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ油タンクレベル</td> </tr> <tr> <td>各種軽油タンクレベル</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">機械関係</td> <td>高圧代替注水ポンプ入口圧力</td> <td rowspan="2">高圧代替注水ポンプの運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水タービン入口蒸気圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水タービン排気圧力</td> <td rowspan="3">原子炉隔離時冷却系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン入口蒸気圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系タービン排気圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系タービン回転数</td> <td rowspan="4">大容量送水ポンプ(タイプ1)の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)出口圧力</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">その他</td> <td>制御棒駆動水ポンプ出口流量</td> <td rowspan="3">制御棒駆動水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>制御棒駆動水原子炉側差圧</td> </tr> <tr> <td>アキュムレータ充填水圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧電源ガス供給系 A06入口圧力^{*)}</td> <td rowspan="2">高圧電源ガス供給系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>高圧電源ガス供給系電源ガスポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>代替高圧電源ガス供給系高圧電源ガスポンプ出口圧力</td> <td rowspan="2">代替高圧電源ガス供給系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>代替高圧電源ガス供給系電源ガス供給止め弁入口圧力^{*)}</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ室漏えい検出期間温度</td> <td>当該系統の漏えいを確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>プロセス放射線モニタ</td> <td>原子炉冷却材の漏えいを確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>ドライウェルタンク水位</td> <td rowspan="3">格納容器貯留調整系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>格納容器貯留調整系タンク水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器貯留調整系ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>*) 1: 重大事故時対応設備を適用する段階の原子炉の運転状態として用いるパラメータについては、重大事故時対応設備とする。</small></p>	分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由	電源関係	D/G(3A)電圧(3号炉)	非常用ディーゼル発電機(3号炉)の運転状態を確認するパラメータ	D/G(3B)電圧(3号炉)	D/G(3A)電力(3号炉)	D/G(3B)電力(3号炉)	D/G(3A)周波数(3号炉)	D/G(3B)周波数(3号炉)	燃料関係	軽油タンク油面	燃料の確保状態を確認するパラメータ	ガスタービン発電機軽油タンク油面	タンクローリ油タンクレベル	各種軽油タンクレベル	機械関係	高圧代替注水ポンプ入口圧力	高圧代替注水ポンプの運転状態を確認するパラメータ	高圧代替注水タービン入口蒸気圧力	高圧代替注水タービン排気圧力	原子炉隔離時冷却系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン入口蒸気圧力	原子炉隔離時冷却系タービン排気圧力	原子炉隔離時冷却系タービン回転数	大容量送水ポンプ(タイプ1)の運転状態を確認するパラメータ	大容量送水ポンプ(タイプ1)出口圧力	ほう酸水注入系ポンプ出口圧力	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位	その他	制御棒駆動水ポンプ出口流量	制御棒駆動水系の運転状態を確認するパラメータ	制御棒駆動水原子炉側差圧	アキュムレータ充填水圧力	高圧電源ガス供給系 A06入口圧力 ^{*)}	高圧電源ガス供給系の運転状態を確認するパラメータ	高圧電源ガス供給系電源ガスポンプ出口圧力	代替高圧電源ガス供給系高圧電源ガスポンプ出口圧力	代替高圧電源ガス供給系の運転状態を確認するパラメータ	代替高圧電源ガス供給系電源ガス供給止め弁入口圧力 ^{*)}	残留熱除去系ポンプ室漏えい検出期間温度	当該系統の漏えいを確認するパラメータ	プロセス放射線モニタ	原子炉冷却材の漏えいを確認するパラメータ	ドライウェルタンク水位	格納容器貯留調整系の運転状態を確認するパラメータ	格納容器貯留調整系タンク水位	格納容器貯留調整系ポンプ出口圧力		<p style="text-align: center;"><内容比較のための再掲(2)></p> <p style="text-align: center;">第1.15.1表 補助的な監視パラメータ (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>パラメータ</th> <th>補助的な監視パラメータの分類理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">その他</td> <td>原子炉隔離時冷却水供給系管圧力</td> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却水の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系出口温度/排水温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系圧力調整機冷却水流量</td> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>A、B-原子炉隔離時冷却水供給系管圧力</td> </tr> <tr> <td>C-原子炉隔離時冷却系管圧力</td> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>サブクール度</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却水供給系流量</td> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却水の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>格納容器排水系イグナイタの作動状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>ゾメ分析による水素濃度</td> <td>原子炉隔離時冷却系内の水素濃度を分析により確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>1次系純水供給ライン流量制御</td> <td rowspan="3">原子炉隔離時冷却系の作動状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>1次系純水供給ライン流量計算制御</td> </tr> <tr> <td>ほう酸供給ライン流量制御</td> </tr> <tr> <td>ほう酸供給ライン流量計算制御</td> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却系の作動状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>格納容器タンク水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器タンク水位上昇率</td> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却系内の漏えい状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>格納容器貯留調整系水位</td> </tr> <tr> <td>制御棒駆動水圧力</td> <td>制御棒駆動水の作動状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>電源系空気圧力</td> <td>電源系空気系の作動状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>伝導調整タンク水位</td> <td>定電圧ポンプの水量の収量を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>緊急ほう酸水ライン流量</td> <td>ほう酸ポンプによる伊方へのほう酸水注入状況を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>アキュムレータ圧力</td> <td>アキュムレータ空知止ファンの運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>タービン排気蒸気圧</td> <td>タービン排気管の作動状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>OR 自動作動監視</td> <td>共通監視設備の作動状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>RCIS 作動</td> <td>RCIS 作動信号の作動状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>水素濃度 (E)</td> <td>タービン排気管の作動状態を確認するパラメータ</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>*) 1: 重大事故時対応設備を適用する段階の原子炉の運転状態として用いるパラメータについては、重大事故時対応設備とする。</small></p>	分類	パラメータ	補助的な監視パラメータの分類理由	その他	原子炉隔離時冷却水供給系管圧力	原子炉隔離時冷却水の運転状態を確認するパラメータ	原子炉隔離時冷却系出口温度/排水温度	原子炉隔離時冷却系圧力調整機冷却水流量	原子炉隔離時冷却系の運転状態を確認するパラメータ	A、B-原子炉隔離時冷却水供給系管圧力	C-原子炉隔離時冷却系管圧力	原子炉隔離時冷却系の運転状態を確認するパラメータ	サブクール度	原子炉隔離時冷却水供給系流量	原子炉隔離時冷却水の運転状態を確認するパラメータ	格納容器排水系イグナイタの作動状態を確認するパラメータ	ゾメ分析による水素濃度	原子炉隔離時冷却系内の水素濃度を分析により確認するパラメータ	1次系純水供給ライン流量制御	原子炉隔離時冷却系の作動状態を確認するパラメータ	1次系純水供給ライン流量計算制御	ほう酸供給ライン流量制御	ほう酸供給ライン流量計算制御	原子炉隔離時冷却系の作動状態を確認するパラメータ	格納容器タンク水位	格納容器タンク水位上昇率	原子炉隔離時冷却系内の漏えい状態を確認するパラメータ	格納容器貯留調整系水位	制御棒駆動水圧力	制御棒駆動水の作動状態を確認するパラメータ	電源系空気圧力	電源系空気系の作動状態を確認するパラメータ	伝導調整タンク水位	定電圧ポンプの水量の収量を確認するパラメータ	緊急ほう酸水ライン流量	ほう酸ポンプによる伊方へのほう酸水注入状況を確認するパラメータ	アキュムレータ圧力	アキュムレータ空知止ファンの運転状態を確認するパラメータ	タービン排気蒸気圧	タービン排気管の作動状態を確認するパラメータ	OR 自動作動監視	共通監視設備の作動状態を確認するパラメータ	RCIS 作動	RCIS 作動信号の作動状態を確認するパラメータ	水素濃度 (E)	タービン排気管の作動状態を確認するパラメータ		<p>記載箇所の相違 ・泊では第1.15.1表として、本項の前半に記載している。</p> <p>設備構成の相違</p>
分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由																																																																																																	
電源関係	D/G(3A)電圧(3号炉)	非常用ディーゼル発電機(3号炉)の運転状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	D/G(3B)電圧(3号炉)																																																																																																		
	D/G(3A)電力(3号炉)																																																																																																		
	D/G(3B)電力(3号炉)																																																																																																		
	D/G(3A)周波数(3号炉)																																																																																																		
	D/G(3B)周波数(3号炉)																																																																																																		
燃料関係	軽油タンク油面	燃料の確保状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	ガスタービン発電機軽油タンク油面																																																																																																		
	タンクローリ油タンクレベル																																																																																																		
	各種軽油タンクレベル																																																																																																		
機械関係	高圧代替注水ポンプ入口圧力	高圧代替注水ポンプの運転状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	高圧代替注水タービン入口蒸気圧力																																																																																																		
	高圧代替注水タービン排気圧力	原子炉隔離時冷却系の運転状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン入口蒸気圧力																																																																																																		
	原子炉隔離時冷却系タービン排気圧力																																																																																																		
	原子炉隔離時冷却系タービン回転数	大容量送水ポンプ(タイプ1)の運転状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	大容量送水ポンプ(タイプ1)出口圧力																																																																																																		
	ほう酸水注入系ポンプ出口圧力																																																																																																		
	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位																																																																																																		
	その他	制御棒駆動水ポンプ出口流量	制御棒駆動水系の運転状態を確認するパラメータ																																																																																																
制御棒駆動水原子炉側差圧																																																																																																			
アキュムレータ充填水圧力																																																																																																			
高圧電源ガス供給系 A06入口圧力 ^{*)}		高圧電源ガス供給系の運転状態を確認するパラメータ																																																																																																	
高圧電源ガス供給系電源ガスポンプ出口圧力																																																																																																			
代替高圧電源ガス供給系高圧電源ガスポンプ出口圧力		代替高圧電源ガス供給系の運転状態を確認するパラメータ																																																																																																	
代替高圧電源ガス供給系電源ガス供給止め弁入口圧力 ^{*)}																																																																																																			
残留熱除去系ポンプ室漏えい検出期間温度		当該系統の漏えいを確認するパラメータ																																																																																																	
プロセス放射線モニタ		原子炉冷却材の漏えいを確認するパラメータ																																																																																																	
ドライウェルタンク水位		格納容器貯留調整系の運転状態を確認するパラメータ																																																																																																	
格納容器貯留調整系タンク水位																																																																																																			
格納容器貯留調整系ポンプ出口圧力																																																																																																			
分類		パラメータ	補助的な監視パラメータの分類理由																																																																																																
その他		原子炉隔離時冷却水供給系管圧力	原子炉隔離時冷却水の運転状態を確認するパラメータ																																																																																																
	原子炉隔離時冷却系出口温度/排水温度																																																																																																		
	原子炉隔離時冷却系圧力調整機冷却水流量	原子炉隔離時冷却系の運転状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	A、B-原子炉隔離時冷却水供給系管圧力																																																																																																		
	C-原子炉隔離時冷却系管圧力	原子炉隔離時冷却系の運転状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	サブクール度																																																																																																		
	原子炉隔離時冷却水供給系流量	原子炉隔離時冷却水の運転状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	格納容器排水系イグナイタの作動状態を確認するパラメータ																																																																																																		
	ゾメ分析による水素濃度	原子炉隔離時冷却系内の水素濃度を分析により確認するパラメータ																																																																																																	
	1次系純水供給ライン流量制御	原子炉隔離時冷却系の作動状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	1次系純水供給ライン流量計算制御																																																																																																		
	ほう酸供給ライン流量制御																																																																																																		
	ほう酸供給ライン流量計算制御	原子炉隔離時冷却系の作動状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	格納容器タンク水位																																																																																																		
	格納容器タンク水位上昇率	原子炉隔離時冷却系内の漏えい状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	格納容器貯留調整系水位																																																																																																		
	制御棒駆動水圧力	制御棒駆動水の作動状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	電源系空気圧力	電源系空気系の作動状態を確認するパラメータ																																																																																																	
	伝導調整タンク水位	定電圧ポンプの水量の収量を確認するパラメータ																																																																																																	
	緊急ほう酸水ライン流量	ほう酸ポンプによる伊方へのほう酸水注入状況を確認するパラメータ																																																																																																	
アキュムレータ圧力	アキュムレータ空知止ファンの運転状態を確認するパラメータ																																																																																																		
タービン排気蒸気圧	タービン排気管の作動状態を確認するパラメータ																																																																																																		
OR 自動作動監視	共通監視設備の作動状態を確認するパラメータ																																																																																																		
RCIS 作動	RCIS 作動信号の作動状態を確認するパラメータ																																																																																																		
水素濃度 (E)	タービン排気管の作動状態を確認するパラメータ																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																														
<p>第1.15-4表 補助パラメータ (3/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助パラメータ</th> <th>補助パラメータの分類理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="28">その他</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> <td>ろ過水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>純水移送ポンプ出口圧力</td> <td>純水供給水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>給水流量</td> <td rowspan="2">給・配水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉給水ポンプ出口ヘッダ圧力</td> </tr> <tr> <td>主復水器管内圧力</td> <td rowspan="10">原子炉冷却材浄化系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材浄化系入口流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材浄化系再生熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度測定系入口ガス流量</td> <td rowspan="10">可燃性ガス濃度測定系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度測定系ブロウ入口流量</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度測定系ブロウ入口圧力</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度測定系再結合器内ガス温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度測定系再結合器表面温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度測定系加熱管表面温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度測定系加熱管内ガス温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度測定系加熱管出口ガス温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度測定系入口ガス温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度測定系ブロウ入口温度</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度測定系冷却器出口ガス温度</td> <td rowspan="4">原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系冷却水供給温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系冷却水供給圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系サージタンク水位</td> </tr> <tr> <td>残留除去系熱交換器冷却水出口温度</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>プレート式熱交換器出口温度</td> <td rowspan="6">原子炉補機代替冷却水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>淡水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>淡水ポンプ入口圧力</td> </tr> <tr> <td>ストレート入口圧力</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系熱交換器冷却水入口流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉ウェル水位</td> <td>原子炉格納容器冷却水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>高圧心スプレイ補機冷却水系冷却水供給圧力</td> <td rowspan="2">高圧心スプレイ補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>高圧心スプレイ補機冷却水系冷却水供給温度</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等対応計画を策定する段階での原子炉の稼働状況として対応パラメータについては、重大事故等対応計画とする。</p>	分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由	その他	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水系の運転状態を確認するパラメータ	純水移送ポンプ出口圧力	純水供給水系の運転状態を確認するパラメータ	給水流量	給・配水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉給水ポンプ出口ヘッダ圧力	主復水器管内圧力	原子炉冷却材浄化系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉冷却材浄化系入口流量	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器出口温度	可燃性ガス濃度測定系入口ガス流量	可燃性ガス濃度測定系の運転状態を確認するパラメータ	可燃性ガス濃度測定系ブロウ入口流量	可燃性ガス濃度測定系ブロウ入口圧力	可燃性ガス濃度測定系再結合器内ガス温度	可燃性ガス濃度測定系再結合器表面温度	可燃性ガス濃度測定系加熱管表面温度	可燃性ガス濃度測定系加熱管内ガス温度	可燃性ガス濃度測定系加熱管出口ガス温度	可燃性ガス濃度測定系入口ガス温度	可燃性ガス濃度測定系ブロウ入口温度	可燃性ガス濃度測定系冷却器出口ガス温度	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補機冷却水系冷却水供給温度	原子炉補機冷却水系冷却水供給圧力	原子炉補機冷却水系サージタンク水位	残留除去系熱交換器冷却水出口温度	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補機冷却水系ポンプ出口圧力	プレート式熱交換器出口温度	原子炉補機代替冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	淡水ポンプ出口圧力	淡水ポンプ入口圧力	ストレート入口圧力	燃料プール冷却浄化系熱交換器冷却水入口流量	原子炉ウェル水位	原子炉格納容器冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	高圧心スプレイ補機冷却水系冷却水供給圧力	高圧心スプレイ補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	高圧心スプレイ補機冷却水系冷却水供給温度				<p>設備構成の相違</p>
分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由																																																
その他	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水系の運転状態を確認するパラメータ																																																
	純水移送ポンプ出口圧力	純水供給水系の運転状態を確認するパラメータ																																																
	給水流量	給・配水系の運転状態を確認するパラメータ																																																
	原子炉給水ポンプ出口ヘッダ圧力																																																	
	主復水器管内圧力	原子炉冷却材浄化系の運転状態を確認するパラメータ																																																
	原子炉冷却材浄化系入口流量																																																	
	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度																																																	
	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器出口温度																																																	
	可燃性ガス濃度測定系入口ガス流量		可燃性ガス濃度測定系の運転状態を確認するパラメータ																																															
	可燃性ガス濃度測定系ブロウ入口流量																																																	
	可燃性ガス濃度測定系ブロウ入口圧力																																																	
	可燃性ガス濃度測定系再結合器内ガス温度																																																	
	可燃性ガス濃度測定系再結合器表面温度																																																	
	可燃性ガス濃度測定系加熱管表面温度																																																	
	可燃性ガス濃度測定系加熱管内ガス温度																																																	
	可燃性ガス濃度測定系加熱管出口ガス温度																																																	
	可燃性ガス濃度測定系入口ガス温度																																																	
	可燃性ガス濃度測定系ブロウ入口温度																																																	
	可燃性ガス濃度測定系冷却器出口ガス温度	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ																																																
	原子炉補機冷却水系冷却水供給温度																																																	
	原子炉補機冷却水系冷却水供給圧力																																																	
	原子炉補機冷却水系サージタンク水位																																																	
	残留除去系熱交換器冷却水出口温度	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ																																																
	原子炉補機冷却水系ポンプ出口圧力																																																	
	プレート式熱交換器出口温度	原子炉補機代替冷却水系の運転状態を確認するパラメータ																																																
	淡水ポンプ出口圧力																																																	
	淡水ポンプ入口圧力																																																	
	ストレート入口圧力																																																	
燃料プール冷却浄化系熱交換器冷却水入口流量																																																		
原子炉ウェル水位	原子炉格納容器冷却水系の運転状態を確認するパラメータ																																																	
高圧心スプレイ補機冷却水系冷却水供給圧力	高圧心スプレイ補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ																																																	
高圧心スプレイ補機冷却水系冷却水供給温度																																																		
<p>第1.15-4表 補助パラメータ (4/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助パラメータ</th> <th>補助パラメータの分類理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">その他</td> <td>燃料プール補給水ポンプ出口流量</td> <td rowspan="2">燃料プール補給水系の運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>スキマサージタンク水位</td> <td>使用済燃料プールの状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ出口流量</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプの運転状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>純水タンク水位</td> <td rowspan="4">代替淡水系の稼働状態を確認するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>淡水貯水槽 (No.1)</td> </tr> <tr> <td>淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> <tr> <td>原水タンク水位</td> <td rowspan="3">屋外の放射線量を測定するパラメータ</td> </tr> <tr> <td>モニタリングポスト</td> </tr> <tr> <td>可燃型代替モニタリング設備</td> </tr> <tr> <td>可燃型モニタリング設備</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等対応計画を策定する段階での原子炉の稼働状況として対応パラメータについては、重大事故等対応計画とする。</p>	分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由	その他	燃料プール補給水ポンプ出口流量	燃料プール補給水系の運転状態を確認するパラメータ	燃料プール補給水ポンプ出口圧力	スキマサージタンク水位	使用済燃料プールの状態を確認するパラメータ	燃料プール冷却浄化系ポンプ出口流量	燃料プール冷却浄化系ポンプの運転状態を確認するパラメータ	純水タンク水位	代替淡水系の稼働状態を確認するパラメータ	ろ過水タンク水位	淡水貯水槽 (No.1)	淡水貯水槽 (No.2)	原水タンク水位	屋外の放射線量を測定するパラメータ	モニタリングポスト	可燃型代替モニタリング設備	可燃型モニタリング設備																													
分類	補助パラメータ	補助パラメータの分類理由																																																
その他	燃料プール補給水ポンプ出口流量	燃料プール補給水系の運転状態を確認するパラメータ																																																
	燃料プール補給水ポンプ出口圧力																																																	
	スキマサージタンク水位	使用済燃料プールの状態を確認するパラメータ																																																
	燃料プール冷却浄化系ポンプ出口流量	燃料プール冷却浄化系ポンプの運転状態を確認するパラメータ																																																
	純水タンク水位	代替淡水系の稼働状態を確認するパラメータ																																																
	ろ過水タンク水位																																																	
	淡水貯水槽 (No.1)																																																	
	淡水貯水槽 (No.2)																																																	
	原水タンク水位	屋外の放射線量を測定するパラメータ																																																
	モニタリングポスト																																																	
可燃型代替モニタリング設備																																																		
可燃型モニタリング設備																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉

第1.15-5表 有効監視パラメータ（自主対策設備）の監視・記録について

分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		監視理由	記録先	備考
		計測	警告			
原子炉格納容器内の放射線量率	エリア放射線モニタ	否	—	可搬型計測器での計測対象外。	中央制御室記録計	
水漏れの維持又は確認	漏洩検出装置指示系	否	—	可搬型計測器での計測対象外。	プロセス計算機 3PDS伝送装置	
格納容器ハイパスの監視	エリア放射線モニタ	否	—	可搬型計測器での計測対象外。	中央制御室記録計	

大飯発電所3/4号炉

第1.15.5表 有効な監視パラメータ（多様性拡張設備）の監視・記録について（1/2）

分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		監視理由	記録先	備考
		計測	警告			
原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	可	青	重大事故等対応設備である1次冷却材高温制限値（120℃）及び1次冷却材低濃度制限値（120℃）の監視理由と併せて炉心出口圧力容器内の温度を測定するために必要。	SPDS	
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器圧力	可	青	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力にて推定可能なため、測定は必要としない。	警告記録	プラント計算機にて警報を記録する。
原子炉圧力容器内の水位	1次冷却材水位	可	青	重大事故等対応設備である1次冷却材高濃度制限値（120℃）及び1次冷却材低濃度制限値（120℃）により推定可能なため、測定は必要としない。	警告記録	プラント計算機にて警報を記録する。
原子炉圧力容器内の注水量	充てん水流量	可	青	重大事故等対応設備である燃料冷却管破断検出、加圧器水位及び炉心出口圧力にて推定可能なため、測定は必要としない。	記録計	
	加圧器タンク圧力	可	青	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力及び1次冷却材低濃度制限値（120℃）により推定可能なため、測定は必要としない。	警告記録	プラント計算機にて警報を記録する。
原子炉格納容器内の注水量	A M用冷却水循環流量	可	青	重大事故等対応設備である燃料冷却管破断検出、加圧器水位及び炉心出口圧力にて推定可能なため、測定は必要としない。	記録計	
	格納容器スプレッド流量	可	青	重大事故等対応設備である格納容器スプレッド循環流量、破断検出水位及び格納容器内注水量にて推定可能なため、測定は必要としない。	SPDS	
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器エアロック区域エリアモニタ	否	—	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	炉内放射線モニタ	否	—	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	格納容器上モニタ	否	—	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	格納容器ガスモニタ	否	—	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
水漏れの維持又は監視	中間循環起動率	否	—	—	—	中間循環中性子束の記録（SPDS）で代替する。
	中性子源循環起動率	否	—	—	—	中性子源循環中性子束の記録（SPDS）で代替する。
格納容器内注水量	A M用原子炉冷却水サーージタンク圧力	可	青	重大事故等対応設備である原子炉冷却水サーージタンク加圧ライン圧力にて推定可能なため、測定は必要としない。	現地記録	
	格納容器再循環ユニット冷却水流量	可	青	重大事故等対応設備である注水圧力、蒸気発生器水位（120℃）、蒸気発生器水位（120℃）及び再循環冷却水流量により推定可能なため、測定は必要としない。	記録計	

※：炉心出口温度は、熱電対にて温度測定していることから、可搬型計測器にて測定する場合は、炉内監視にて熱電対の信号線に可搬型計測器を接続して直読電圧を測定する。

泊発電所3号炉

第1.15.7表 有効な監視パラメータ（多様性拡張設備）の監視・記録について（1/2）

分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		監視理由	記録先	備考
		計測	警告			
原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	可	青	重大事故等対応設備である1次冷却材温度（120℃）及び1次冷却材濃度（120℃）の監視理由と併せて炉心出口圧力容器内の温度を測定するために必要。	SPDS	
原子炉圧力容器内の圧力	加圧器圧力	可	青	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力にて推定可能なため、測定は必要としない。	警告記録	プラント計算機にて警報を記録する。
原子炉圧力容器内の水位	1次冷却材水位	可	青	重大事故等対応設備である1次冷却材高濃度（120℃）及び1次冷却材低濃度（120℃）により推定可能なため、測定は必要としない。	警告記録	プラント計算機にて警報を記録する。
原子炉圧力容器内の注水量	冷却水ポンプ流量	可	青	重大事故等対応設備である燃料冷却管破断検出、加圧器水位及び炉心出口圧力にて推定可能なため、測定は必要としない。	記録計	
	加圧器タンク圧力	可	青	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力（120℃）及び1次冷却材濃度（120℃）により推定可能なため、測定は必要としない。	警告記録	プラント計算機にて警報を記録する。
原子炉格納容器内の注水量	A M用冷却水循環流量	可	青	重大事故等対応設備である燃料冷却管破断検出、加圧器水位及び炉心出口圧力にて推定可能なため、測定は必要としない。	記録計	
	格納容器スプレッド流量	可	青	重大事故等対応設備である格納容器スプレッド循環流量、破断検出水位及び格納容器内注水量にて推定可能なため、測定は必要としない。	SPDS	
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器エアロック区域モニタ	可	青	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	炉内放射線モニタ	可	青	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	格納容器上モニタ	可	青	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	格納容器ガスモニタ	可	青	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
水漏れの維持又は監視	中間循環起動率	可	青	—	—	中間循環中性子束の記録（SPDS）で代替する。
	中性子源循環起動率	可	青	—	—	中性子源循環中性子束の記録（SPDS）で代替する。
格納容器内注水量	A M用原子炉冷却水サーージタンク圧力	可	青	重大事故等対応設備である原子炉冷却水サーージタンク加圧ライン圧力にて推定可能なため、測定は必要としない。	現地記録	
	格納容器再循環ユニット冷却水流量	可	青	重大事故等対応設備である注水圧力、蒸気発生器水位（120℃）、蒸気発生器水位（120℃）及び再循環冷却水流量により推定可能なため、測定は必要としない。	記録計	

※：炉心出口温度は、熱電対にて温度測定していることから、可搬型計測器にて測定する場合は、炉内監視にて熱電対の信号線に可搬型計測器を接続して直読電圧を測定する。

伊方発電所3号炉

第1.15.7表 重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ及び有効監視パラメータの監視・記録について（1/4）

分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		監視理由	記録先	備考
		計測	警告			
原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材高温制限値（120℃）	可	青	—	SPDS	
	1次冷却材低濃度制限値（120℃）	可	青	—	SPDS	
	炉心出口温度	可	青	重大事故等対応設備である1次冷却材温度（120℃）及び1次冷却材濃度（120℃）の監視理由と併せて炉心出口圧力容器内の温度を測定するために必要。	SPDS	
	炉心出口圧力	可	青	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力にて推定可能なため、測定は必要としない。	警告記録	プラント計算機にて警報を記録する。
原子炉圧力容器内の注水量	1次冷却材高濃度制限値（120℃）	可	青	—	SPDS	
	1次冷却材低濃度制限値（120℃）	可	青	—	SPDS	
	加圧器タンク圧力	可	青	重大事故等対応設備である1次冷却材圧力（120℃）及び1次冷却材濃度（120℃）により推定可能なため、測定は必要としない。	警告記録	プラント計算機にて警報を記録する。
	加圧器タンク水位	可	青	—	SPDS	
原子炉格納容器内の注水量	1次冷却材高濃度制限値（120℃）	可	青	—	SPDS	
	1次冷却材低濃度制限値（120℃）	可	青	—	SPDS	
	格納容器スプレッド流量	可	青	重大事故等対応設備である格納容器スプレッド循環流量、破断検出水位及び格納容器内注水量にて推定可能なため、測定は必要としない。	SPDS	
	格納容器再循環ユニット冷却水流量	可	青	重大事故等対応設備である注水圧力、蒸気発生器水位（120℃）、蒸気発生器水位（120℃）及び再循環冷却水流量により推定可能なため、測定は必要としない。	SPDS	
原子炉格納容器内の放射線量率	炉内放射線モニタ	可	青	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	格納容器上モニタ	可	青	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	格納容器ガスモニタ	可	青	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	格納容器エアロック区域モニタ	可	青	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	炉内放射線モニタ	可	青	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	格納容器上モニタ	可	青	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	格納容器ガスモニタ	可	青	可搬型計測器での計測対象外。	記録計	
	中間循環起動率	可	青	—	—	中間循環中性子束の記録（SPDS）で代替する。
	中性子源循環起動率	可	青	—	—	中性子源循環中性子束の記録（SPDS）で代替する。
	格納容器再循環ユニット冷却水流量	可	青	重大事故等対応設備である注水圧力、蒸気発生器水位（120℃）、蒸気発生器水位（120℃）及び再循環冷却水流量により推定可能なため、測定は必要としない。	SPDS	
	格納容器スプレッド流量	可	青	重大事故等対応設備である格納容器スプレッド循環流量、破断検出水位及び格納容器内注水量にて推定可能なため、測定は必要としない。	SPDS	

【注】：重要監視パラメータ

設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																	
	<p>第1.15.5表 有効な監視パラメータ（多様性拡張設備）の監視・記録について（2/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">パラメータ</th> <th colspan="2">可搬型計測器での対応</th> <th rowspan="2">監視</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>計測</th> <th>異常理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">格納容器レベルの監視</td> <td>格納容器気動圧</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器温度</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器温度</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器温度</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		監視	備考	計測	異常理由	格納容器レベルの監視	格納容器気動圧	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		<p>第1.15.7表 有効な監視パラメータ（多様性拡張設備）の監視・記録について（2/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">パラメータ</th> <th colspan="2">可搬型計測器での対応</th> <th rowspan="2">監視</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>計測</th> <th>異常理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">格納容器レベルの監視</td> <td>格納容器気動圧</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>プラント計測機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>プラント計測機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器温度</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>プラント計測機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>プラント計測機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>プラント計測機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器温度</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>プラント計測機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>プラント計測機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>プラント計測機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器温度</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>プラント計測機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>プラント計測機</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		監視	備考	計測	異常理由	格納容器レベルの監視	格納容器気動圧	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機		格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機		格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機		格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機		格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機		格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機		格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機		格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機		格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機		格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機		<p>第1.15.7表 重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ及び有効監視パラメータの監視・記録について（2/4）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">パラメータ</th> <th colspan="2">可搬型計測器での対応</th> <th rowspan="2">監視</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>計測</th> <th>異常理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">格納容器レベルの監視</td> <td>格納容器気動圧</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器温度</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器温度</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器温度</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>可</td> <td>可搬型計測器での計測対象外。</td> <td>記録計</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		監視	備考	計測	異常理由	格納容器レベルの監視	格納容器気動圧	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計		<p>設備構成の相違</p>
分類	パラメータ			可搬型計測器での対応				監視	備考																																																																																																																																																																												
		計測	異常理由																																																																																																																																																																																		
格納容器レベルの監視	格納容器気動圧	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		監視	備考																																																																																																																																																																																
		計測	異常理由																																																																																																																																																																																		
格納容器レベルの監視	格納容器気動圧	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機																																																																																																																																																																																	
	格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機																																																																																																																																																																																	
	格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機																																																																																																																																																																																	
	格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機																																																																																																																																																																																	
	格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機																																																																																																																																																																																	
	格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機																																																																																																																																																																																	
	格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機																																																																																																																																																																																	
	格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機																																																																																																																																																																																	
	格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機																																																																																																																																																																																	
	格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	プラント計測機																																																																																																																																																																																	
分類	パラメータ	可搬型計測器での対応		監視	備考																																																																																																																																																																																
		計測	異常理由																																																																																																																																																																																		
格納容器レベルの監視	格納容器気動圧	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器圧力	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器温度	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	
	格納容器水位	可	可搬型計測器での計測対象外。	記録計																																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																					
			<p>第1.15.7表 重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ及び有効監視パラメータの監視・記録について（3/4）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">パラメータ</th> <th colspan="2">監視</th> <th colspan="2">記録</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>方式</th> <th>装置</th> <th>方式</th> <th>装置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">監視・記録</td> <td>圧力監視用圧力計</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>流量監視用流量計</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>温度監視用温度計</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>水位監視用水位計</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>振動監視用振動計</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>圧力監視用圧力計（記録）</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>流量監視用流量計（記録）</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>温度監視用温度計（記録）</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>水位監視用水位計（記録）</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>振動監視用振動計（記録）</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">監視・記録</td> <td>圧力監視用圧力計</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>流量監視用流量計</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>温度監視用温度計</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>水位監視用水位計</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>振動監視用振動計</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>圧力監視用圧力計（記録）</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>流量監視用流量計（記録）</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>温度監視用温度計（記録）</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>水位監視用水位計（記録）</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> <tr> <td>振動監視用振動計（記録）</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	パラメータ	監視		記録		備考	方式	装置	方式	装置	監視・記録	圧力監視用圧力計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	流量監視用流量計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	温度監視用温度計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	水位監視用水位計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	振動監視用振動計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	圧力監視用圧力計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	流量監視用流量計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	温度監視用温度計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	水位監視用水位計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	振動監視用振動計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	監視・記録	圧力監視用圧力計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	流量監視用流量計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	温度監視用温度計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	水位監視用水位計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	振動監視用振動計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	圧力監視用圧力計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	流量監視用流量計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	温度監視用温度計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	水位監視用水位計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	振動監視用振動計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。	
分類	パラメータ	監視				記録		備考																																																																																																																																	
		方式	装置	方式	装置																																																																																																																																				
監視・記録	圧力監視用圧力計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	流量監視用流量計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	温度監視用温度計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	水位監視用水位計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	振動監視用振動計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	圧力監視用圧力計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	流量監視用流量計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	温度監視用温度計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	水位監視用水位計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	振動監視用振動計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
監視・記録	圧力監視用圧力計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	流量監視用流量計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	温度監視用温度計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	水位監視用水位計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	振動監視用振動計	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	圧力監視用圧力計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	流量監視用流量計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	温度監視用温度計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	水位監視用水位計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			
	振動監視用振動計（記録）	可	可	可	可	伊方発電所3号炉は、監視・記録装置が異なる。																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																			
			第1.15.7表 重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ及び有効監視パラメータの監視・記録について（4/4）																																																																																																																																																																				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">パラメータ</th> <th colspan="2">監視</th> <th colspan="2">記録</th> </tr> <tr> <th>監視</th> <th>記録</th> <th>監視</th> <th>記録</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">重要監視パラメータ</td> <td>蒸気発生器水位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口温度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器入口温度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">重要代替監視パラメータ</td> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">有効監視パラメータ</td> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口圧力（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器出口流量（二次側）</td> <td>監視</td> <td>記録</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	パラメータ	監視		記録		監視	記録	監視	記録	重要監視パラメータ	蒸気発生器水位					蒸気発生器出口温度					蒸気発生器入口温度					蒸気発生器出口圧力					蒸気発生器出口流量					蒸気発生器出口圧力（二次側）					蒸気発生器出口流量（二次側）					蒸気発生器出口圧力（二次側）					蒸気発生器出口流量（二次側）					蒸気発生器出口圧力（二次側）					重要代替監視パラメータ	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録			有効監視パラメータ	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録			蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録			
分類	パラメータ	監視				記録																																																																																																																																																																	
		監視	記録	監視	記録																																																																																																																																																																		
重要監視パラメータ	蒸気発生器水位																																																																																																																																																																						
	蒸気発生器出口温度																																																																																																																																																																						
	蒸気発生器入口温度																																																																																																																																																																						
	蒸気発生器出口圧力																																																																																																																																																																						
	蒸気発生器出口流量																																																																																																																																																																						
	蒸気発生器出口圧力（二次側）																																																																																																																																																																						
	蒸気発生器出口流量（二次側）																																																																																																																																																																						
	蒸気発生器出口圧力（二次側）																																																																																																																																																																						
	蒸気発生器出口流量（二次側）																																																																																																																																																																						
	蒸気発生器出口圧力（二次側）																																																																																																																																																																						
重要代替監視パラメータ	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
有効監視パラメータ	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口圧力（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				
	蒸気発生器出口流量（二次側）	監視	記録																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>第1.15-1図 機能喪失原因対策分析</p>		<p style="text-align: center;">＜内容比較のための再掲(4)＞</p> <p>第1.15-2図 機能喪失原因対策分析</p>		<p>記載箇所の相違 ・泊では第1.15.2図として、本項の後段に記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>図 1.15-2 図 重大事故時に必要なパラメータの選定フロー</p>	<p>図 1.15-3 図 重大事故時に必要なパラメータの選定フロー</p>	<p>図 1.15.1 図 重大事故時に必要なパラメータの選定フロー</p>	<p>図 1.15.1 図 主要パラメータ並びに重大事故等対処設備及び多様性拡張設備の選定フロー</p>	<p>記載表現の相違 パラメータ名称の相違 記載方針の相違 ・1.1「使用済燃料貯蔵槽の冷却等」のための手順等、1.2「工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」は本条文対象外とし別途手順を整理している。</p>

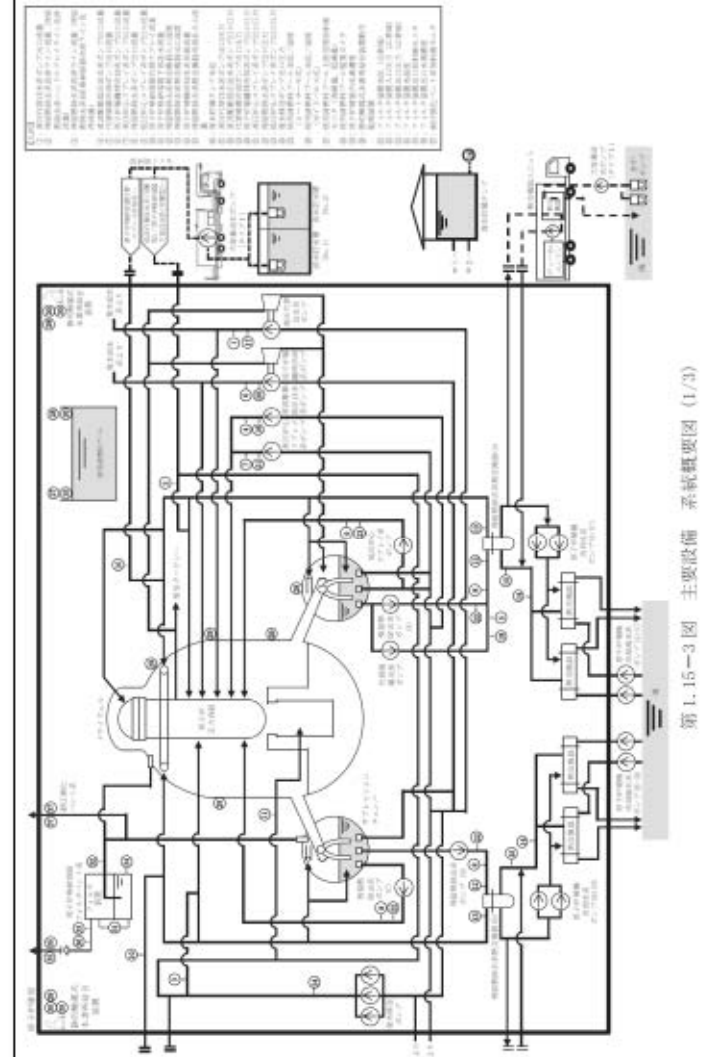
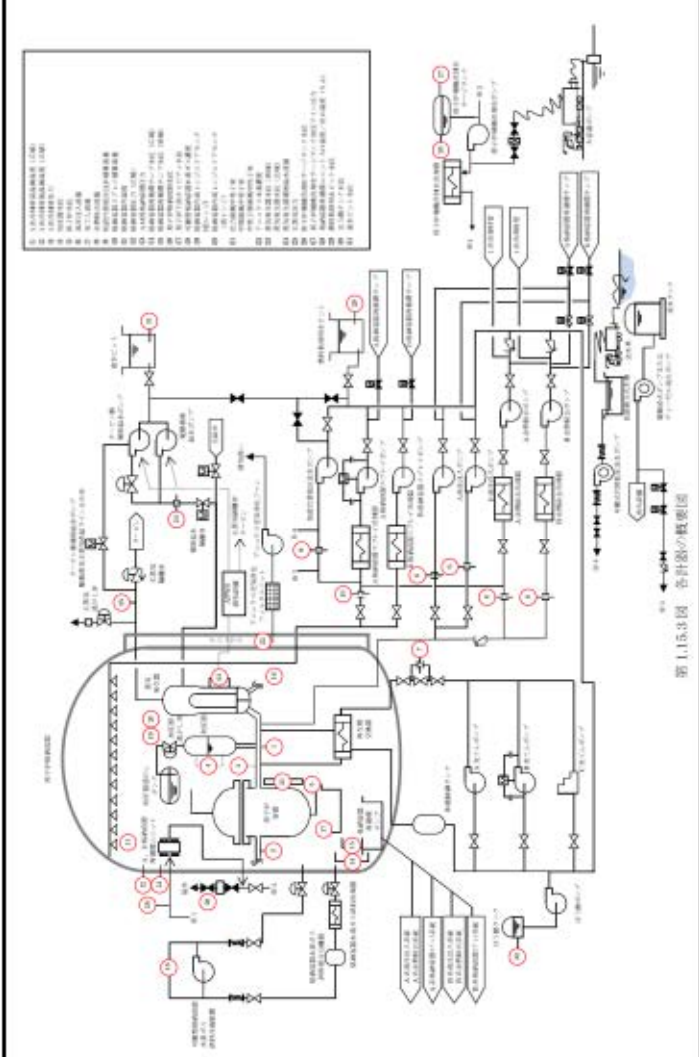
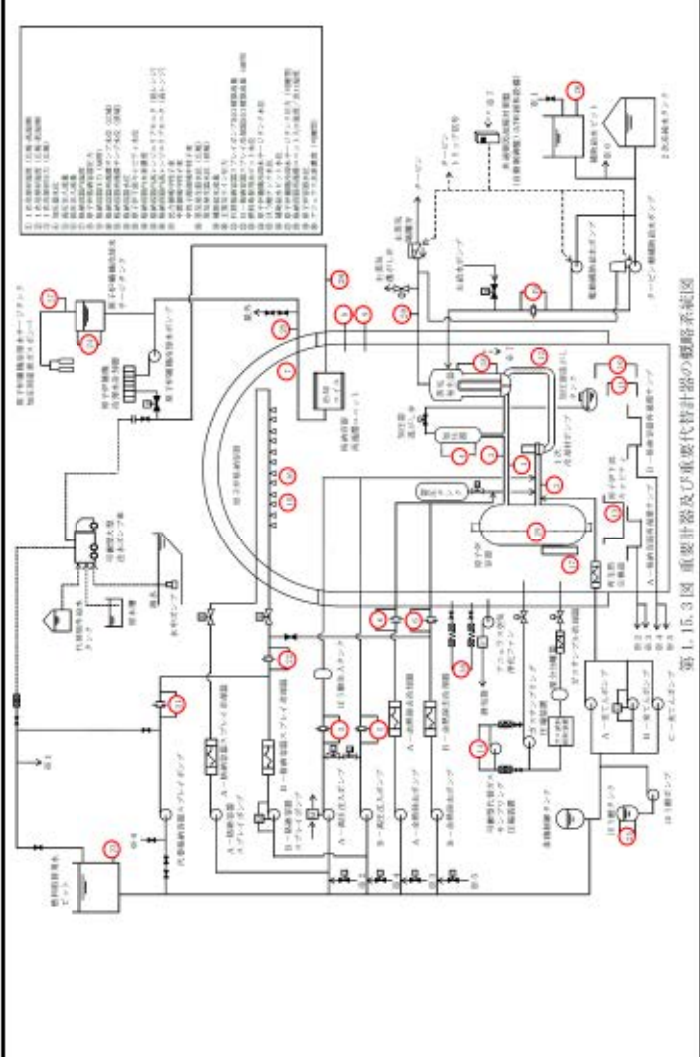
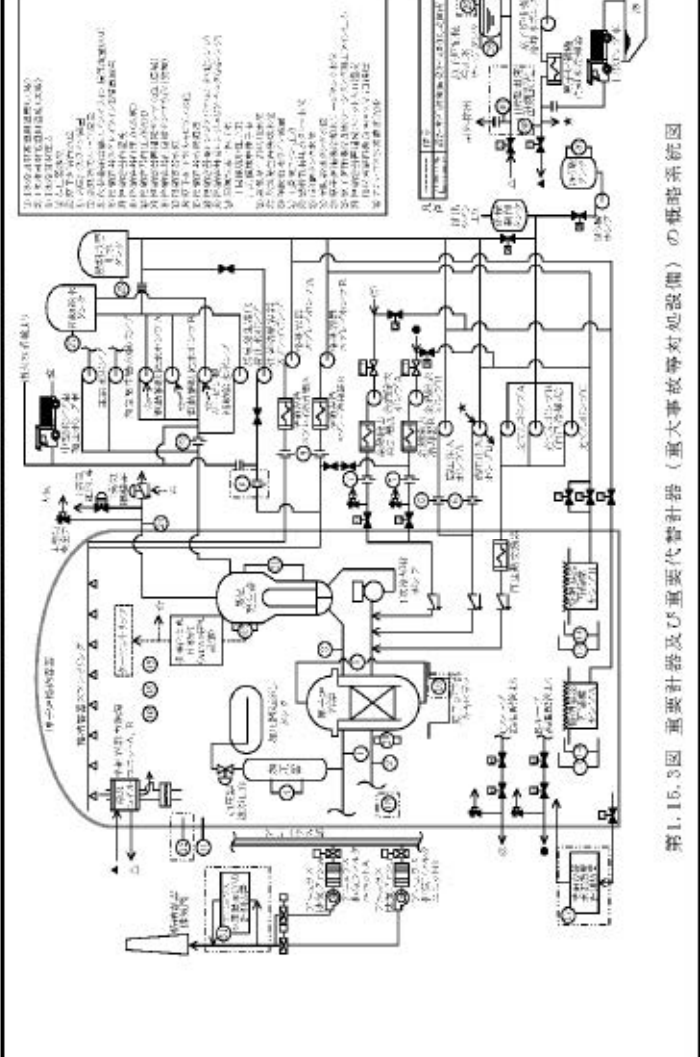
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
		<p style="text-align: center; border: 1px dashed blue; padding: 5px;"><内容比較のための再掲(4)></p>		<p>記載箇所の相違 ・女川では第1.15-1図として、本項の前段に記載している。</p>

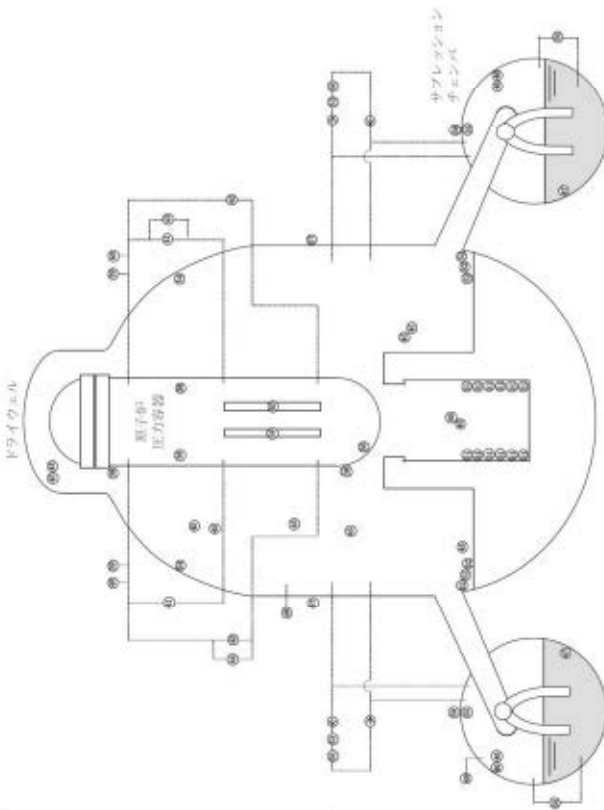
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
 <p>第1.15-3図 主要設備 系統概要図 (1/3)</p>	 <p>第1.15.3図 各計器の概要図</p>	 <p>第1.15.3図 重要計器及び重要代替計器の概略系統図</p>	 <p>第1.15.3図 重要計器及び重要代替計器（重大事故等対応設備）の概略系統図</p>	<p>設備構成の相違</p>

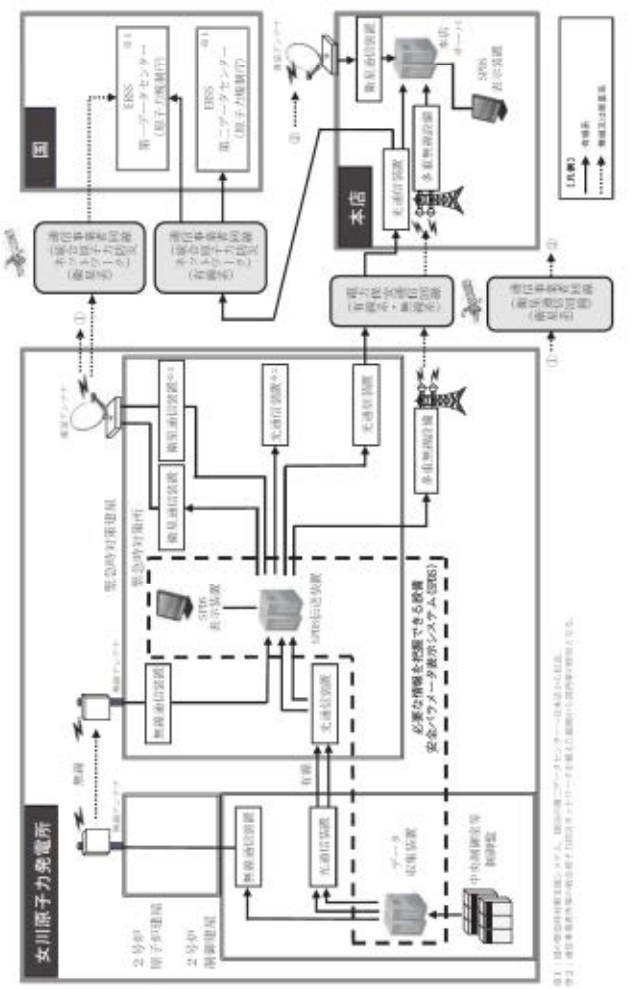
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
 <p>第1.15-3図 主要設備 系統概要図 (2/3)</p>				<p>設備構成の相違</p>





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
 <p>第1.15-3図 主要設備 系統概要図 (3/3)</p> <p>図1. 事故時の計装に関する手順等 図2. 事故時の計装に関する手順等</p>				<p>設備構成の相違</p>

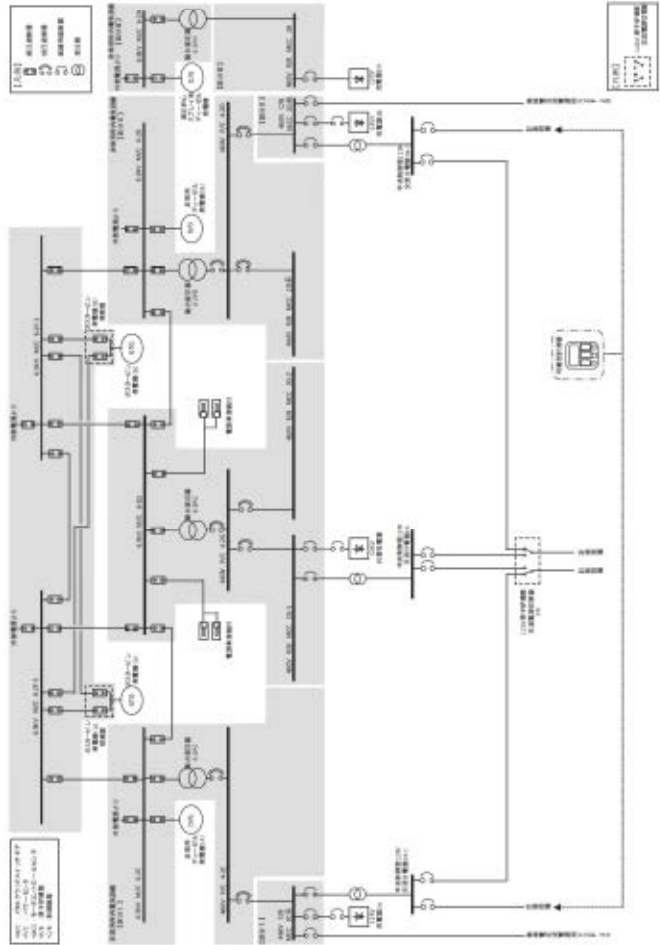
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
<p>第1.15-1図 計器の電源構成図（直流電源）(1/2)</p> 	<p>第1.15.4図 計測機器の電源構成図</p> 	<p>第1.15.4図 計器の電源構成図</p> 	<p>第1.15.4図 計器の電源構成図</p> 	<p>設備構成の相違</p>

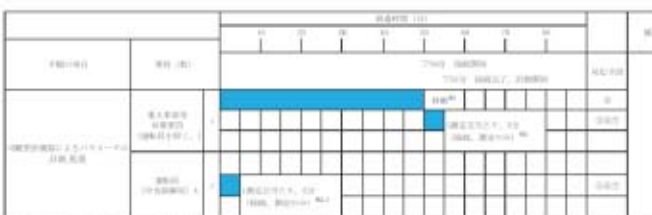
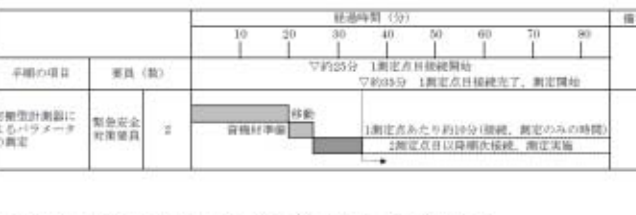

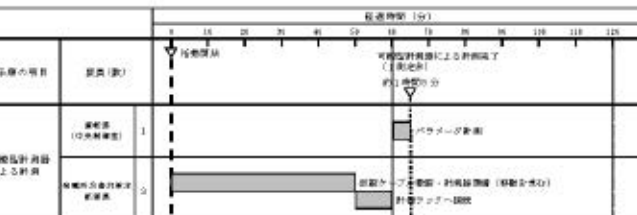








赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
 <p>第1.15-4図 計器の電源構成図(交流電源)(2/2)</p>				<p>設備構成の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

女川原子力発電所2号炉	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	伊方発電所3号炉	差異理由
 <p>第1.15-5図 可搬型計測器による監視パラメータ計測タイムチャート</p>	 <p>第1.15.5図 可搬型計測器による監視パラメータ計測 タイムチャート</p>	 <p>第1.15.5図 可搬型計測器による監視パラメータ計測 タイムチャート</p>	 <p>第1.15.5図 可搬型計測器による監視パラメータ計測 タイムチャート</p>	<p>設備構成の相違 ・手順検証結果による想定時間の相違</p>
 <p>第1.15.6図 可搬型バッテリーによる炉外核計装監視への電源供給 タイムチャート</p>	 <p>第1.15.6図 可搬型バッテリーによる炉外核計装監視への電源供給 タイムチャート</p>	 <p>第1.15.6図 可搬型バッテリーによる原子炉安全保護装置（炉外核計装信号処理部）への電源供給 タイムチャート</p>	 <p>第1.15.6図 計装設備専用蓄電池による炉外核計装監視（NIS-I）への給電 タイムチャート</p>	
 <p>第1.15.7図 可搬型バッテリーによる放射線監視への電源供給 タイムチャート</p>	 <p>第1.15.7図 可搬型バッテリーによる放射線監視への電源供給 タイムチャート</p>	 <p>第1.15.7図 可搬型バッテリーによる原子炉安全保護装置（放射線監視設備信号処理部）への電源供給 タイムチャート</p>	 <p>第1.15.7図 計装設備専用蓄電池による放射線監視（PRMS-Ⅲ）への給電 タイムチャート</p>	